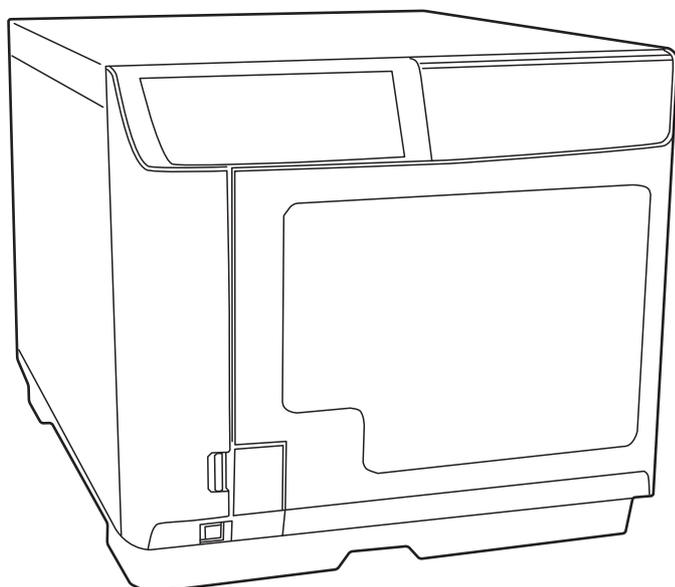


PP-100Ⅲ
PP-50Ⅱ
PP-100AP

ユーザーズガイド

Disc producer™



アプリケーションの使い方

本製品に同梱されているアプリケーションについて説明します。

プリンタードライバーの使い方

プリンタードライバーの基本的な操作を説明します。

ディスクの作成～基本編～

ディスク作成の基本的な操作を説明します。

ディスクの作成～応用編～

ディスク作成の応用的な操作を説明します。

メンテナンス

本製品を最適な状態でご使用いただくためのメンテナンスなどを説明します。

困ったときは

困ったときの対処方法を説明します。

付録

本製品で使用できる消耗品、各種サービス・サポート、製品仕様について説明します。

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

掲載画面とイラスト

お使いの OS や製品によっては、本書に掲載する画面と実際に表示される画面が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。また、本書に掲載するイラストは、特に指定がない限り PP-100III のものを使用しています。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が用意されています。

Windows をお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業、およびソフトウェアのインストールについて説明しています。はじめにお読みください。
ユーザーズガイド (本書)	本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 本書は、ウェブサイトからダウンロードできます。ソフトウェアにも含まれているので、ソフトウェアのインストール後は、スタートメニューから表示させることもできます。

Mac OS をお使いの場合

スタートアップガイド	搬入後、本製品を梱包箱から取り出し、設置するまでの作業について説明しています。はじめにお読みください。 ※ソフトウェアのインストールと設定については、「ユーザーズガイド for Mac」をご覧ください。
ユーザーズガイド for Mac (PDF)	ソフトウェアのインストール、本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報、各種トラブルの解決方法について説明しています。 ソフトウェアは、ウェブサイトからダウンロードします。ソフトウェアのインストール後は、[Launchpad]-[EPSON Software]-[EPSON Total Disc Maker] から表示させることもできます。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
 - Mac、Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Intel は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
 - Adobe、Illustrator は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
 - QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

本文中のマークについて.....	2
掲載画面とイラスト.....	2
マニュアル構成.....	2
商標.....	3

アプリケーションの使い方 6

■ EPSON Total Disc Maker	6
EPSON Total Disc Maker とは.....	6
EPSON Total Disc Maker の起動.....	6
EPSON Total Disc Maker ヘルプの表示方法.....	7
EPSON Total Disc Maker の画面構成.....	8
■ EPSON Total Disc Setup	11
EPSON Total Disc Setup とは.....	11
EPSON Total Disc Setup の起動.....	11
EPSON Total Disc Setup ヘルプの表示方法.....	11
EPSON Total Disc Setup の画面構成.....	12
■ EPSON Total Disc Monitor.....	16
EPSON Total Disc Monitor とは.....	16
EPSON Total Disc Monitor の起動.....	16
EPSON Total Disc Monitor ヘルプの 表示方法.....	16
EPSON Total Disc Monitor の画面構成.....	17

プリンタードライバーの使い方 19

■ プリンタードライバーとは	19
■ プリンタードライバー画面の表示.....	19
EPSON Total Disc Maker からの表示.....	19
EPSON Total Disc Setup からの表示.....	20
[スタート]メニューからの表示.....	21
■ プリンタードライバーの設定.....	22
[基本設定]画面.....	22
[ユーティリティ]画面.....	24
■ プリンタードライバーの基本的な使い方.....	25
■ プリンタードライバーのヘルプ表示.....	28

ディスクの作成～基本編～ 29

■ 使用できるディスクの種類.....	29
印刷できるディスクの種類.....	29

書き込み / 読み込みできるディスクの種類 (PP-100III/PP-50II のみ).....	30
--	----

■ ディスクの取り扱い.....	32
使用上の注意.....	32
保管時の注意.....	32
■ ディスク複製についての注意事項 (PP-100III/PP-50II のみ).....	33
■ 印刷可能領域.....	33
印刷領域の設定.....	34
■ ディスク作成の流れ.....	35
ディスクのセット.....	36
書き込みデータの登録 (PP-100III/PP-50II のみ).....	38
レーベルの作成.....	42
ディスクの発行.....	54
ディスクの取り出し.....	57
■ JOB の操作.....	60
JOB の一時停止とキャンセル.....	60
JOB を優先して発行する.....	61

ディスクの作成～応用編～ 62

■ 大量のディスクを作成する.....	62
バッチ処理モード (PP-100III/PP-100AP のみ).....	62
標準モード.....	66
■ 用途に応じて 2 種類のディスクを 発行する.....	71
外部排出モード (PP-100III/PP-100AP のみ).....	71
少量発行モード (PP-50II のみ).....	75
■ 印刷結果を事前に確認する.....	78
EPSON Total Disc Maker の場合.....	78
市販のソフトウェアから印刷を行う場合.....	79
■ 任意の画像でレーベルを作成する.....	80
■ 定形外レーベルサイズのディスクに 印刷する.....	83
ユーザー定義サイズの登録・設定方法.....	83
レーベルサイズの変更 / 削除.....	86
■ 印刷の色を調整する.....	87
■ ディスクからデータを読み込む (PP-100III/PP-50II のみ).....	89

■ 差し込み機能を使って印刷する ・データを書き込む	92
制限事項	93
CSV ファイルの作成	93
設定手順	94
■ ディスクから直接コピーを作成する (PP-100III/PP-50II のみ)	107
■ ディスクイメージファイルからコピーを 作成する (PP-100III/PP-50II のみ)	109

メンテナンス..... 111

■ インクカートリッジの交換	111
インク残量の確認方法	111
インクカートリッジの交換方法	112
■ ノズルチェック	115
ノズルチェックの操作手順	115
■ ヘッドクリーニング	117
ヘッドクリーニングの操作手順	118
■ ギャップ調整	119
■ 印刷位置補正	121
■ 本製品が汚れているときは	123
外装面のお手入れ	123
内部のお手入れ	123
通風孔のお手入れ (PP-100III/PP-50II のみ)	123
■ メンテナンス情報の確認	126
■ レポート機能	128
レポート機能の表示	128
[DP-Info] 画面	129
[L-Code] レポート画面	130
ディスク発行結果集計表	132
ディスク発行結果一覧	134
■ メンテナンスボックスの交換 (PP-100III/PP-100AP のみ)	135
交換時期の確認方法	135
交換方法	135
■ インク吸収材の交換 (PP-50II のみ) ...	139
交換時期の確認方法	139
インク吸収材の交換方法	139
■ ドライブの交換 (PP-100III のみ)	140
交換時期の確認方法	140
交換方法	140
■ 本製品輸送時のご注意	141

困ったときは..... 143

■ トラブルと対処法	143
電源 / 操作パネルのトラブル	143
ディスク搬送 (供給 / 排出) のトラブル	144
ディスク書き込み / 読み込みのトラブル (PP-100III/PP-50II のみ)	145
レーベル印刷のトラブル	147
その他のトラブル	149
■ ランプが点滅 / 点灯している	151
■ EPSON Total Disc Monitor で 確認する	161
■ ディスクが発行できない	163
■ ディスクが出てこない	167
ドライブトレイが出てこない (PP-100III/PP-50II のみ)	167
プリンタートレイが出てこない	168
■ ディスクの記録面がインクで汚れる	175
PP-100III の場合	175
PP-50II の場合	177
PP-100AP の場合	179

付録..... 182

■ サービス・サポートのご案内	182
■ 製品仕様	185
各製品の機能の違い	185
基本仕様	186
■ 消耗品とオプション品	194
エプソン推奨ディスク	194
インクカートリッジ	194
メンテナンスボックス (PP-100III/PP-100AP のみ)	195
ドライブ (PP-100III のみ)	195
■ オープンソースソフトウェアの ライセンスについて	195

アプリケーションの使い方

EPSON Total Disc Maker

EPSON Total Disc Maker とは

EPSON Total Disc Maker は、書き込みデータの登録、レーベル面の印刷データの編集、および本製品（PP-100III/PP-50II/PP-100AP）への発行を行うソフトウェアです。

EPSON Total Disc Maker では、ディスクへのデータの書き込みとレーベル印刷の実行を「発行」と呼びます。発行することで、本製品が CD、DVD または BD にデータを書き込み、レーベルを印刷し、ディスクができ上がります。また、PP-100III および PP-50II では、CD、DVD、または BD に保存されているデータを読み込んでハードディスクに保存することもできます。

注意

リモートデスクトップおよび仮想環境では使用できません。

参考

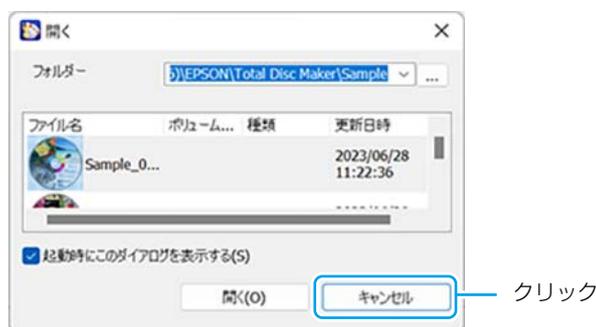
使用できる機能は、お使いの製品によって異なります。

EPSON Total Disc Maker の起動

以下の手順は Windows 11 の場合です。EPSON Total Disc Maker の起動方法は OS によって異なることがありますので、お使いの OS の仕様をご確認ください。

 (スタート) - [すべてのアプリ] - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Maker] の順にクリックします。

参考

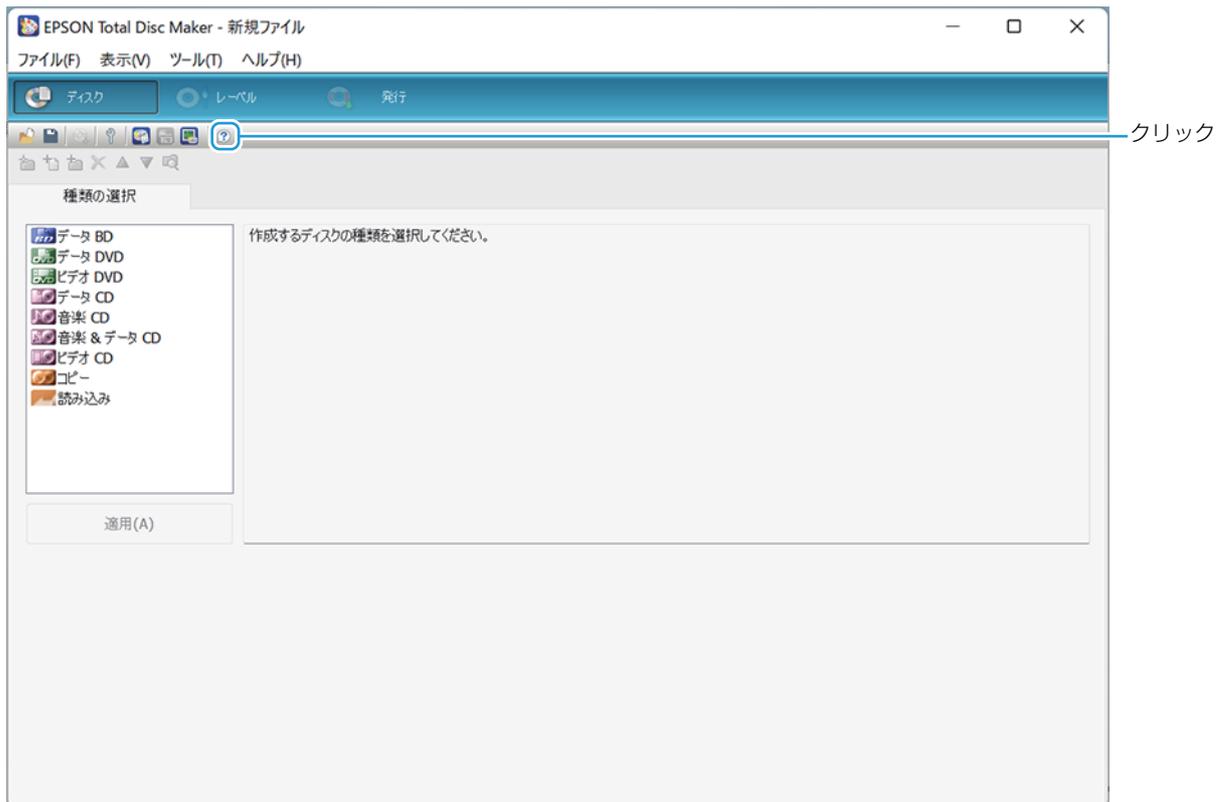


- [開く]ダイアログが表示された場合は、[キャンセル]をクリックすると、[開く]ダイアログが閉じ、ディスクビューがアクティブになります。
- [開く]ダイアログで、Total Disc Makerデータファイルを選択して[開く]をクリックすると、選択したファイルが開かれ、発行ビューがアクティブになります。

EPSON Total Disc Maker ヘルプの表示方法

EPSON Total Disc Maker のヘルプには、EPSON Total Disc Maker の使用方法と仕様が記載されています。

- 1 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。
- 2 ツールバーの  [ヘルプ] をクリックします。



参考

EPSON Total Disc Maker のヘルプは、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Maker を起動し、【F1】を押す
- EPSON Total Disc Maker を起動し、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]をクリックする

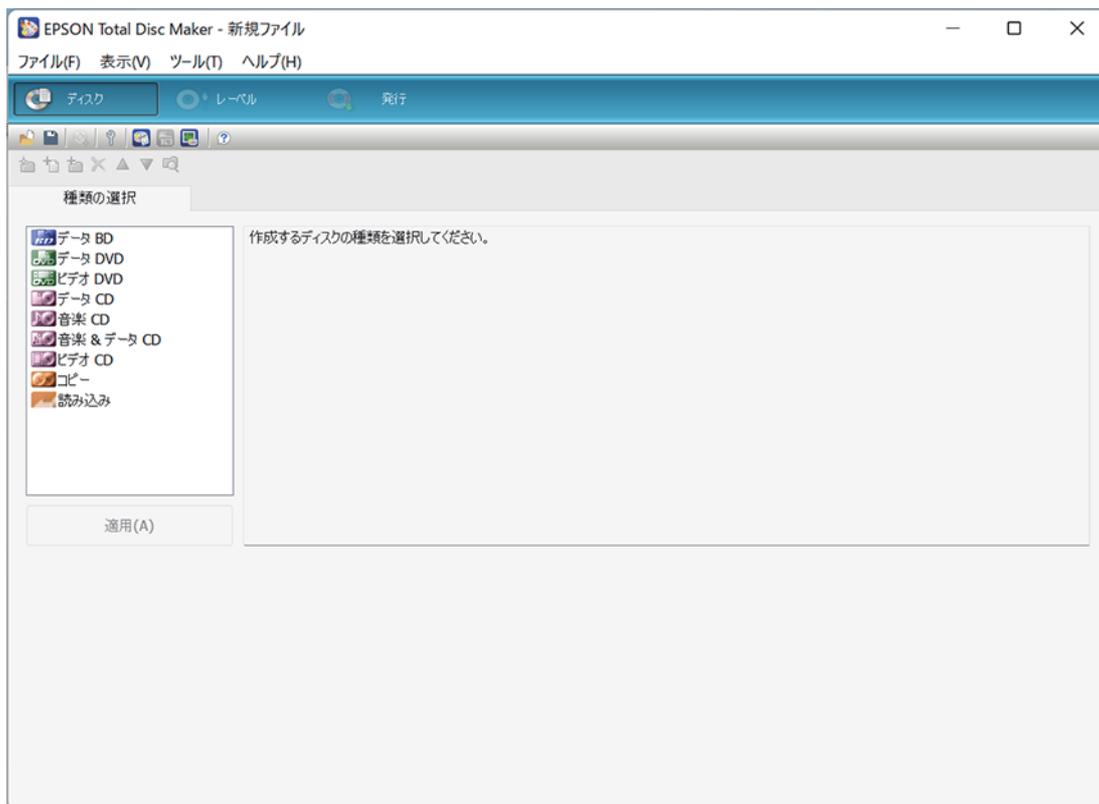
EPSON Total Disc Maker の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Maker の画面構成を説明します。
使い方の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

ディスクビュー(PP-100III/PP-50II のみ)

EPSON Total Disc Maker を起動する、またはレーベルビュー、発行ビューで [ディスク] をクリックすると、ディスクビューが表示されます。

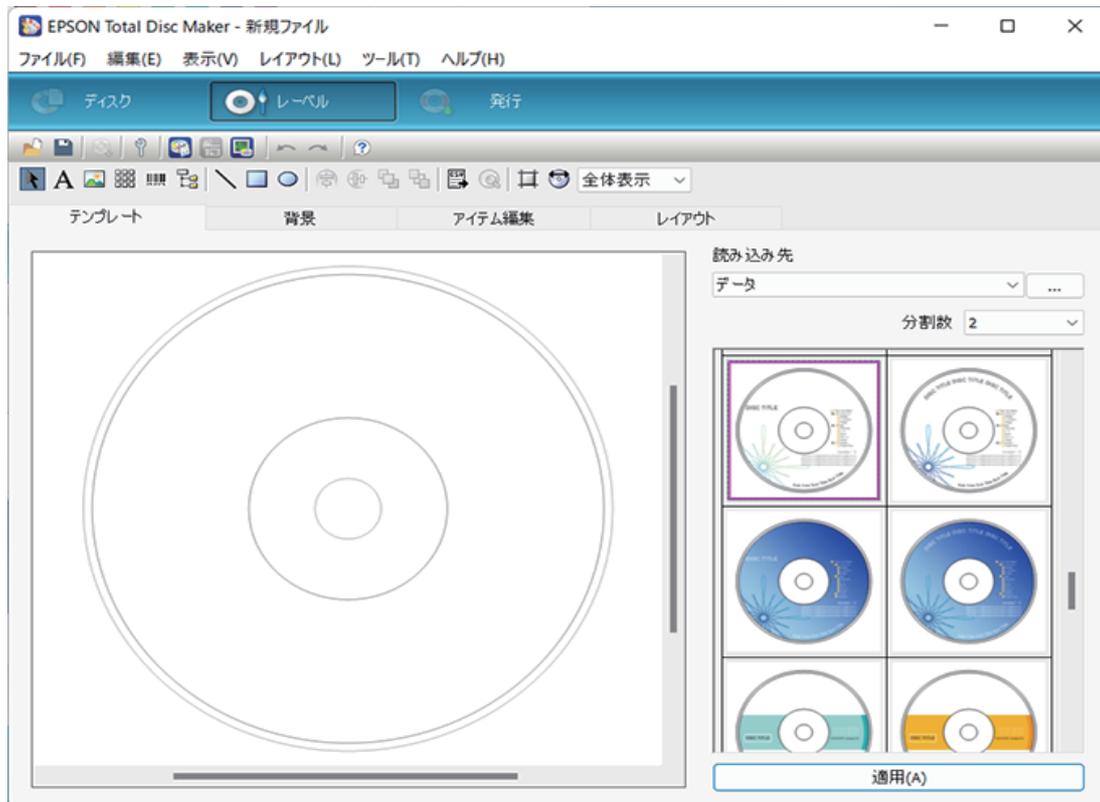
ディスクビューでは、ディスクに書き込むデータを登録します。ディスクビューは、PP-100AP では使用しません。



レーベルビュー

ディスクビュー、発行ビューで[レーベル]をクリックすると、レーベルビューが表示されます。

レーベルビューでは、ディスクのレーベル面に印刷するデータを編集します。

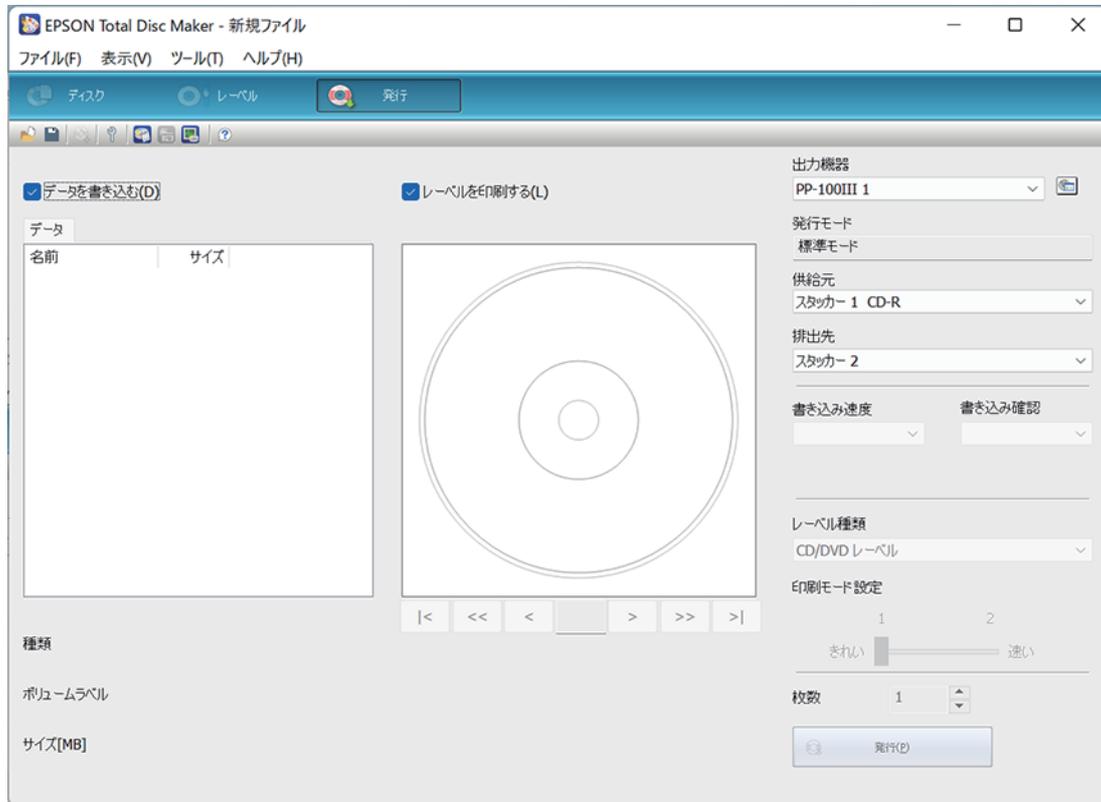


発行ビュー

ディスクビュー、レーベルビューで[発行]をクリックすると、発行ビューが表示されます。

発行ビューでは、書き込むデータ*とレーベルを本製品に発行します。

* : PP-100AP ではデータの書き込みはできません。



EPSON Total Disc Setup

EPSON Total Disc Setup とは

EPSON Total Disc Setup は、本製品をパソコンに登録するソフトウェアです。また、発行モード、使用するスタッカーやドライブなど、本製品でディスクを発行するための基本的な設定も行います。

注意

リモートデスクトップおよび仮想環境では使用できません。

EPSON Total Disc Setup の起動

以下の手順は Windows 11 の場合です。EPSON Total Disc Setup の起動方法は OS によって異なることがありますので、お使いの OS の仕様をご確認ください。

 (スタート) - [すべてのアプリ] - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックします。

参考

本製品の登録・削除・共通設定の変更をするときは、管理者権限で起動してください。EPSON Total Disc Setup は、以下の方法でも起動できます。

- EPSON Total Disc Maker の  をクリックする
- EPSON Total Disc Maker の [ツール] メニューの [Total Disc Setup 起動] をクリックする

EPSON Total Disc Setup ヘルプの表示方法

EPSON Total Disc Setup のヘルプには、EPSON Total Disc Setup の使用方法と仕様が記載されています。

- 1 EPSON Total Disc Setup を起動します。
起動方法は、本書 11 ページ [「EPSON Total Disc Setup の起動」](#) を参照してください。
- 2 ツールバーの  [ヘルプ] をクリックします。



参考

EPSON Total Disc Setup のヘルプは、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Setup を起動し、【F1】を押す
- EPSON Total Disc Setup を起動し、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]をクリックする

EPSON Total Disc Setup の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Setup の画面構成を説明します。

使い方の詳細は、EPSON Total Disc Setup のヘルプを参照してください。

セットアップ画面



①	登録	本製品を登録します。
②	削除	選択している本製品の登録を削除します。
③	プロパティ	選択している本製品の [プロパティ] 画面を表示します。
④	-	本製品では使用しません。
⑤	Total Disc Monitor 起動	EPSON Total Disc Monitor を起動します。
⑥	ヘルプ	ヘルプを表示します。
	名前	本製品の名前が表示されます。
	機種名	本製品の機種名 (PP-XXX) が表示されます。
	ホスト名	本製品では使用しません。
	状態	本製品の状態が表示されます。
	発行待ち JOB	発行待ち JOB 数が表示されます。
	通信中 JOB	本製品では使用しません。
	HDD 空き領域	本製品では使用しません。

[プロパティ] 画面

セットアップ画面の  [プロパティ] をクリックすると、[プロパティ] 画面が表示されます。

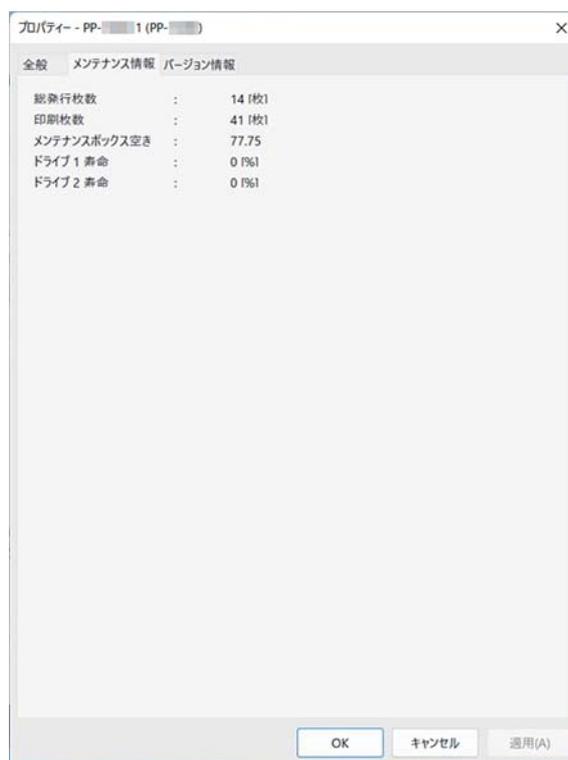
[プロパティ] 画面の [全般] タブ、[メンテナンス情報] タブ、または [バージョン情報] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

[全般] 画面



項目	説明
名前	本製品の名前を変更できます。この名前は、EPSON Total Disc Maker の発行ビューで選択する [出力機器] に表示されます。
スタッカー設定	PP-100III/PP-50II：発行モード、スタッカーにセットするディスクの種類、排出先を設定します。 PP-100AP：発行モード、排出先を設定します。
ドライブ設定 (PP-100III/PP-50II のみ)	PP-100III：使用するドライブ、書き込みエラーが発生したときの再試行回数、読み込みモードで読み込みエラーが発生したときの処理継続を設定します。 PP-50II：書き込みエラーが発生したときの再試行回数、読み込みモードで読み込みエラーが発生したときの処理継続を設定します。
プリンター設定	プリンタードライバーの [基本設定] 画面を表示します。

[メンテナンス情報] 画面



項目	説明
総発行枚数 (PP-100III のみ)	現在までに発行 (書き込み、印刷、読み込み) したディスクの累計枚数が表示されます。
印刷枚数	現在までに印刷したディスクの累計枚数が表示されます。
メンテナンスボックス空き容量 (PP-100III/PP-100AP のみ)	メンテナンスボックスの空き容量が 0 ~ 100% で表示されます。0% に近くなると、メンテナンスボックスの交換時期です。
インク吸収材空き容量 (PP-50II のみ)	インク吸収材の空き容量が 0 ~ 100% で表示されます。0% になるとジョブの発行ができません。 インク吸収材の交換については、本書 139 ページ「インク吸収材の交換 (PP-50II のみ)」を参照ください。
ドライブ 1 寿命 / ドライブ 2 寿命 (PP-100III のみ)	ドライブの寿命が表示されます。100% に近くなると交換時期です。
ドライブ寿命 (PP-50II のみ)	ドライブの寿命が表示されます。100% に近くなると交換時期です。

[バージョン情報] 画面



項目	説明
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号が表示されます。
オートローダー	本製品に内蔵されているオートローダーのファームウェアのバージョンが表示されます。
プリンター	本製品に内蔵されているプリンターのファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ 1 (PP-100III のみ)	本製品に装着されているドライブ 1 のファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ 2 (PP-100III のみ)	本製品に装着されているドライブ 2 のファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ (PP-50II のみ)	本製品に内蔵されているドライブのファームウェアのバージョンが表示されます。

EPSON Total Disc Monitor

EPSON Total Disc Monitor とは

EPSON Total Disc Monitor は、本製品の現在の状態、インク残量、JOB 情報などを表示するソフトウェアです。また、JOB の処理を一時停止 / キャンセルしたり、JOB の処理順序を変更したりできます。

注意

リモートデスクトップおよび仮想環境では使用できません。

EPSON Total Disc Monitor の起動

以下の手順は Windows 11 の場合です。EPSON Total Disc Monitor の起動方法は OS によって異なることがありますので、お使いの OS の仕様をご確認ください。

 (スタート) - [すべてのアプリ] - [EPSON Total Disc Maker] - [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックします。

参考

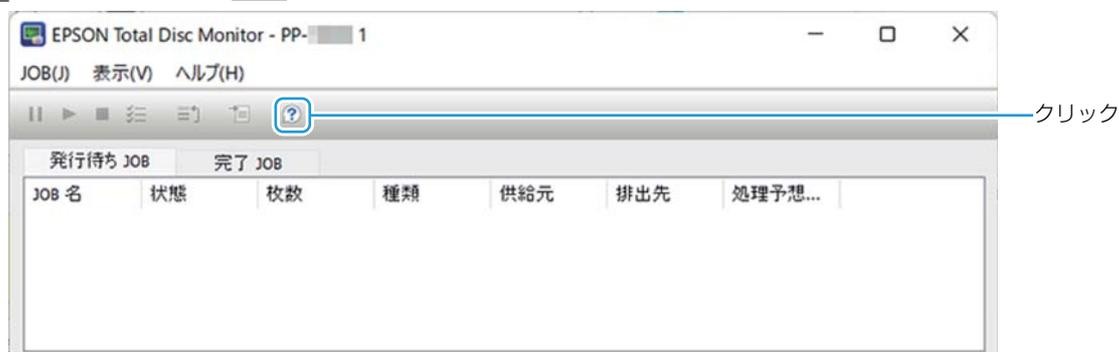
EPSON Total Disc Monitor は、以下の方法でも起動できます。

- EPSON Total Disc Maker/EPSON Total Disc Setup の  をクリックする
- EPSON Total Disc Maker/EPSON Total Disc Setup の [ツール] メニューの [Total Disc Monitor 起動] をクリックする

EPSON Total Disc Monitor ヘルプの表示方法

EPSON Total Disc Monitor のヘルプには、EPSON Total Disc Monitor の使用方法と仕様が記載されています。

- 1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。
起動方法は、[本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」](#) を参照してください。
- 2 ツールバーの  [ヘルプ] をクリックします。



参考

EPSON Total Disc Monitor のヘルプは、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Monitor を起動し、【F1】を押す
- EPSON Total Disc Monitor を起動し、[ヘルプ]メニューの [ヘルプ] をクリックする

EPSON Total Disc Monitor の画面構成

ここでは、EPSON Total Disc Monitor の画面構成を説明します。

使い方の詳細は、EPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。



①	一時停止	選択された JOB を一時停止します。
②	再開	選択された JOB を再開します。
③	キャンセル	選択された JOB をキャンセルします。
④	すべて選択	発行された JOB をすべて選択します。
⑤	優先して発行	選択された JOB を優先的に処理します。
⑥	JOB 詳細情報	選択された完了 JOB の詳細情報が表示されます。
⑦	ヘルプ	ヘルプを表示します。
⑧	操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。
⑨	インクの状態	インク残量が表示されます。
⑩	メンテナンスボックスの状態 または インク吸収材の状態	PP-100III/PP-100AP：メンテナンスボックスの空き容量が表示されます。 PP-50II：インク吸収材の空き容量が表示されます。
⑪	プリンターの状態	プリンターの状態が表示されます。

⑫	ドライブの状態 (PP-100III/PP-50IIのみ)	ドライブの状態が表示されます。
⑬	スタッカーの状態	スタッカーの状態が表示されます。
⑭	インターフェイス (PP-100IIIのみ)	接続中のインターフェイス (USB 3.0 または USB 2.0) が表示されます。

参考

残り印刷可能枚数は、前回印刷したレーベルと同じレーベルをあと何枚印刷できるかという目安の値です。印刷データや印刷環境などの影響を受けるため、実際の値とは多少異なります。1000枚までは「1000枚以上」と表示され、1000枚未満になると10枚単位で表示されます。

[発行待ち JOB] タブ、または [完了 JOB] タブをクリックすると、各画面に切り替わります。

[発行待ち JOB] 画面

[発行待ち JOB] 画面には、「発行待ち」、「発行中」、「一時停止中」、「一時停止処理中」、「キャンセル処理中」、「復帰待ち」、「復帰待ち処理中」の JOB の情報が表示されます。JOB を選択し、右クリックすると、[JOB の一時停止]、[JOB の再開]、[JOB のキャンセル]、および [JOB を優先して発行する] が選択できます。

[完了 JOB] 画面

[完了 JOB] 画面には、完了、およびキャンセルされた JOB の情報が表示されます。

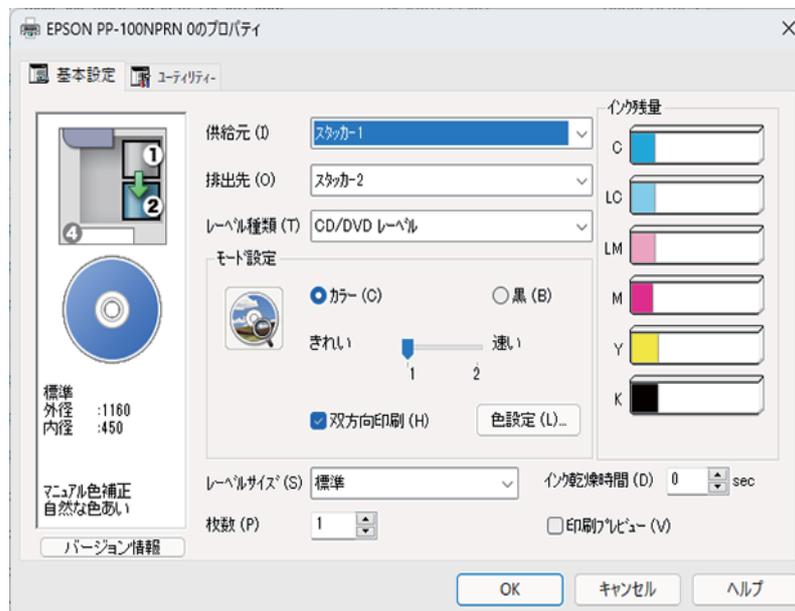
プリンタードライバーの使い方

プリンタードライバーとは

プリンタードライバーは、EPSON Total Disc Maker を使わずに Adobe Illustrator など他のアプリケーションからレーベル印刷をするときや、本製品の基本的な設定、およびノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンスをするときに使用します。

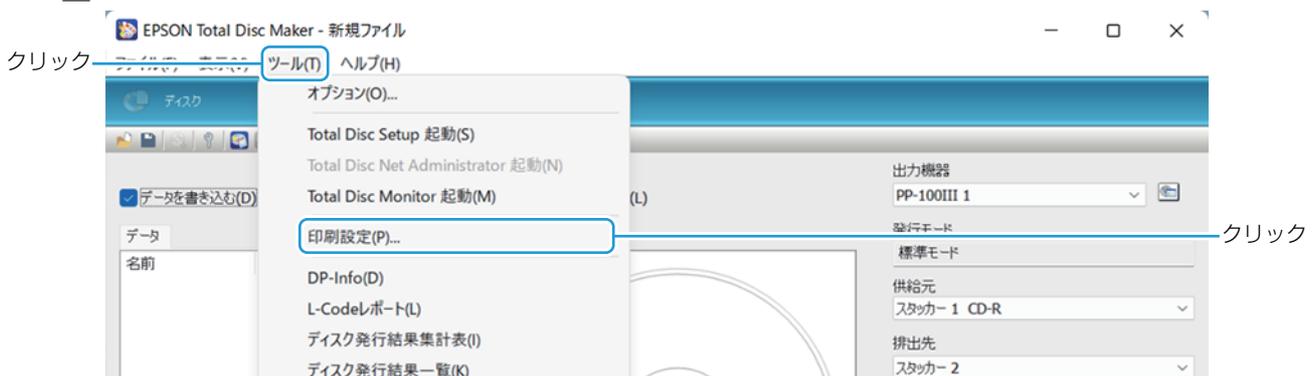
プリンタードライバー画面の表示

プリンタードライバー画面は、EPSON Total Disc Maker、EPSON Total Disc Setup、[スタート] メニューから表示できます。



EPSON Total Disc Maker からの表示

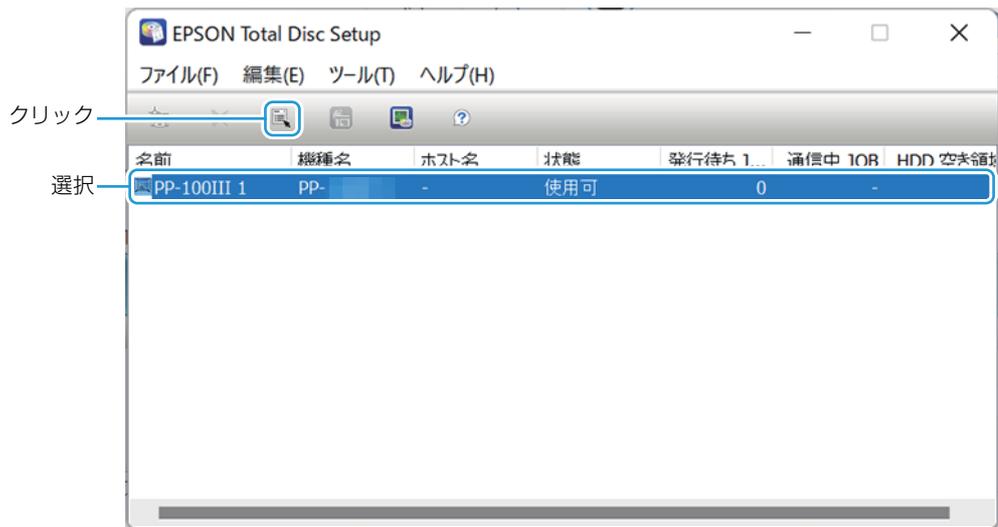
- 1 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。
- 2 [ツール] メニューの [印刷設定] をクリックします。



プリンタードライバー画面が表示されます。

EPSON Total Disc Setup からの表示

- 1 EPSON Total Disc Setup を起動します。
起動方法は、本書 11 ページ「EPSON Total Disc Setup の起動」を参照してください。
- 2 本製品を選択し、 [プロパティ] をクリックします。



参考

プロパティ画面は、[編集]メニューの[プロパティ]をクリックしても表示できます。

- 3 [プリンターの設定] をクリックします。



プリンタードライバー画面が表示されます。

[スタート]メニューからの表示

- 1  (スタート) - [設定] を開きます。
- 2 [Bluetoothとデバイス] - [プリンターとスキャナー] の順に選択します。
- 3 プリンター [EPSON PP-XXXPRN] を選択します。
「XXX」は、お使いの機種によって以下のように表示されます。
 - PP-100III : 100
 - PP-50II : 50
 - PP-100AP : 100AP



- 4 [印刷設定] をクリックします。



プリンタードライバー画面が表示されます。

プリンタードライバーの設定

[基本設定] 画面

[基本設定] 画面では、レーベル印刷の基本的な設定を行います。

EPSON Total Disc Maker から表示させた場合

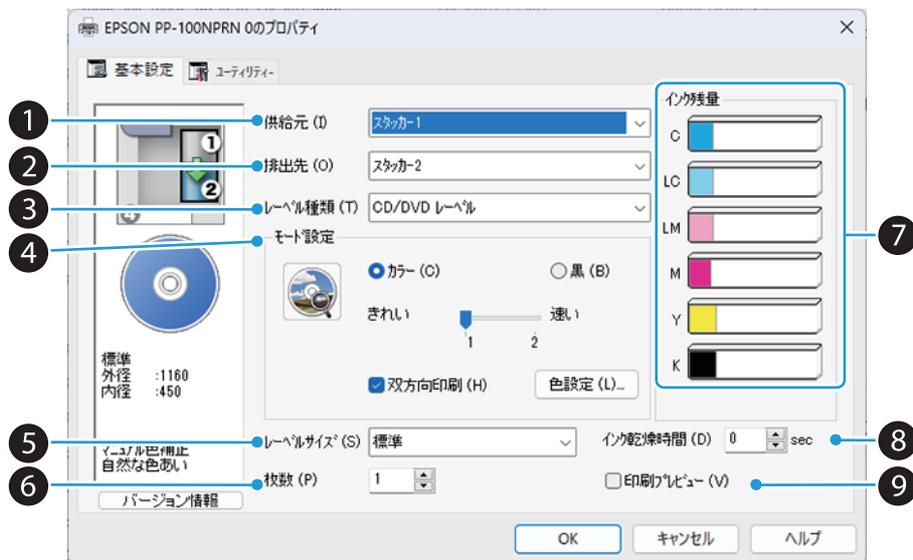
設定した内容は、EPSON Total Disc Maker にのみ反映されます。EPSON Total Disc Maker を終了させると、設定は破棄されます。

プリンタードライバーの表示方法は、本書 19 ページ「EPSON Total Disc Maker からの表示」を参照してください。

EPSON Total Disc Setup または [スタート] メニューから表示させた場合

設定した内容はプリンタードライバーの設定として保存され、以降、EPSON Total Disc Maker およびその他のすべてのアプリケーションの印刷設定に反映されます。

プリンタードライバーの表示方法は、本書 20 ページ「EPSON Total Disc Setup からの表示」、または本書 21 ページ「[スタート]メニューからの表示」を参照してください。



①	供給元	書き込み / 印刷を行うディスクがセットされているスタッカーを選択します。	
②	排出先	作成済みディスクを排出するスタッカーを選択します。	
③	レーベル種類	印刷するディスクのレーベル種類を選択します。	
④	モード設定	カラー / 黒	カラー印刷するときは [カラー] を、モノクロ印刷するときは [黒] を選択します。
		きれい / 速い	1 : 印刷品質を優先して印刷します。 2 : 印刷速度を優先して印刷します。 3 (PP-100AP のみ) : [2] に比べて、さらに印刷速度を優先して印刷します。
		双方向印刷	チェックするとプリントヘッドが左右どちらに動くときも印刷するため、印刷速度が速くなります。 チェックを外すと単方向印刷になり、印刷品質が向上します。ただし、印刷速度は遅くなります。
		色設定	クリックすると [色設定] 画面が表示されます (本書 87 ページ「印刷の色を調整する」参照)。印刷の色合いを設定します。
⑤	レーベルサイズ	市販のソフトウェアから印刷する場合のレーベルサイズを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 標準タイプ : 外径 116.0mm、内径 45.0mm ワイドタイプ : 外径 116.0mm、内径 25.5mm ユーザー定義レーベルサイズ : 任意のサイズを設定 	
⑥	枚数	書き込み / 印刷する枚数を指定します。(0 ~ 1000)	
⑦	インク残量	インクカートリッジ内のインクの残量が目安として表示されます。	
⑧	インク乾燥時間	レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させる時間を設定します。	
⑨	印刷プレビュー	チェックすると、市販のソフトウェアから印刷する場合に、印刷前に印刷結果のイメージを画面で確認できます。	

注意

- エプソン推奨 CD/DVD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [高画質対応 CD/DVD レーベル] を選択してください。
- [レーベル種類] で [光沢CD/DVDレーベル] を選択すると、[きれい/速い] は [1] に設定されます。

[ユーティリティ] 画面

[ユーティリティ] 画面では、印刷品質を保つための各種メンテナンス機能の実行と、プリンタードライバーの動作に関する設定ができます。



ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。印刷されたパターンを確認することで、プリントヘッドが目詰まりしていないかを確認できます。 操作手順は、本書 115 ページ「ノズルチェック」を参照してください。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドを清掃します。プリントヘッドが目詰まりしているときに実行します。 操作手順は、本書 118 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。
ギャップ調整	双方向印刷で、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になったりするとき、ギャップ（ズレ）を調整します。 操作手順は、本書 119 ページ「ギャップ調整」を参照してください。
印刷位置補正	上下左右方向の印刷位置を補正できます。ディスクの印刷結果を確認し、印刷位置がずれているときに実行します。 操作手順は、本書 121 ページ「印刷位置補正」を参照してください。

プリンタードライバーの基本的な使い方

市販のソフトウェアからレーベル印刷を行うときは、使用するプリンタードライバーと、印刷する用紙サイズを設定します。

参考

発行モードを「標準モード」、スタッカー 3 を「使用する」に設定した場合、市販のソフトウェアからは印刷できません。

ここでは、Windows に標準添付のワードパッドでデータを作成し、レーベル印刷する方法を説明します。

- 1 ワードパッドを起動します。
- 2 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。
- 3 使用するプリンターとして[EPSON PP-XXXPRN]を選択し、[適用]をクリックします。
「XXX」は、お使いの機種によって以下のように表示されます。
 - PP-100III : 100
 - PP-50II : 50
 - PP-100AP : 100AP
- 4 [キャンセル]をクリックして[印刷]画面を閉じます。
- 5 [ファイル]メニューの[ページ設定]をクリックします。
- 6 [サイズ]と[余白]を以下の通りに設定し、[OK]をクリックします。
[サイズ]の設定：

標準	[幅]と[高さ]が124×124mmに設定されます。
ワイドタイプ	[幅]と[高さ]が124×124mmに設定されます。
ユーザー定義サイズ	[幅]と[高さ]を任意の数値に設定します。

[余白]の設定：[左]、[右]、[上]、[下]を各2mmに設定します。



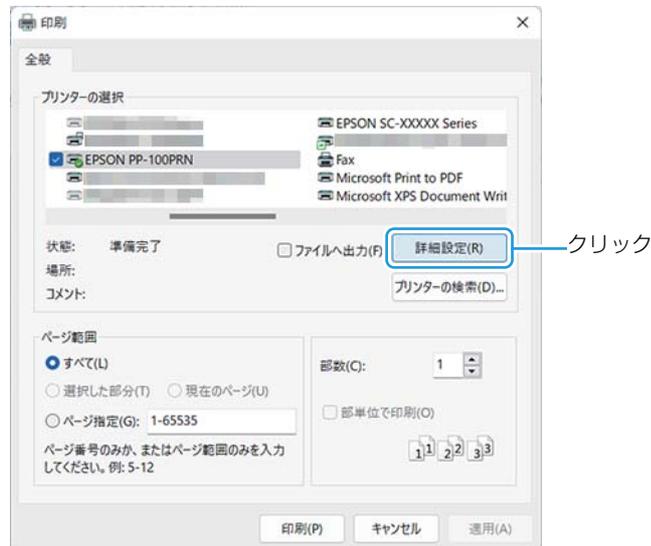
参考

EPSON Total Disc Maker 以外のソフトウェアで印刷するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。

用紙サイズ：124×124mm

上下左右の余白：2mm

- 7 印刷するデータを作成します。
- 8 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。
- 9 [詳細設定]をクリックします。



プリンタードライバー画面が表示されます。

- 10 プリンタードライバーを設定し、[OK]をクリックします。
プリンタードライバーの設定の詳細は、本書 22 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。



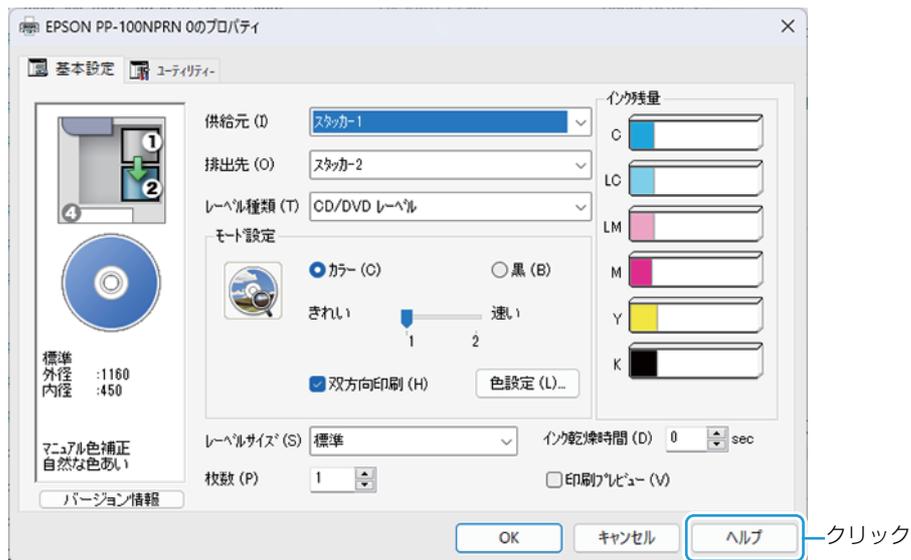
- 11 [印刷]をクリックします。
印刷が開始されます。

プリンタードライバーのヘルプ表示

ここでは、プリンタードライバーのヘルプの表示方法を説明します。

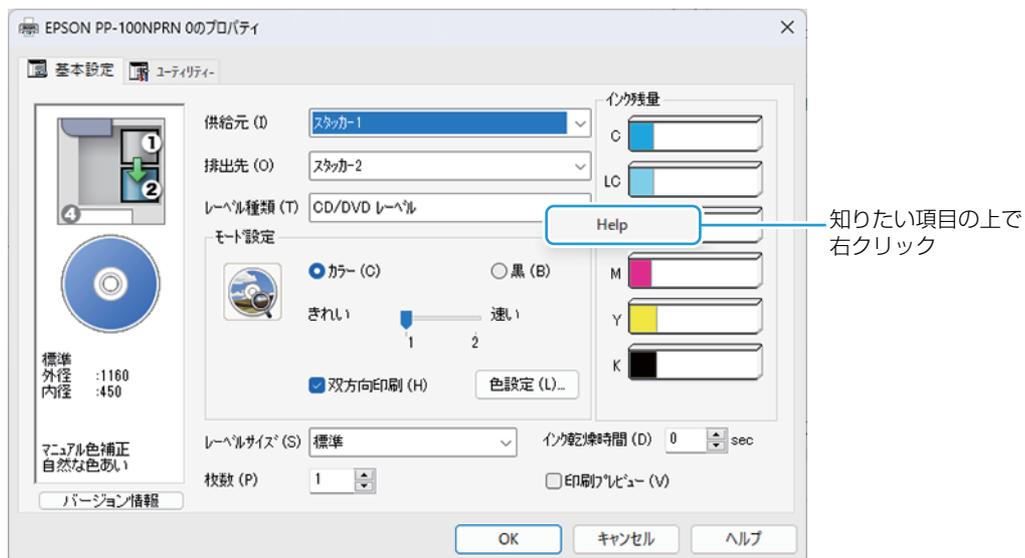
EPSON プリンタードライバーヘルプの表示方法

[ヘルプ] をクリックします。



各項目の説明の表示方法

各項目の説明を表示する場合は、知りたい項目上で右クリックし、[Help] をクリックします。



ディスクの作成～基本編～

使用できるディスクの種類

印刷できるディスクの種類と、書き込み / 読み込みできるディスクの種類は異なります。本製品 * で印刷と書き込みの両方を行うときは、両方に対応するディスクを使用してください。

* : PP-100AP では、ディスクへの書き込み、読み込みはできません。

印刷できるディスクの種類

印刷できるディスクの種類は、レーベル面がインクジェット方式カラープリンターでの印刷に対応している * 12cm サイズの CD/DVD/BD ディスクです。

* ディスクの取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンター対応」などと表記されているもの

注意

- 本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには、対応していません。
- エプソン推奨ディスク以外の光沢ディスクには、対応していません。
- 80mm サイズのディスクには対応していません。
- レンズクリーナー、レーベルシールやラベルを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- ひび割れや変形補修したディスクは使用しないでください。製品内部で飛び散り、故障や、ディスク取り出し時のけがの原因となるおそれがあります。
- ディスクによっては、印刷直後にディスクを重ねるとインクが記録面に付着する場合があります。不要なディスクを使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- ディスクによっては、印刷位置がずれる場合があります。ギャップ調整、および印刷位置補正を行ってください。ギャップ調整および印刷位置補正の詳細は、本書 24 ページ「[ユーティリティー]画面」を参照してください。
- スタックリング（同心円状の突起形状）が小さいディスクを使用すると、印刷前後でディスク同士が貼り付く可能性があります。
- 同一製品のディスクに同じデータを印刷しても、各ディスクの個体差（ばらつき）により、印刷結果が同じにならない場合があります。

参考

ディスクの品質が印刷品質に影響することがあります。エプソン推奨ディスクのご使用をお勧めします。エプソン推奨ディスクの詳細は、本書 194 ページ「エプソン推奨ディスク」を参照してください。

書き込み / 読み込みできるディスクの種類(PP-100III/PP-50II のみ)

書き込み / 読み込みできるディスクの種類は、以下の通りです。

種類	容量	特徴
CD-R	650MB/700MB	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。
DVD-R	4.7GB (片面 1 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 DVD フォーラムで策定された規格の DVD です。
DVD+R	4.7GB (片面 1 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 DVD+RW アライアンスで策定された規格の DVD です。
DVD-R DL	8.5GB (片面 2 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 片面に 2 層記録が可能です。容量が大きく、長時間または高画質の映像も記録できます。 DVD フォーラムで策定された規格の DVD です。
DVD+R DL	8.5GB (片面 2 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 片面に 2 層記録が可能です。容量が大きく、長時間または高画質の映像も記録できます。 DVD+RW アライアンスで策定された規格の DVD です。
BD-R	25GB (片面 1 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 容量が大きく、従来の DVD の 5 倍以上の容量のデータを記録できます。 Blu-ray Disc Association が規格の策定や普及促進を行っている規格の BD です。
BD-R DL	50GB (片面 2 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 片面に 2 層記録が可能です。容量が大きく、BD-R の 2 倍の容量のデータを記録できます。
BD-R XL 100*	100GB (片面 3 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 片面に 3 層記録が可能です。容量が大きく、BD-R の 4 倍の容量のデータを記録できます。
BD-R XL 128*	128GB (片面 4 層)	一度書き込まれたデータの書き換え / 消去はできません。 片面に 4 層記録が可能です。容量が大きく、BD-R の 5 倍の容量のデータを記録できます。

* すべてのドライブが BDE-PR1EP2 で、Total Disc Maker Version9.0 以降が必要です

注意

- 80mm サイズのディスクには対応していません。
- レンズクリーナー、レーベルシールやラベルを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- ひび割れや変形補修したディスクは使用しないでください。製品内部で飛び散り、故障や、ディスク取り出し時のけがの原因となるおそれがあります。
- ディスクのわずかなキズや汚れによって、正常に書き込み（読み込み）できなくなるおそれがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
- 使用するディスクによっては、ディスクの推奨倍速では正しく書き込めない場合があります。その場合は、書き込み速度を落としてください。特に DVD±R DL の場合は、低倍速での書き込みをお勧めします。
- レイヤージャンプレコーディングには対応していません。

参考

- ディスクの品質が書き込み / 読み込み品質に影響することがあります。エプソン推奨ディスクのご使用をお勧めします。エプソン推奨ディスクの詳細は、[本書 194 ページ「エプソン推奨ディスク」](#)を参照してください。
- 書き込み / 読み込みできるディスクの種類の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

ディスクの取り扱い

使用上の注意

注意

- ディスクを持つときは、記録面を触らないようにしてください。
- レーベル面および記録面に指紋、汚れ、ホコリ、水滴、キズなどが付かないよう、大切にお取り扱いください。付着したホコリ、汚れ等は柔らかい乾いた布や市販のCDクリーナーで軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。
- ディスクを落下させたり、衝撃を与えないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- 粘着性のあるシールを貼らないでください。書き込み、印刷、および再生ができなくなる可能性があります。
- ゴミやホコリの多いところでは、使用しないでください。
- 書き込みと印刷を別々に行う場合、書き込みをしてから、印刷することをお勧めします。
- ディスクを積み重ねた状態で放置すると、ディスク同士が貼り付く場合があります。
- 印刷直後に印刷面に直接手で触れたり、水滴が付くと、にじむ場合があります。
- 印刷後は、印刷面を十分に乾かしてください。ただし、ドライヤー等を使用せず、自然乾燥させてください。
- 文字の書き込みは印刷面にのみ可能です。その場合は、フェルトペン等の先の柔らかい筆記具を使用し、ボールペンや鉛筆等の先の固い筆記具は使用しないでください。また、一度記入した文字は消さないでください。
- 本製品で印刷したディスクは、オートローディング機構や直径 33mm 以上の保持機構を持つドライブ機器、車載ドライブ機器で使用しないでください。また、機器内に長期間放置しないでください。
- PP-100III/PP-50II のみ：
作成したディスクは、ドライブ・プレーヤーとの相性により、認識されない場合があります。

保管時の注意

注意

- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、高温多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露する場合があります。
- 上に物を置かないでください。
- 保管の際は、ディスクケースに入れ、印刷面にフィルムやカードなどが接触しないようにご注意ください。印刷面にキズが付く場合があります。
- 軟質系ケースおよび袋等、印刷面に直接触れるものに保管しないでください。ディスクが貼り付いたり、色のむらや変色が起こる場合があります。
- 印刷面の一部だけを覆った状態で保管しないでください。色のむらや変色が起こる場合があります。
- 重要なデータは万が一に備えてバックアップ（複製）を行ってください。また、長期間保存するときは、定期的にバックアップすることをお勧めします。

参考

その他のディスクの取り扱い方法や注意事項については、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

ディスク複製についての注意事項(PP-100III/PP-50IIのみ)

- コピー元として使用する CD/DVD ドライブは、MMC4 に準拠したコマンドをサポートし、MMC4 に準拠した動作を行うものをご利用ください。
- コピー元として使用する BD ドライブは、MMC5 に準拠したコマンドをサポートし、MMC5 に準拠した動作を行うものをご利用ください。
- コピー元として使用する CD/DVD/BD ドライブの機種により、コピーCD/DVD/BD を作成できない場合があります。その場合は、コピー元の CD/DVD/BD ドライブを替えてお試しください。
- コピー元のディスクがマルチセッションの CD/DVD/BD の場合は、コピーすることはできません。
- コピー元のディスクがパケットライトの CD の場合は、コピーすることはできません。
- EPSON Total Disc Maker で読み込み、複製などができるイメージファイル (ISO) は、Total Disc Maker で作成したもののみです。他社のソフトウェアで作成したイメージファイルや、他社のソフトウェアで作成したディスクから読み込んだイメージファイルについては、動作を保証しておりません。

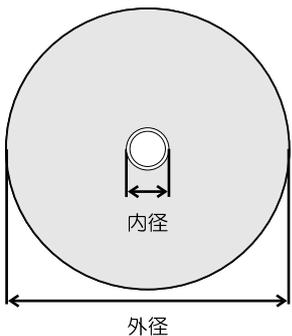
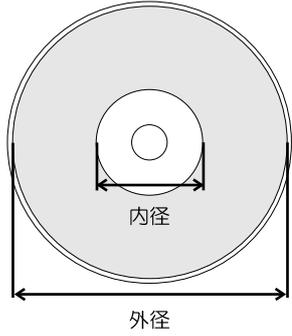
印刷可能領域

印刷可能領域とは、レーベル面の印刷できる領域です。

印刷可能領域と印刷推奨領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

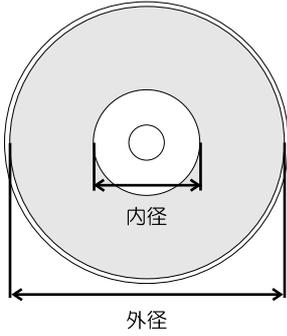
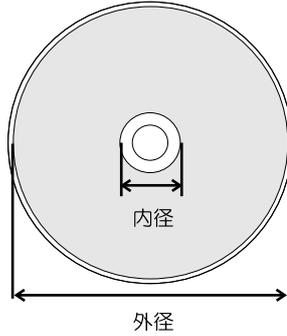
注意

- 印刷推奨領域外に印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ / 乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。
- 使用するディスクのレーベル印刷範囲 (受容層) 外に印刷をした場合、印刷範囲外のインクは定着しません。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。

印刷可能領域		印刷推奨領域	
			
内径	外径	内径	外径
18.0mm	119.4mm	45.0mm	116.0mm

印刷領域の設定

印刷領域は、EPSON Total Disc Maker の [内径・外径の設定]、またはプリンタードライバー画面の [レーベルサイズ] で設定します。[標準]、[ワイドタイプ] から選択するか、任意のサイズ(ユーザー定義サイズ)を設定できます。[標準] と [ワイドタイプ] の印刷領域は、下表の通りです。下図のグレーの領域に印刷されます。

標準		ワイドタイプ	
			
内径	外径	内径	外径
45.0mm	116.0mm	25.5mm	116.0mm

注意

- 設定した印刷領域が、使用するディスクの印刷領域を超えていないか確認して印刷してください。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、発色が均一にならない可能性があります。
- 記録面にあるスタックリング（同心円状の突起形状）部分に印刷すると、印刷後にインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。

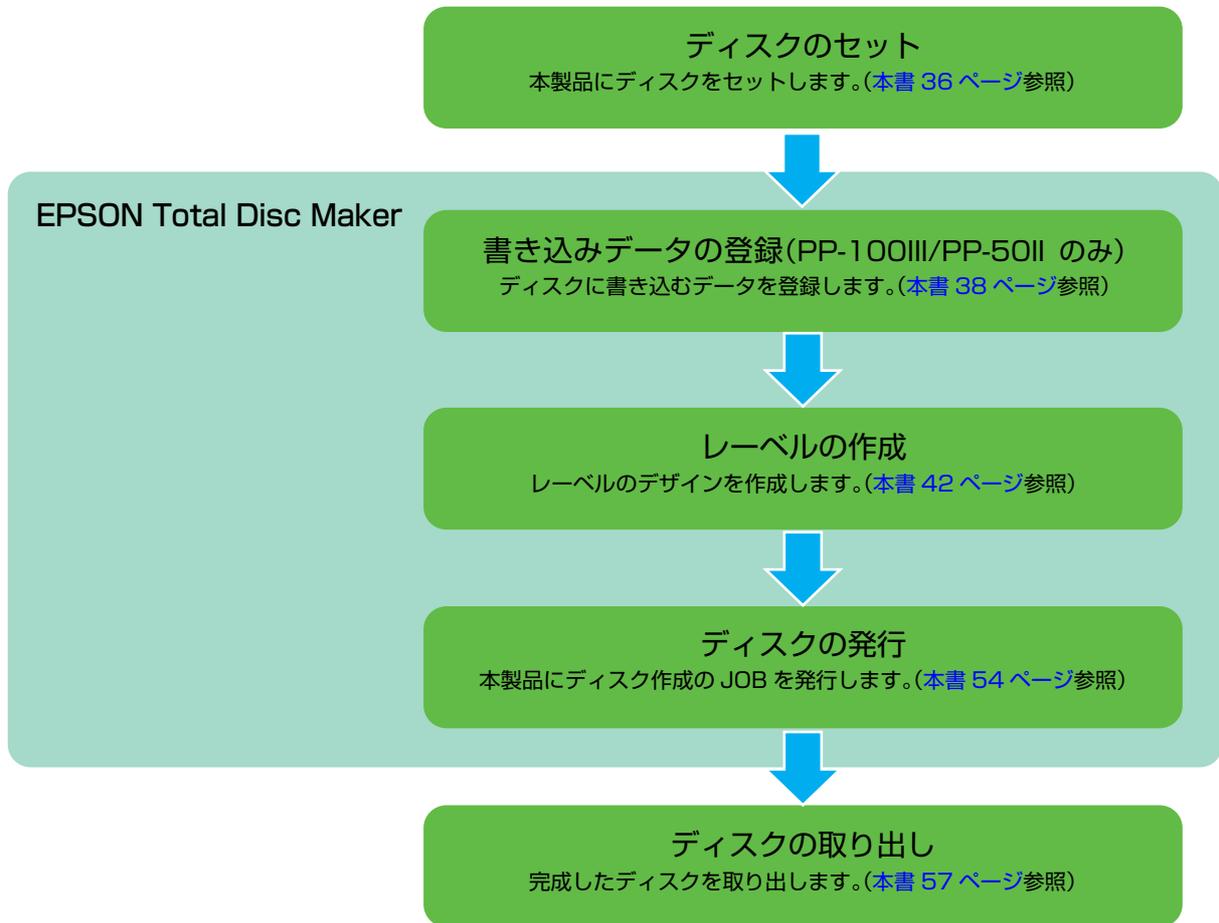
参考

- ユーザー定義サイズの設定方法は、[本書 83 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」](#)を参照してください。
- EPSON Total Disc Maker 以外のソフトウェアでレーベルを印刷するときは、以下の設定で印刷データを作成してください。
 - * 用紙サイズ：124×124mm
 - * 上下左右の余白：2mm

ディスク作成の流れ

ここでは、EPSON Total Disc Maker でディスクを作成する手順を説明します。

EPSON Total Disc Maker については、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker」](#) を参照してください。

**参考**

その他のソフトウェアで作成したレーベルを印刷する場合は、[本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」](#) を参照してください。

ディスクのセット

以下の手順に従い、ディスクをスタッカーに入れ、スタッカーをセットします。

注意

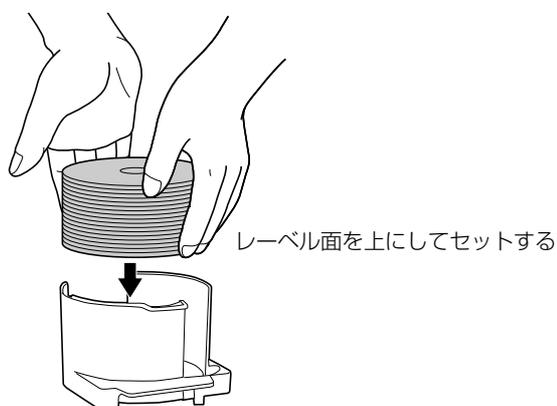
- ディスクは、スタッカーにセットします。ドライブやプリンターにセットしないでください。
- PP-100IIIのドライブ1とドライブ2の間にディスクを入れないでください。取り出せなくなるおそれがあります。

1 ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらします。

注意

- ディスクにキズが付かないように十分注意してください。
- スタッカーにセットして長時間が経過すると、ばらしたディスクが再度貼り付く可能性があります。スタッカーにセットして長時間が経過した場合は、ディスクを再度ばらしてください。

2 供給元スタッカーを取り出し、ディスクをセットします。



供給元として使用するスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。下表で、供給元スタッカーを確認してください。

発行モード	供給元	ディスク枚数
標準モード	スタッカー 1	約 50 枚まで
外部排出モード (PP-100III/PP-100AP のみ) (スタッカー 1 とスタッカー 2 で、異なる種類のディスクをセット可)	スタッカー 1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで
バッチ処理モード (PP-100III/PP-100AP のみ)	スタッカー 1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで
読み込みモード (PP-100III/PP-50II のみ)	スタッカー 1	約 50 枚まで
少量発行モード (PP-50II のみ) (スタッカー 1 とスタッカー 2 で、異なる種類のディスクをセット可)	スタッカー 1	約 50 枚まで
	スタッカー 2	約 50 枚まで

注意

- スタッカーの赤い点線を超えてディスクをセットしないでください。本製品が故障したり、ディスクが破損したりするおそれがあります。
- スタッカーの底が汚れていないことを確認し、ディスクをセットしてください。
- 同一スタッカー内にCD/DVDとBDを混在させないでください。ディスクのピックアップエラーが起こりやすくなります。
- PP-100III/PP-100AP のみ：
 - * スタッカー3を使用する場合、ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー4を引き出さないでください。
 - * 排出先をスタッカー4に設定している場合、スタッカー3を取り外し、ロックレバーを [UNLOCK] にしてください。

3 スタッカーを取り付け、ディスクカバーを閉めます。

書き込みデータの登録(PP-100III/PP-50II のみ)

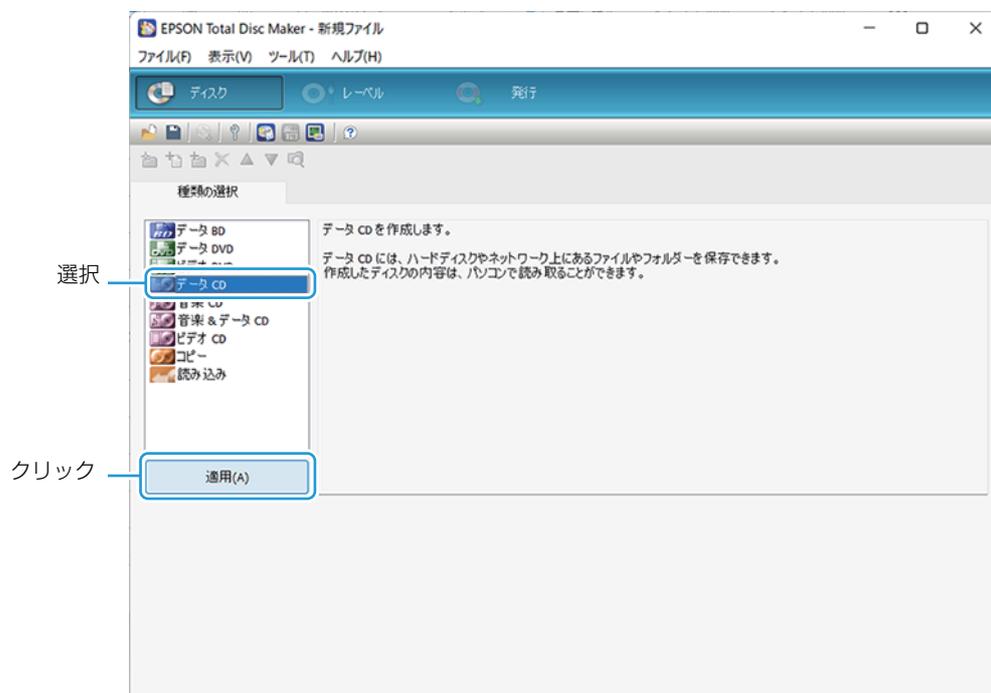
以下の手順に従い、EPSON Total Disc Maker のディスクビューで、書き込むデータを登録します。

参考

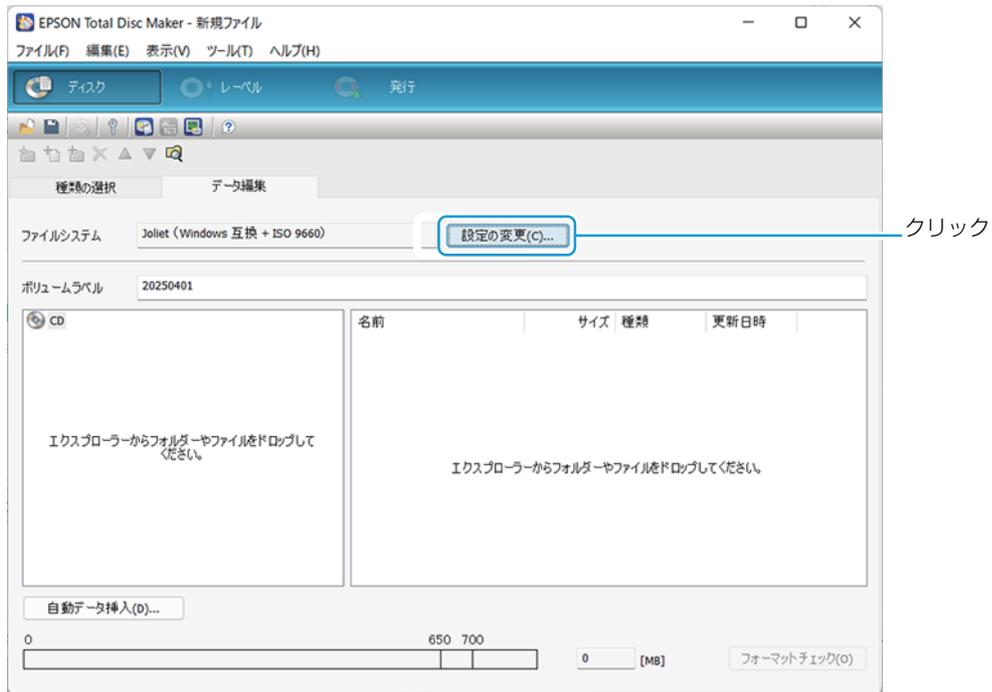
ディスクのレーベル印刷だけを行いたい場合は、書き込みデータの登録は必要ありません。

ここでは、写真データの CD を作成する手順を例に説明します。

- 1 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。
ディスクビューが表示されます。
- 2 [種類の選択] から [データ CD] を選択し、[適用] をクリックします。



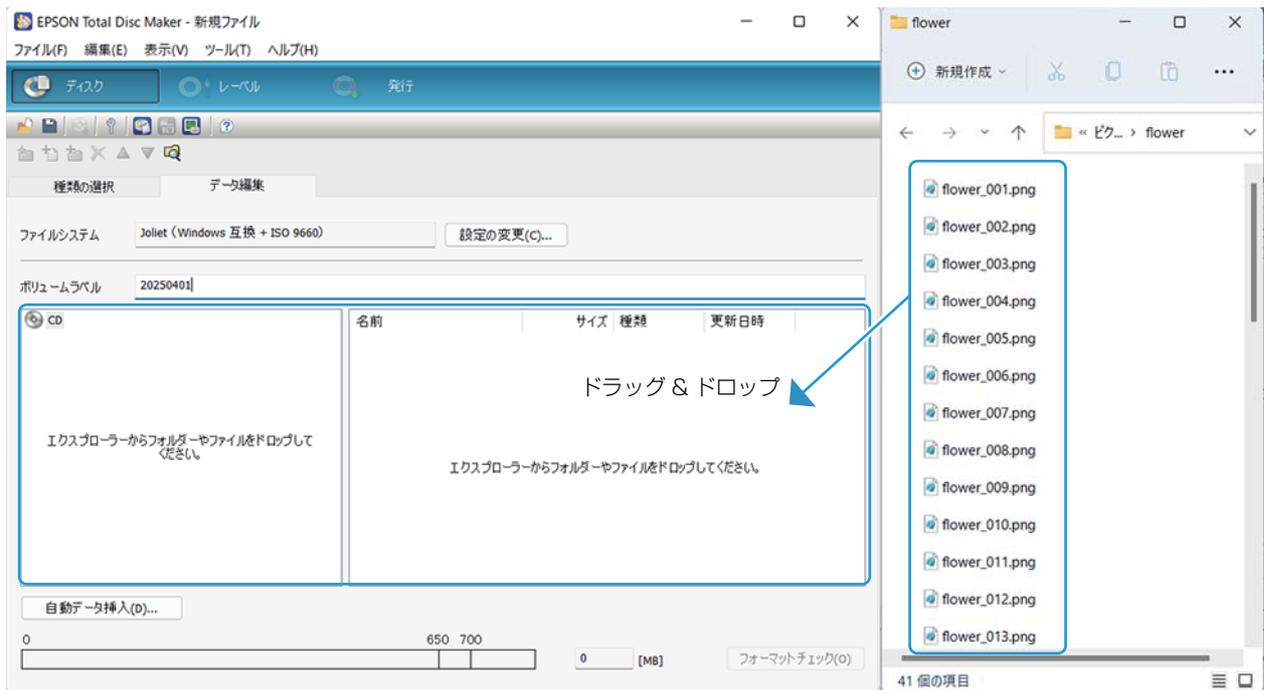
3 [設定の変更] をクリックします。



4 [ファイルシステム] を選択します。 ここでは例として、[Joliet (Windows 互換 + ISO 9660)] を選択します。



7 CDに書き込む画像データを、エクスプローラーからドラッグ＆ドロップします。



ドラッグ＆ドロップしたデータがデータリストに表示されます。

参考

- 登録した後にデータを変更した場合は、[フォーマットチェック]をクリックしてください。
- 登録したデータが選択したファイルシステムの制限範囲外の場合は、[ファイルシステム制限]ダイアログが表示されます。また、追加したデータによっては、[フォーマットチェック]をクリックする前に[ファイルシステム制限]ダイアログが表示される場合があります。ファイルシステム制限の詳細は、EPSON Total Disc Makerのヘルプをご覧ください。
- 書き込みデータの登録後、[ファイル]メニューの[ディスクイメージを作成]をクリックすると、登録したデータをディスクイメージファイルとして保存することができます。ディスクイメージファイルは、登録したデータのコピーCD/DVD/BDを作成するときに使用します。コピーCD/DVD/BDの作成方法は、本書109ページ「ディスクイメージファイルからコピーを作成する (PP-100III/PP-50IIIのみ)」を参照してください。

以上で、書き込みデータの登録は終了です。

次に、レーベルを作成します。

レーベルの作成

以下の手順に従い、EPSON Total Disc Maker のレーベルビューで、レーベルのデザインを作成します。

参考

PP-100III/PP-50II のみ：
ディスクのデータ書き込みだけを行いたい場合は、レーベルの作成は必要ありません。

レーベルビューでは、印刷結果のイメージを確認しながら、レーベルを編集できます。

ここでは、EPSON Total Disc Maker に用意されているテンプレートを使用する手順を説明します。

お手持ちのレーベル画像を使用する手順は、[本書80ページ「任意の画像でレーベルを作成する」](#)を参照してください。

テンプレートの選択

EPSON Total Disc Maker には豊富な種類のテンプレートが用意されています。テンプレートを使用すると、デザイン性の高いレーベルが簡単な操作で作成できます。

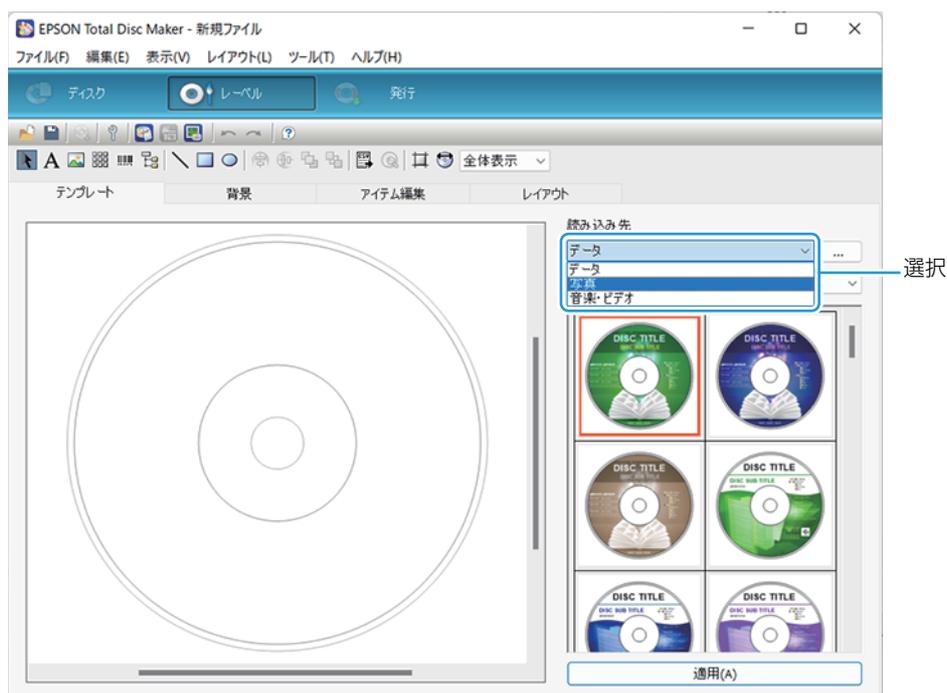
[テンプレート] 画面では、テンプレートを書き込むデータの種類によって、[データ]、[写真]、[音楽・ビデオ] から選択できます。

参考

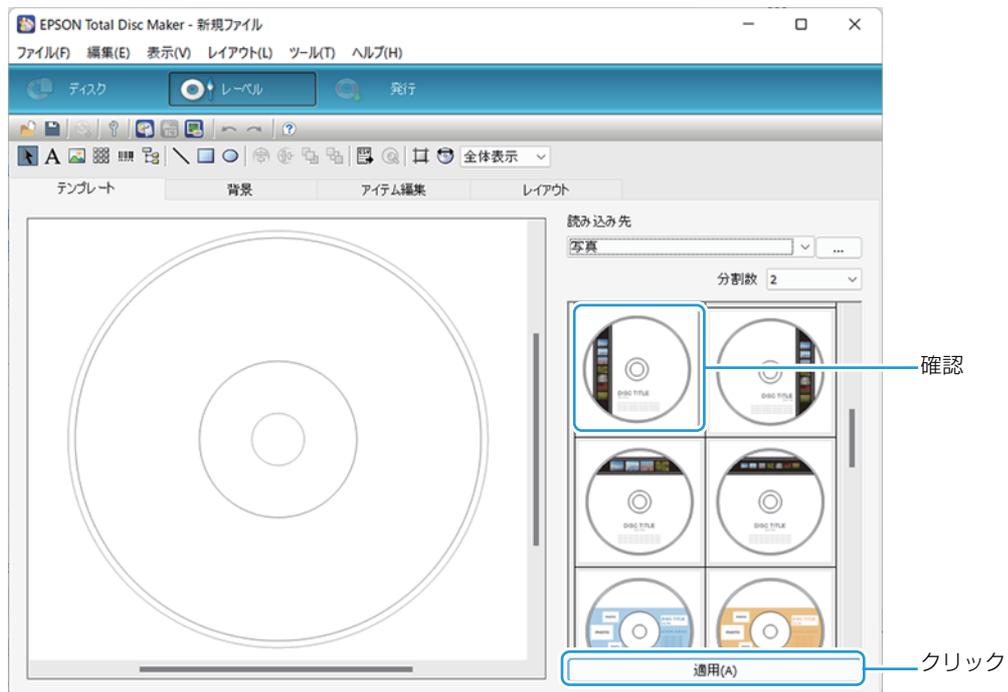
作成したレーベルをテンプレートとして保存 ([ファイル]メニュー - [テンプレートとして保存]) しておくと、そのテンプレートを選択することもできます。

ここでは例として、写真用のテンプレートを使用します。

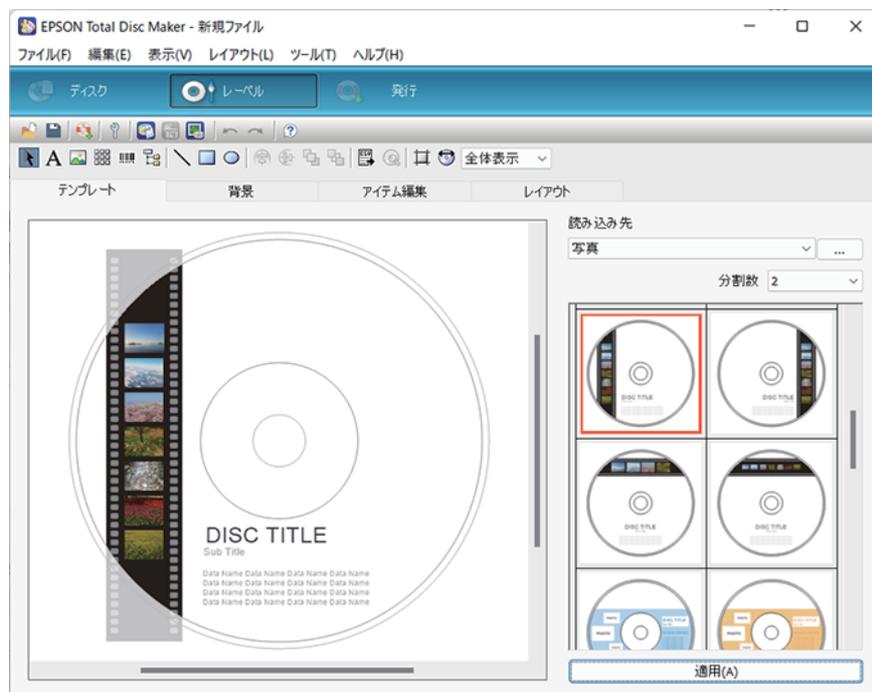
- 1 レーベルビューを表示させます。
表示方法は、[本書9ページ「レーベルビュー」](#)を参照してください。
- 2 [読み込み先] を選択します。作成したテンプレートを使用する場合は、 をクリックし、テンプレートが保存されているフォルダーを指定します。
ここでは例として、「写真」を選択します。



- 3 使用するテンプレートを選択し、[適用]をクリックします。
 ここでは例として、画面左上の画像を使用します。
 サムネイル画面左上の画像が選択されていることを確認し、[適用]をクリックしてください。



テンプレートの印刷イメージが表示されます。

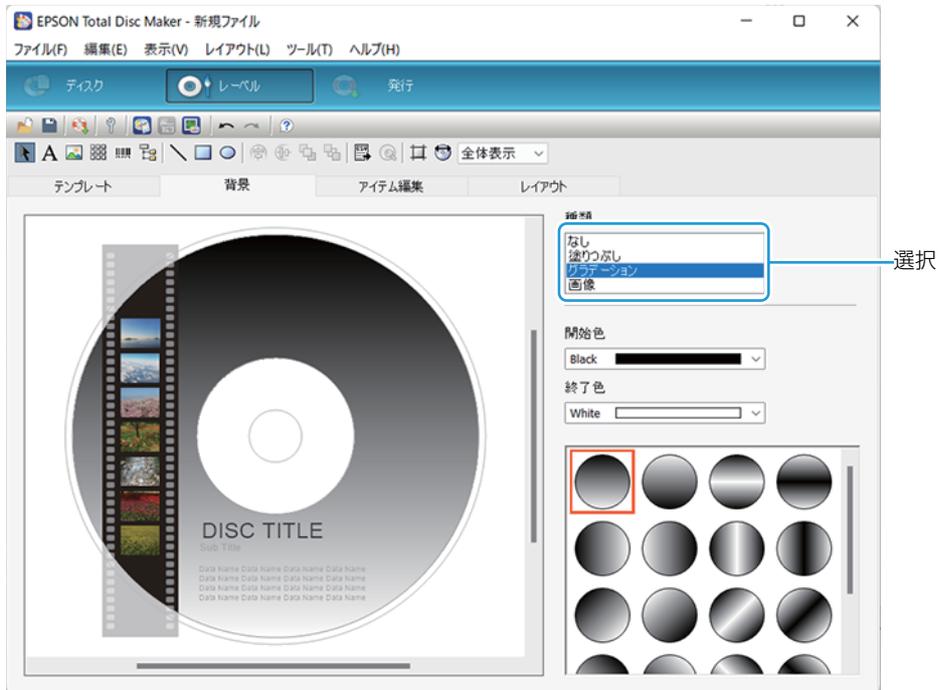


必要に応じ、背景の選択 (44 ページ参照)、アイテムの編集 (45 ページ参照)、レイアウトの調整 (52 ページ参照) を行ってください。

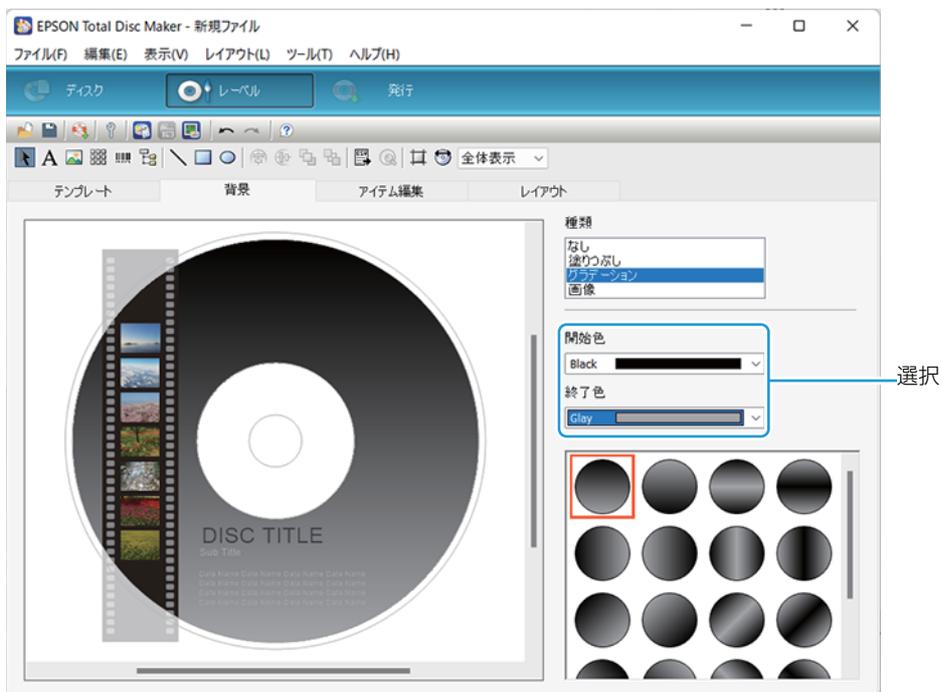
背景の選択

[背景]画面では、背景の色とグラデーションを選択できます。好きな画像を背景として挿入することもできます。

- 1 [種類]を選択します。
ここでは例として、「グラデーション」を選択します。



- 2 [開始色]、[終了色]、グラデーションのタイプを選択します。
ここでは例として、[開始色]に Black、[終了色]に Gray を選択します。



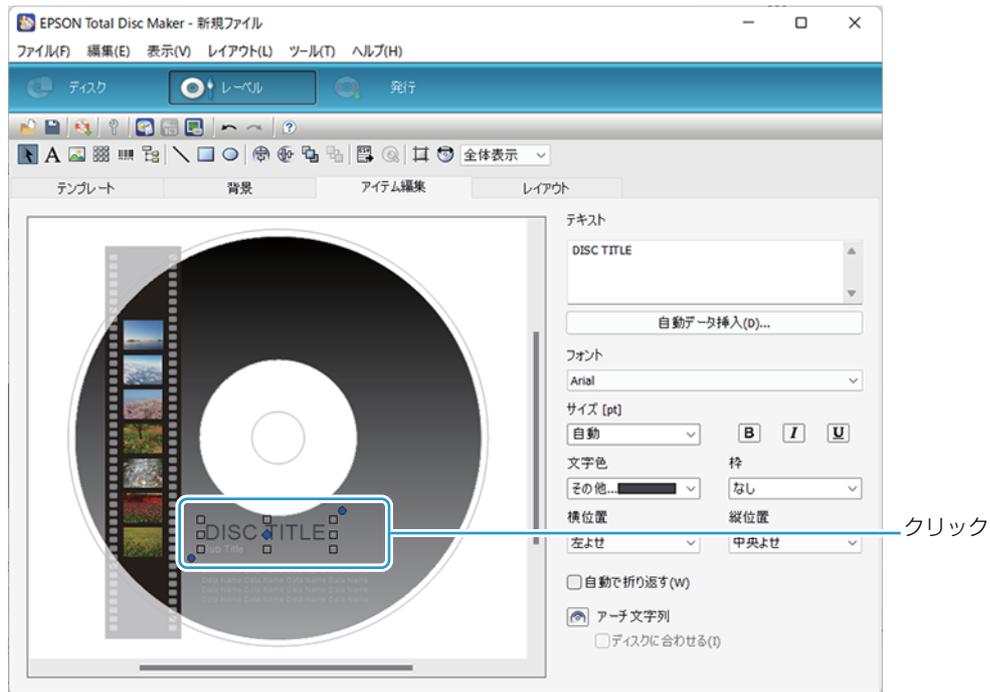
アイテムの編集

[アイテム編集] 画面では、テキスト、画像、サムネイル、バーコード、フォルダーツリー、図形などのアイテムを挿入、編集できます。

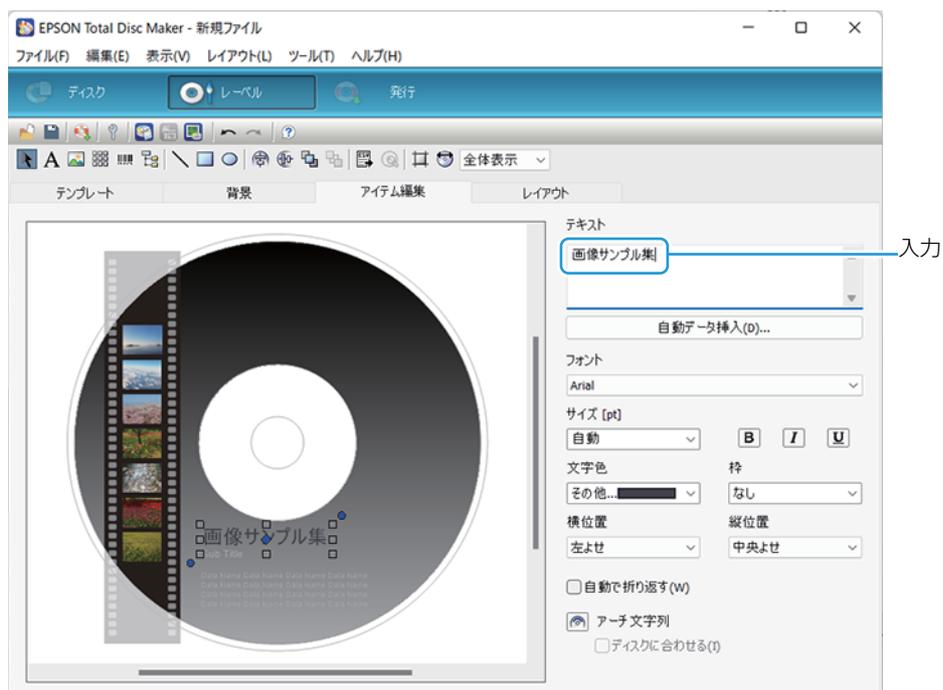
ここでは例として、テキストの編集、アイテムの削除、サムネイルとバーコードの挿入を行います。

テキストの編集

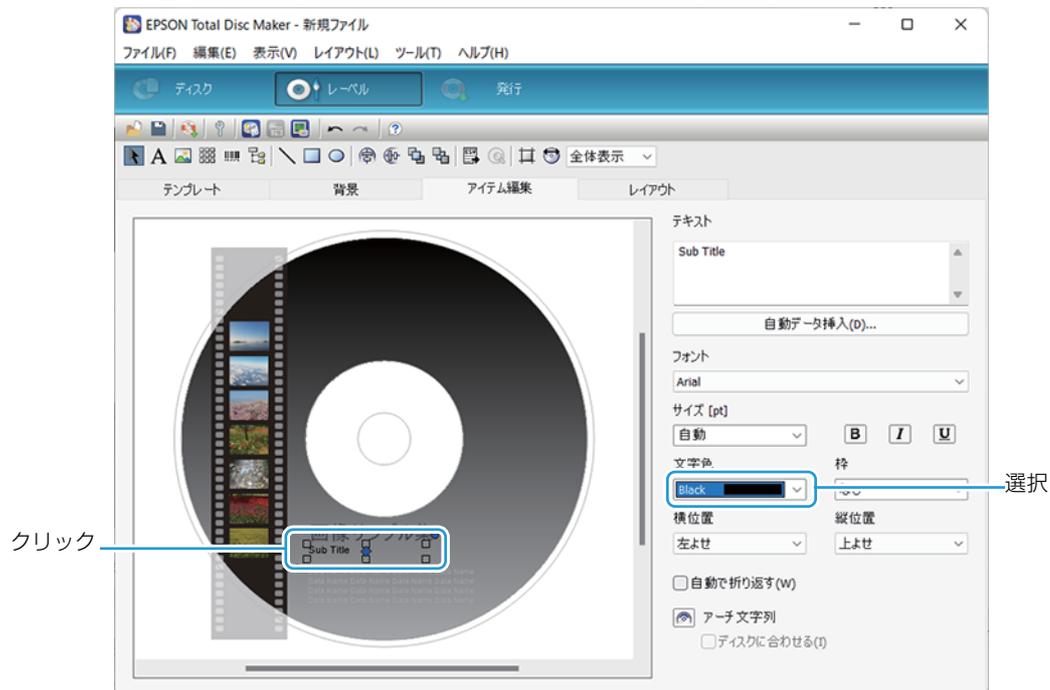
- 1 編集エリア内の [DISC TITLE] をクリックします。



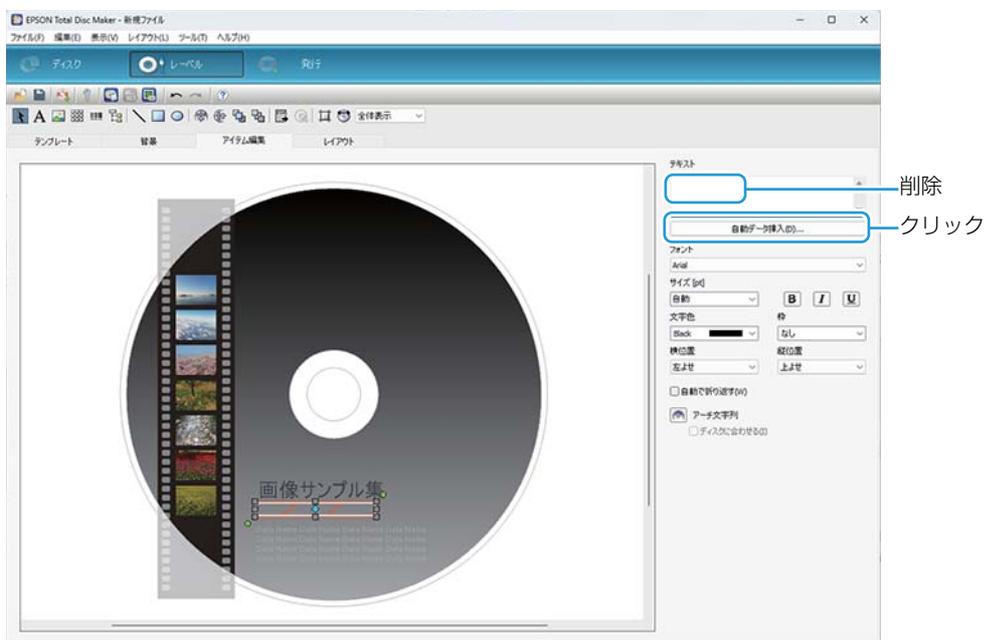
- 2 [テキスト] に配置したい文字を入力します。
ここでは例として、[画像サンプル集] と入力します。



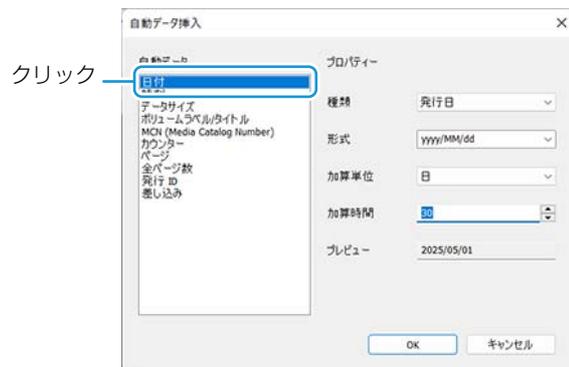
- 3 編集エリア内の [Sub Title] をクリックし、文字の設定を行います。
ここでは例として、[文字色] に黒を選択します。



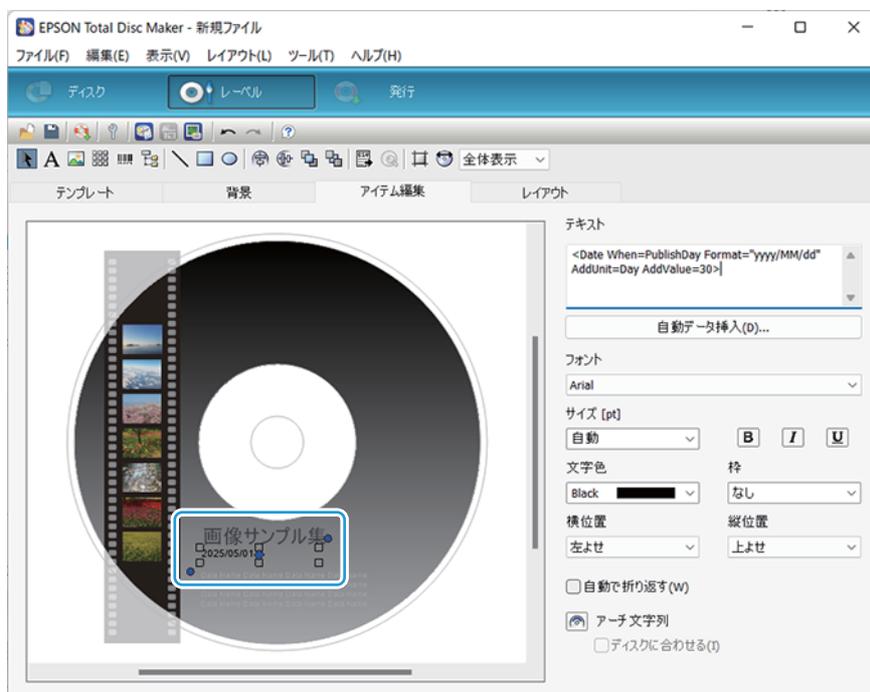
- 4 [テキスト] の「Sub Title」を削除し、[自動データ挿入] をクリックします。



- 5 自動データとプロパティを設定し、[OK] をクリックします。
 ここでは例として、[日付] を選択し、「2025/05/01」となるように [加算単位] を [日]、[加算時間] を [30] に設定します。(2025/05/01 に発行する場合)



日付が表示されます。

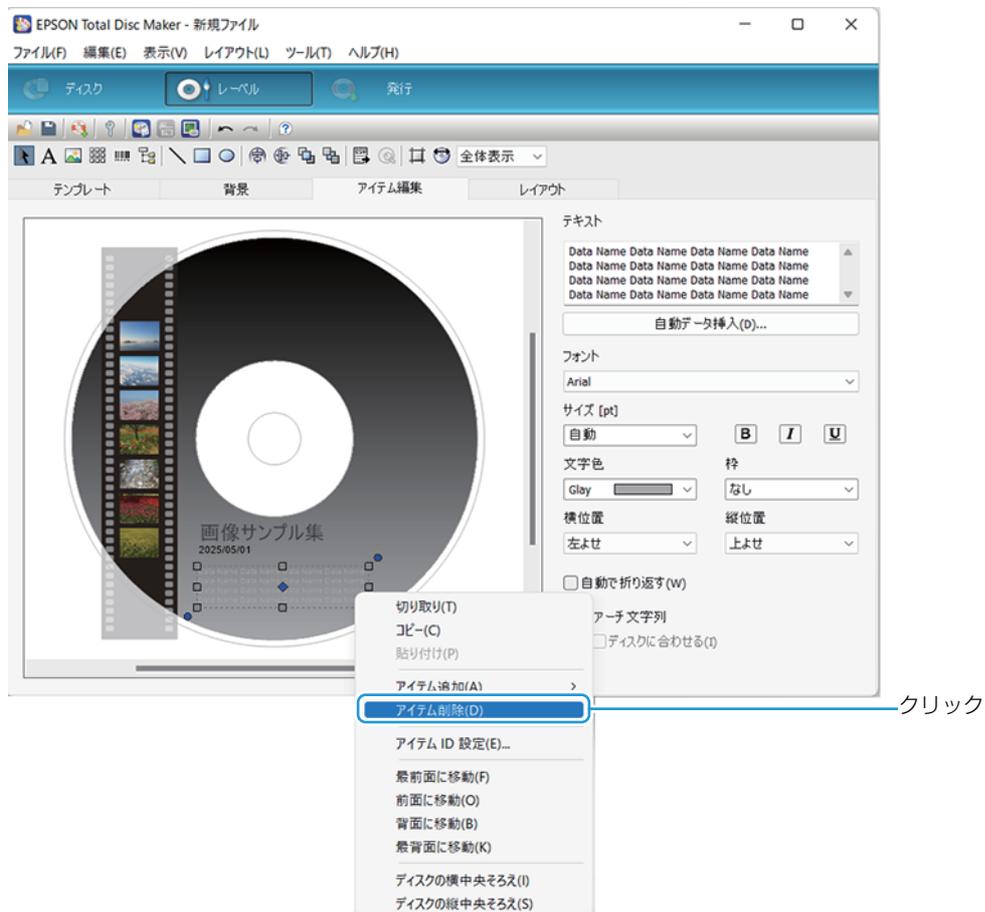


参考

自動データ挿入の詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

アイテムの削除

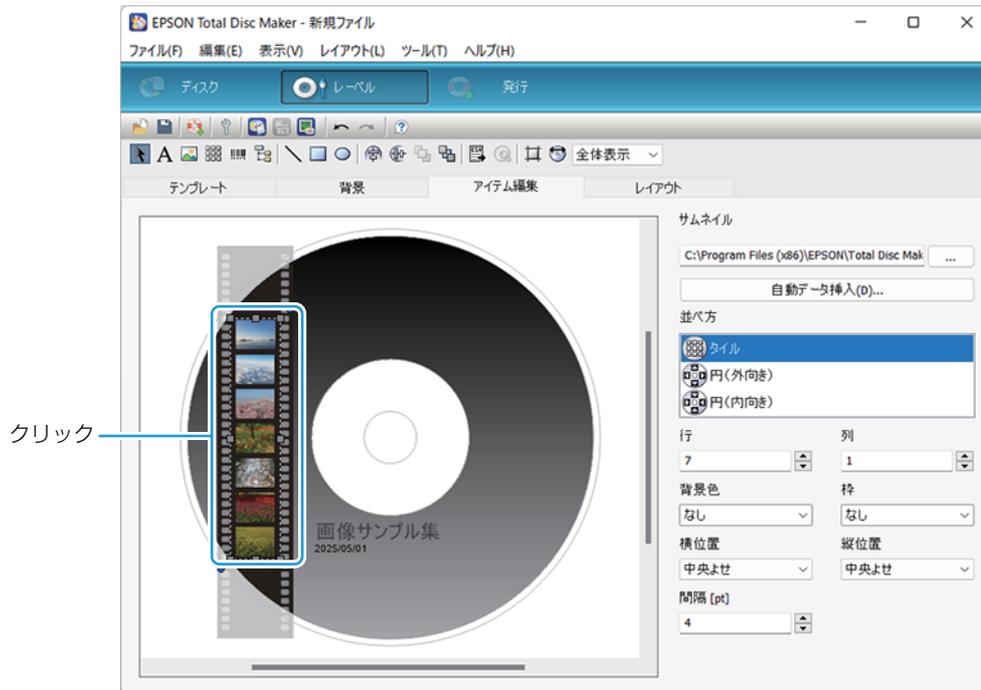
編集エリア内の削除したいアイテムを右クリックし、「アイテム削除」を選択します。
ここでは例として、[Data Name] を削除します。



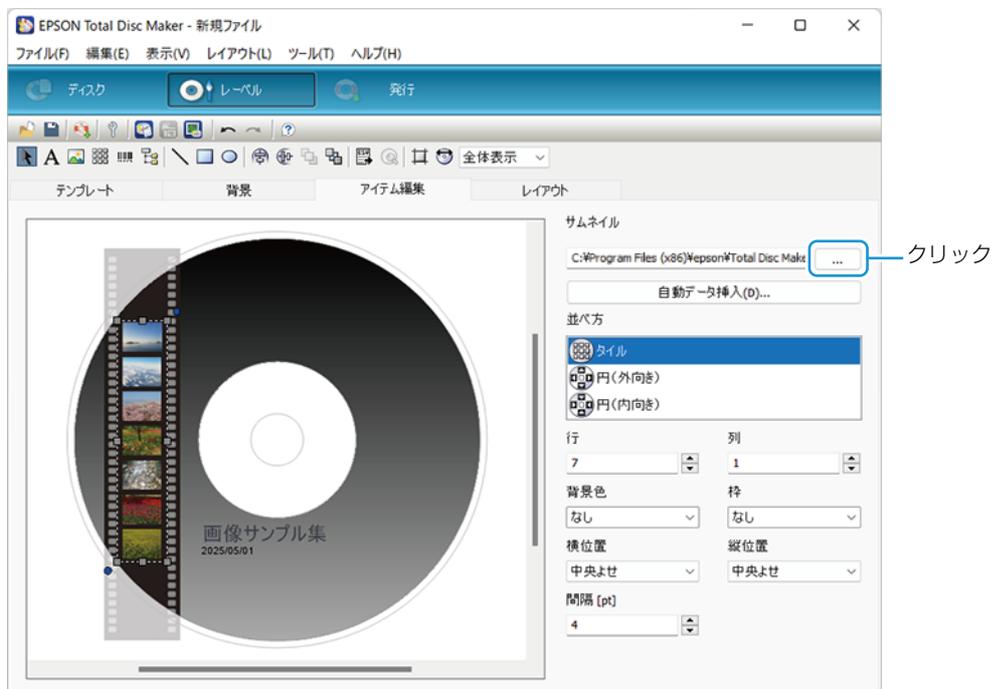
アイテムが削除されます。

サムネイルの挿入

- 1 編集エリア内のサムネイルをクリックします。



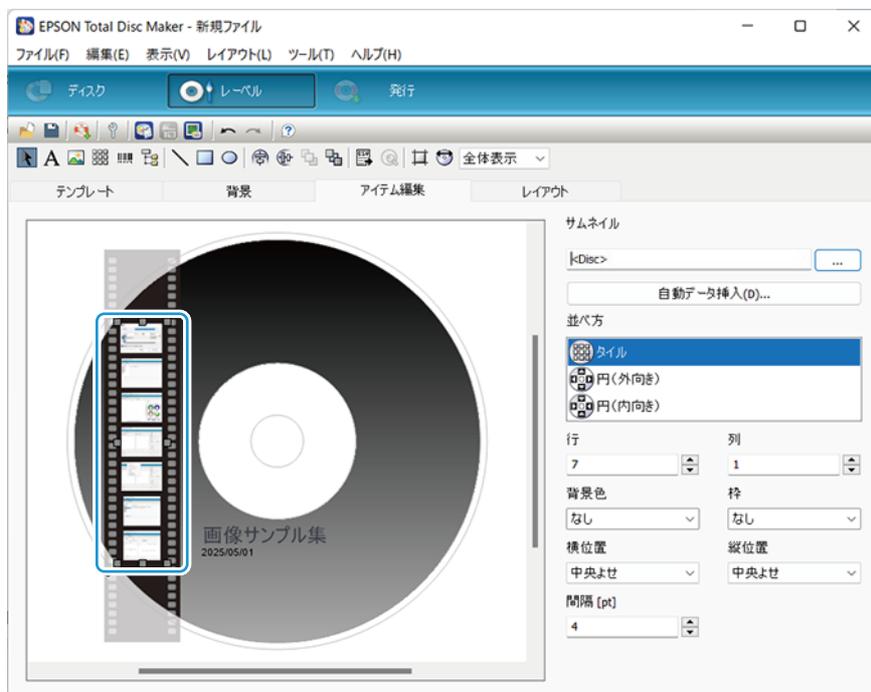
- 2 ... をクリックします。



- 3 サムネイルとして挿入したい画像が保存されているフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。



画像データのサムネイルが表示されます。

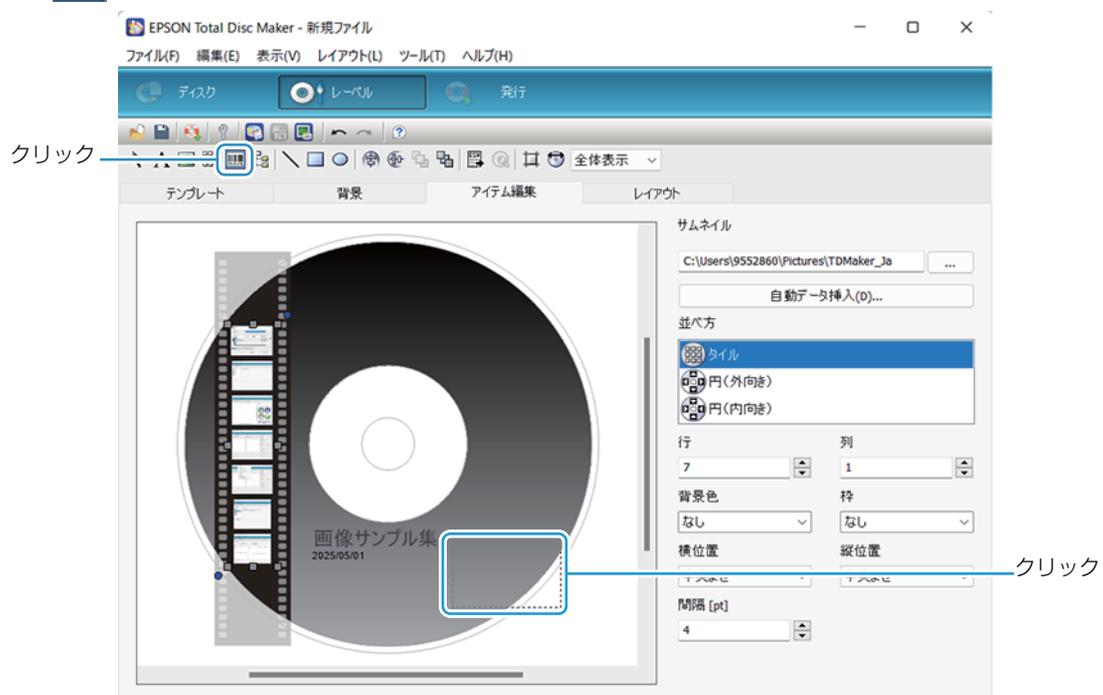


バーコードの挿入

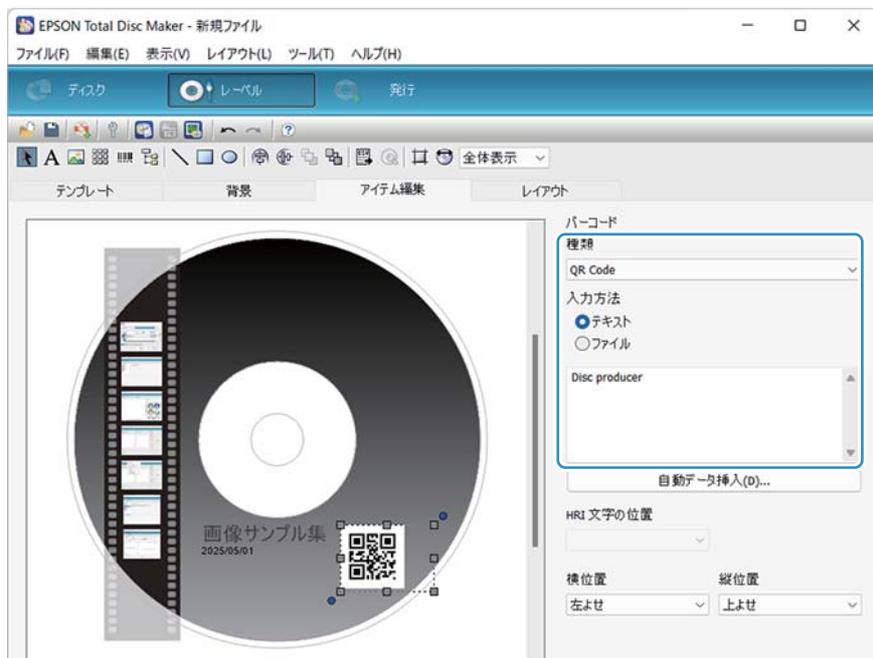
注意

- バーコード、2次元コードを印刷する場合は、必ずエプソン純正のインクカートリッジをご使用ください。
- エプソン推奨ディスク以外のディスクを使用してバーコード、2次元コードを印刷する場合は、印刷したバーコード、2次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。
- バーコード、2次元コードの上に他の印刷データを重ねたり、バーコード、2次元コードが印刷領域からはみ出すような配置をしないでください。
- バーコード、2次元コードは、黒と白の比率で情報を表します。ディスクの印刷面へのインクの浸透具合によって黒と白の比率が大幅に崩れると、正常にバーコード、2次元コードを読み込むことができなくなります。印刷したバーコード、2次元コードがスキャナーで正しく読み取れるかを確認してください。
- 双方向印刷で印刷したバーコードが正しく読み取れない場合は、ギャップ調整(119ページ参照)を行ってから印刷するか、または単方向印刷で印刷してください。

1  [バーコード] をクリックし、バーコードを配置したい場所をクリックします。



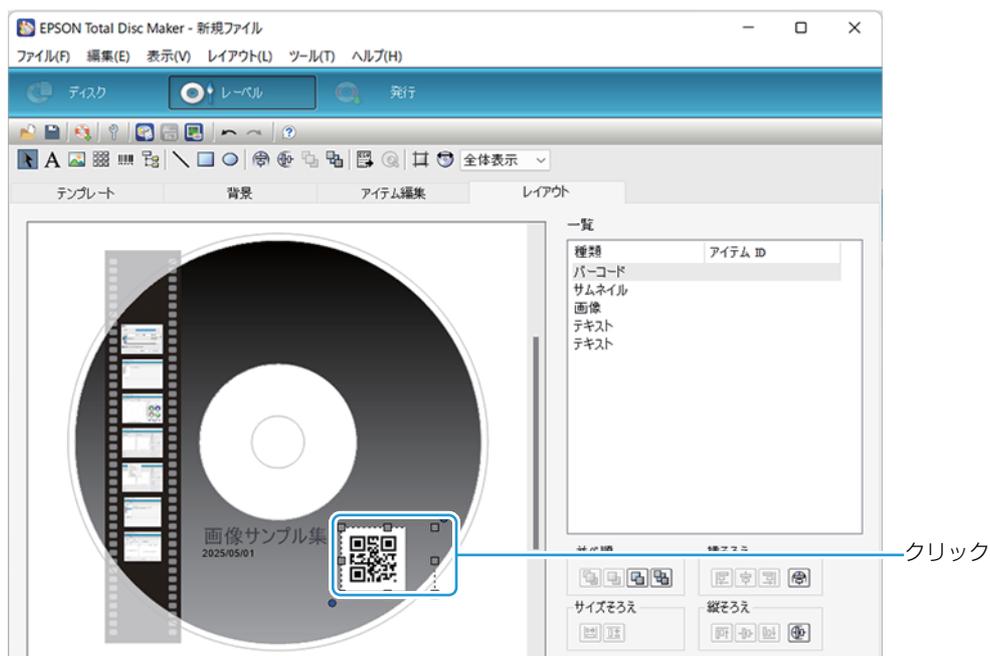
- 2 [種類]と[入力方法]を選択します。
ここでは例として、「QR CODE」を選択し、テキストを入力します。
バーコードが表示されます。



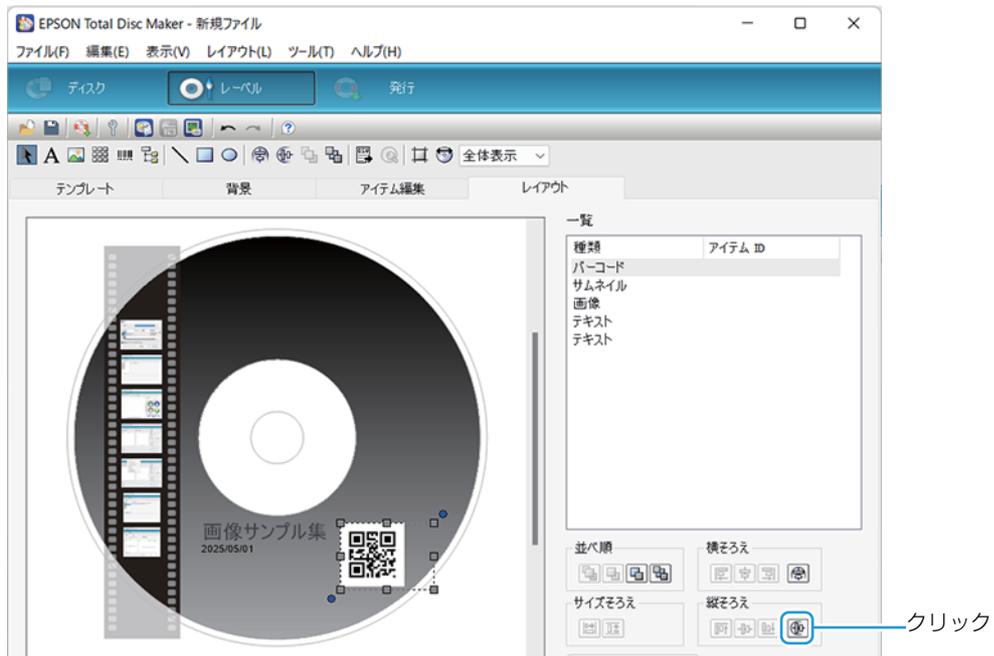
レイアウトの調整

[レイアウト]画面では、挿入したアイテムのレイアウトを微調整します。

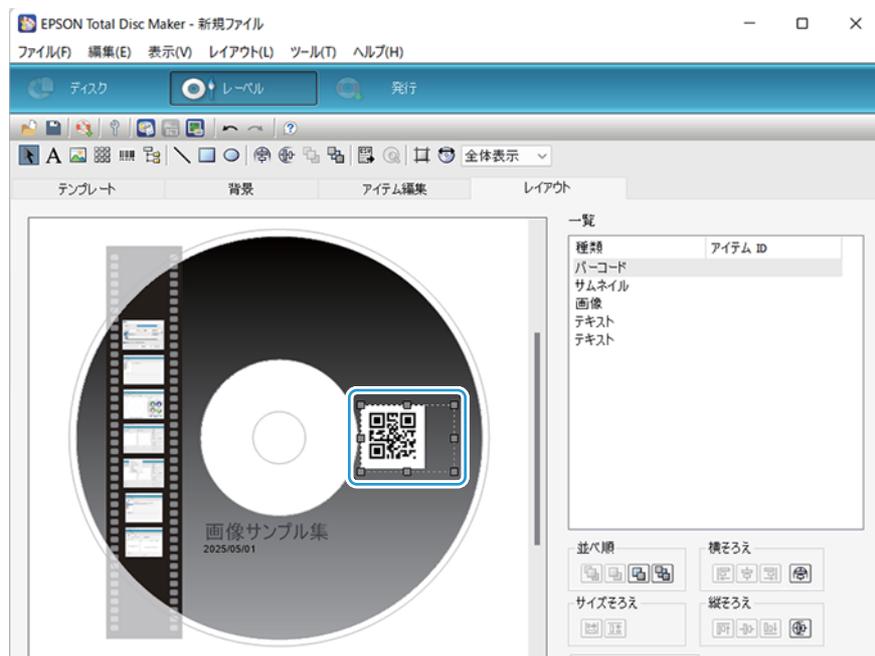
- 1 レイアウトを調整するアイテムをクリックします。
ここでは例として、バーコードを選択します。



2  [ディスクの縦中央そろえ] をクリックします。



バーコードがディスクの縦中央位置に表示されます。



レーベル作成の設定が終了したら、ディスクを発行します。

ディスクの発行

以下の手順に従い、EPSON Total Disc Maker の発行ビューで、本製品にディスク作成の JOB を発行します。

注意

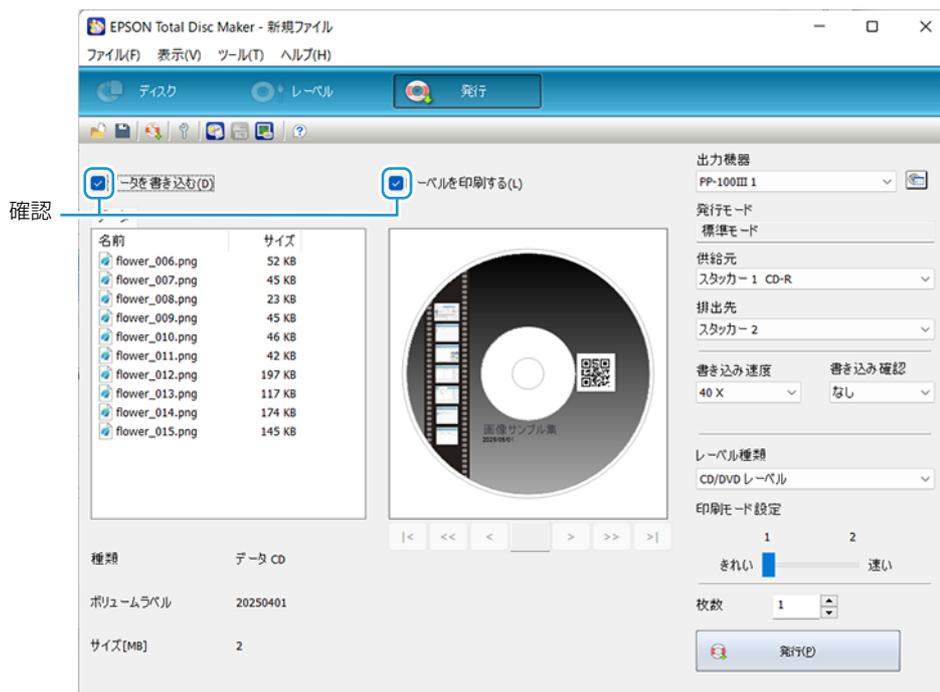
- 本製品を初めて使用する場合、長期保管後に使用する場合、およびエラー発生後に使用する場合は、まれにドット抜けやインク汚れが発生し、印刷品質が低下する可能性があります。複数枚のディスクを発行するときは、あらかじめ 1 枚発行し、ドット抜けが発生していないか確認してください。ドット抜けが発生した場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 117 ページ「ヘッドクリーニング」を参照してください。
- PP-100III/PP-50II のみ：
 - * 書き込みと印刷を別々に行う場合、書き込みをしてから、印刷することをお勧めします。印刷してから書き込みを行うと、インクによりディスク同士が貼り付いてディスクを搬送できない場合や、ゴミや汚れやキズによって、書き込み時にエラーが発生する場合があります。
 - * 使用するパソコンのファイルシステムが FAT の場合、DVD に書き込めない場合があります。

1 発行ビューを表示させます。

表示方法は、本書 10 ページ「発行ビュー」を参照してください。

2 [データを書き込む] と [レーベルを印刷する]、またはそのどちらかがチェックされていることを確認します。

PP-100AP では [レーベルを印刷する] がチェックされていることを確認します。



3 必要に応じて、以下の項目を設定します。

PP-100III/PP-50II :

[出力機器]、[供給元]、[排出先]、[書き込み速度]、[書き込み確認]、[レーベル種類]、[印刷モード設定]、[枚数]

PP-100AP :

[出力機器]、[供給元]、[排出先]、[レーベル種類]、[印刷モード設定]、[枚数]

注意

- エプソン推奨 CD/DVD のマットディスクに印刷するときは、[レーベル種類] で [高画質対応 CD/DVD レーベル] を選択してください。
- [レーベル種類] で [光沢CD/DVDレーベル] を選択すると、[印刷モード設定] は [1] に設定されます。
- PP-100III/PP-50II のみ :
 - * 使用するディスクやコンピューターにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。
 - * 使用するディスクによっては、ディスクの推奨倍速では正しく書き込めない場合があります。その場合は、書き込み速度を落としてください。特に DVD±R DL の場合は、低倍速での書き込みをお勧めします。

参考

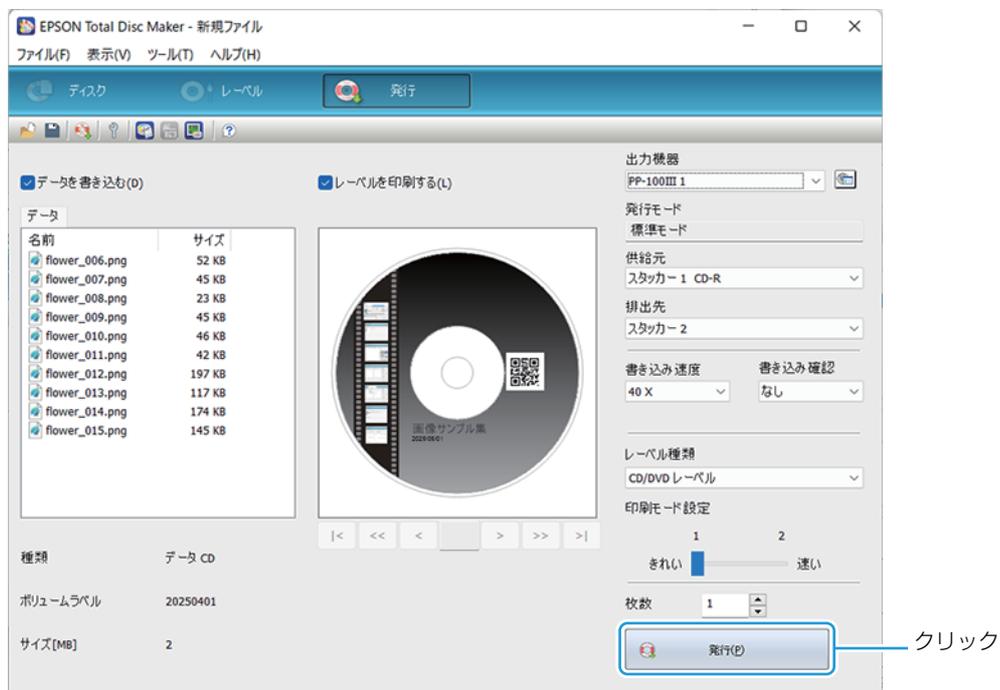
PP-100III/PP-50II のみ :

[書き込み確認] で [コンペア] に設定すると、データがディスクに正しく書き込まれたかどうかを確認できます。

4 スタッカーにディスクをセットします。

詳細は、本書 36 ページ「ディスクのセット」を参照してください。

5 [発行] をクリックします。



EPSON Total Disc Monitor が起動し、発行処理が開始されます。

注意

- JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）は、ディスクカバー、メンテナンスボックスカバー（PP-100III/PP-100AP のみ）およびインクカートリッジカバーを開けないでください。書き込みや印刷の品質に影響を与える可能性があります。
- JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）に、作成済みディスクの取り出しやディスクの補充のためにディスクカバーを開けるときは、JOB を一時停止にしてから開けてください。JOB の一時停止方法は、本書 60 ページ「JOB の一時停止とキャンセル」を参照してください。
- JOB 実行中（ビジーランプ点滅中）にディスクカバーを開けると、警告ブザーが鳴り、実行中の JOB は復帰待ち状態になります。ディスクカバーを閉めると、JOB は自動的に再開します。
- 警告ブザーが鳴っている間はアームが動作しますので、安全のために絶対に手を入れないでください。また、アームが破損するおそれがあるので、スタッカーを操作しないでください。
- JOB 実行中に Windows をシャットダウンした場合は、次回起動時に JOB が再開されてディスクを発行することがあります。
- 読み込み JOB を発行する場合に Windows の自動再生が設定されていると、JOB の終了まで時間がかかる場合があります（PP-100III/PP-50II のみ）。Windows の自動再生を無効にすることを推奨します。

発行処理が終了したら、作成済みのディスクを取り出します。

ディスクの取り出し

以下の手順に従い、作成済みディスクを取り出します。

PP-100III/PP-100AP の場合

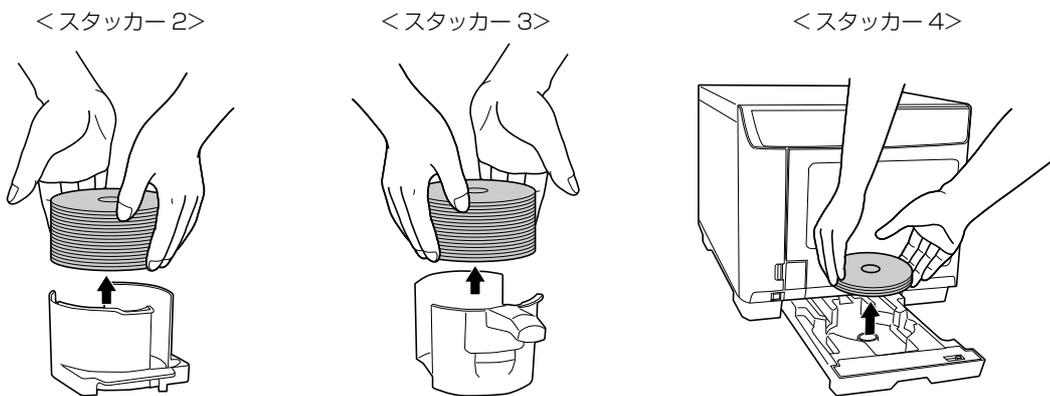
- 1 ディスクカバーを開け（排出先がスタッカー 2 または 3 の場合のみ）、スタッカーを取り出します。

ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。

- 2 スタッカーから作成済みディスクを取り出します。

排出先として使用するスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。下表で排出先スタッカーを確認してください。

発行モード	排出先	ディスク枚数
標準モードで排出先をスタッカー 2 に設定した場合	スタッカー 2	約 50 枚まで
標準モード / 外部排出モードで排出先をスタッカー 3 に設定した場合	スタッカー 3	約 50 枚まで
標準モード / 外部排出モードで排出先をスタッカー 4 に設定した場合	スタッカー 4	約 5 枚まで
バッチ処理モード	スタッカー 2	約 50 枚まで
	スタッカー 3	約 50 枚まで
読み込みモード (PP-100III のみ)	スタッカー 2	約 50 枚まで



参考

PP-100III のみ：

書き込み / 読み込みエラーが発生したディスクは、エラーディスクとして下記のスタッカーに排出されます。

排出先設定	エラーディスク排出先
スタッカー 2	スタッカー 3 を使用するとき：スタッカー 3 スタッカー 3 を使用しないとき：スタッカー 4
スタッカー 3	スタッカー 3
スタッカー 4	スタッカー 4

3 スタッカーを取り付け、ディスクカバーを閉めます。

注意

- 印刷後レーベル面を、エプソン推奨ディスクは1時間以上、その他のディスクは24時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは、ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷前後にレーベル面に直接手で触れたり、水滴が付いたりすると、にじみや貼り付きの原因となる場合があります。

参考

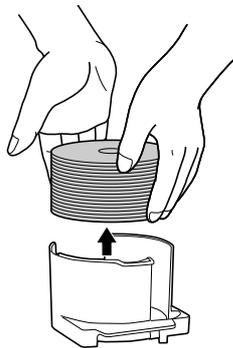
排出先スタッカーがフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクをスタッカーから取り出すと、JOB の処理は自動的に再開します。

PP-50II の場合

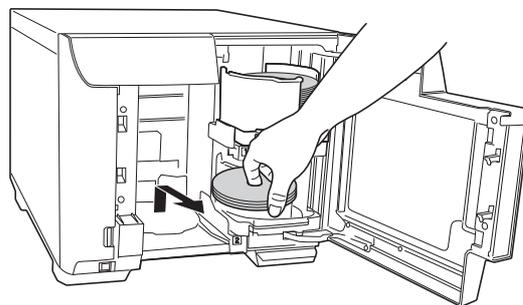
- 1 ディスクカバーを開けます。
ディスクカバーを開ける際の注意事項は、「スタートアップガイド」の「ディスクカバーの開け方」を参照してください。
- 2 排出先がスタッカー 2 の場合、スタッカーを取り出します。
- 3 スタッカーから作成済みディスクを取り出します。
排出先として使用するスタッカーは、設定した発行モードによって異なります。下表で排出先スタッカーを確認してください。

発行モード	排出先	ディスク枚数
標準モード（排出先を [スタッカー 2] に設定した場合）	スタッカー 2	約 50 枚まで
標準モード（排出先を [スタッカー 3] に設定した場合）	スタッカー 3	約 20 枚まで
少量発行モード	スタッカー 3	約 20 枚まで
読み込みモード	スタッカー 2	約 50 枚まで

<スタッカー 2>



<スタッカー 3>



4 スタッカーを取り付け（排出先がスタッカー 2 の場合）、ディスクカバーを閉めます。

注意

- 印刷後レーベル面を、エプソン推奨ディスクは 1 時間以上、その他のディスクは 24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは、ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷前後にレーベル面に直接手で触れたり、水滴が付いたりすると、にじみや貼り付きの原因となる場合があります。

参考

排出先スタッカーがフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクをスタッカーから取り出すと、JOB の処理は自動的に再開します。

JOB の操作

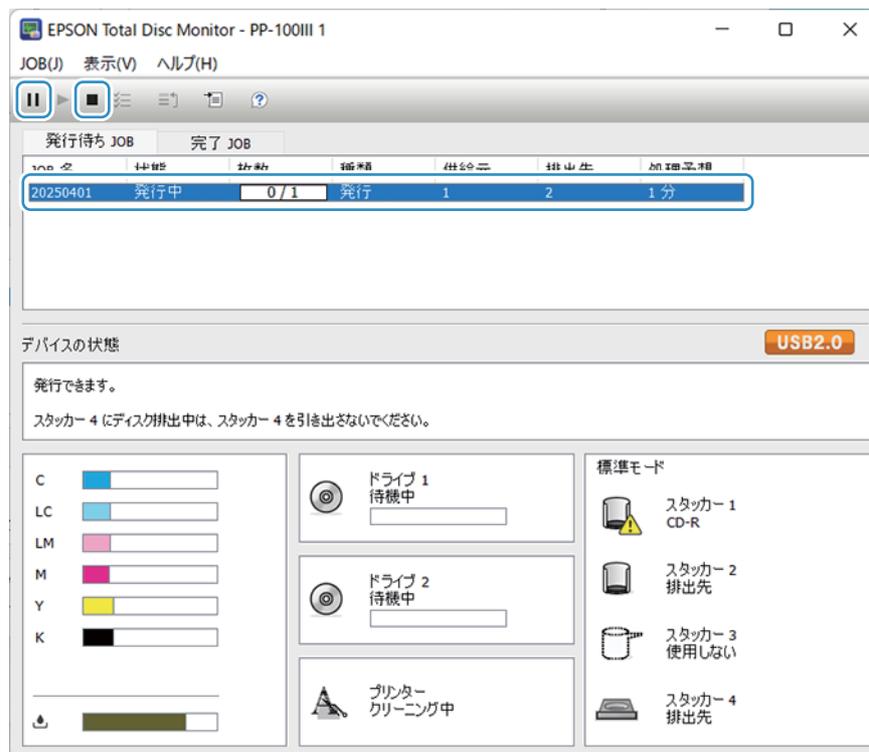
本製品が行うデータの書き込みや印刷のことを JOB と呼びます。

EPSON Total Disc Maker またはプリンタードライバーから JOB を発行した後、JOB の処理を一時停止 / キャンセルしたり、処理順序を変更することができます。

JOB の一時停止とキャンセル

発行後、JOB の処理を一時停止、またはキャンセルしたいときは、以下の手順で行います。

- 1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。
起動方法は、本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。
- 2 停止したい JOB を選択し、 [JOB の一時停止] または  [JOB のキャンセル] をクリックします。



JOB が一時停止すると、JOB の状態表示が [一時停止中] に変わります。

JOB がキャンセルされると、JOB の表示が [発行待ち JOB] 画面から消えます。

注意

- ディスクの発行処理中に JOB を一時停止すると、その処理を完了してから一時停止します。
- JOB を一時停止すると、後続の JOB の処理も開始されません。
- ディスクの発行処理中に JOB をキャンセルすると、その処理は中断され、ディスクは排出先のスタッカーに排出されます。

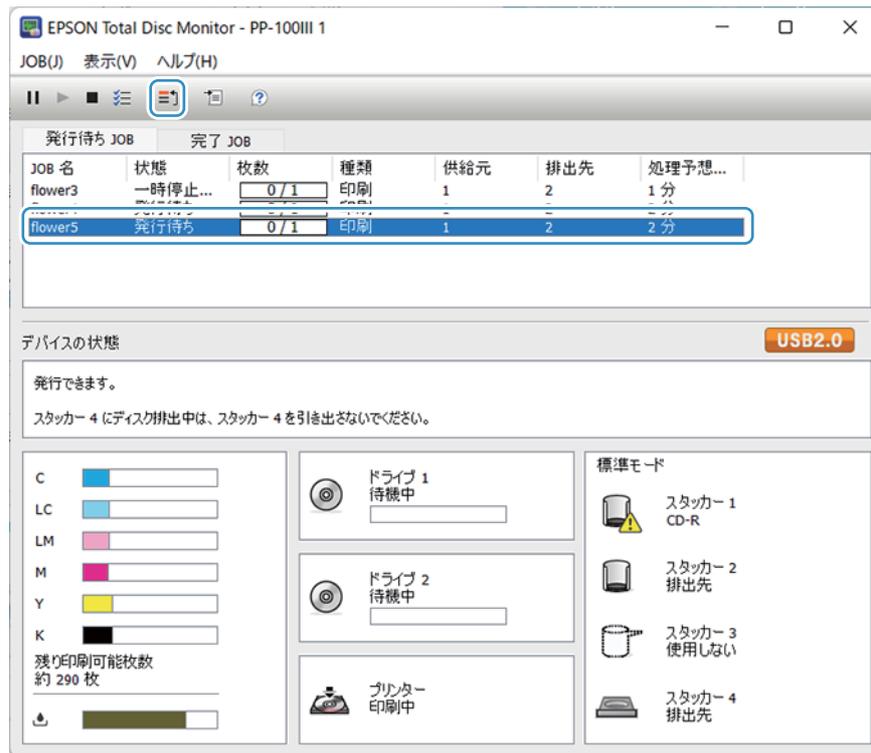
参考

一時停止した JOB を再開 / キャンセルするには、JOB を選択し、 [JOB の再開] /  [JOB のキャンセル] をクリックします。

JOB を優先して発行する

複数の JOB を発行後、特定の JOB の処理を優先させたいときは、以下の手順で行います。

- 1 EPSON Total Disc Monitor を起動します。
起動方法は、本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」を参照してください。
- 2 優先させたい JOB を選択し、 [JOB を優先して発行する] をクリックします。



選択した JOB が、発行中の JOB の次に処理されます。



参考

ノズルチェック、ギャップ調整、印刷位置補正の JOB よりも発行処理を優先させることはできません。

ディスクの作成～応用編～

大量のディスクを作成する

バッチ処理モードまたは標準モードで発行すると、ディスクを補充したり作成済みディスクを取り出したりすることなく、大量のディスクを作成できます。ここでは、この二つのモードでの発行手順を説明します。

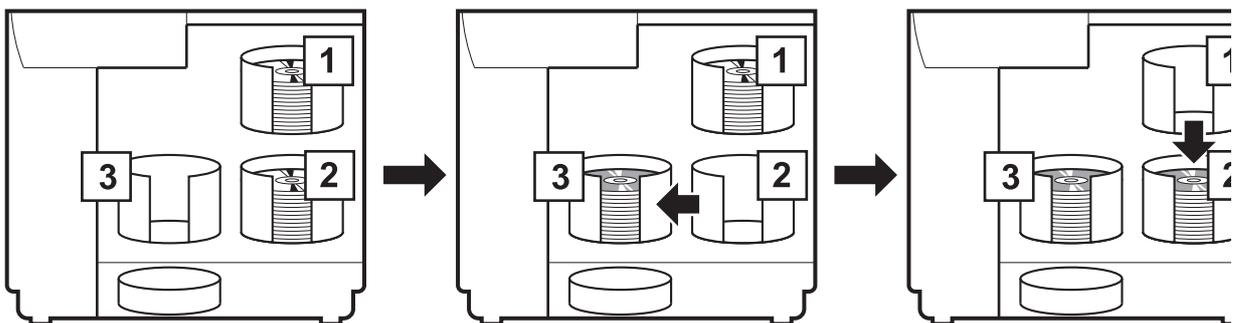
- バッチ処理モード (PP-100III/PP100AP のみ) : 同じディスクを最大 100 枚一括発行します。
- 標準モード : 同じディスクを最大 50 枚一括発行します。

注意

大量のディスクを発行するときは、最初にディスクを 1 枚発行して印刷結果、書き込み結果を確認してください。

バッチ処理モード(PP-100III/PP-100AP のみ)

バッチ処理モードでは、同じディスクを最大 100 枚一括発行できます。



参考

バッチ処理モードでディスクを発行した場合、スタッカー 2 にセットしたディスクの枚数と、スタッカー 3 に排出されたディスクの枚数は必ずしも一致しません。また、50 枚にならないことがあります。このことは、スタッカー 2 に排出されたディスクも同様です。

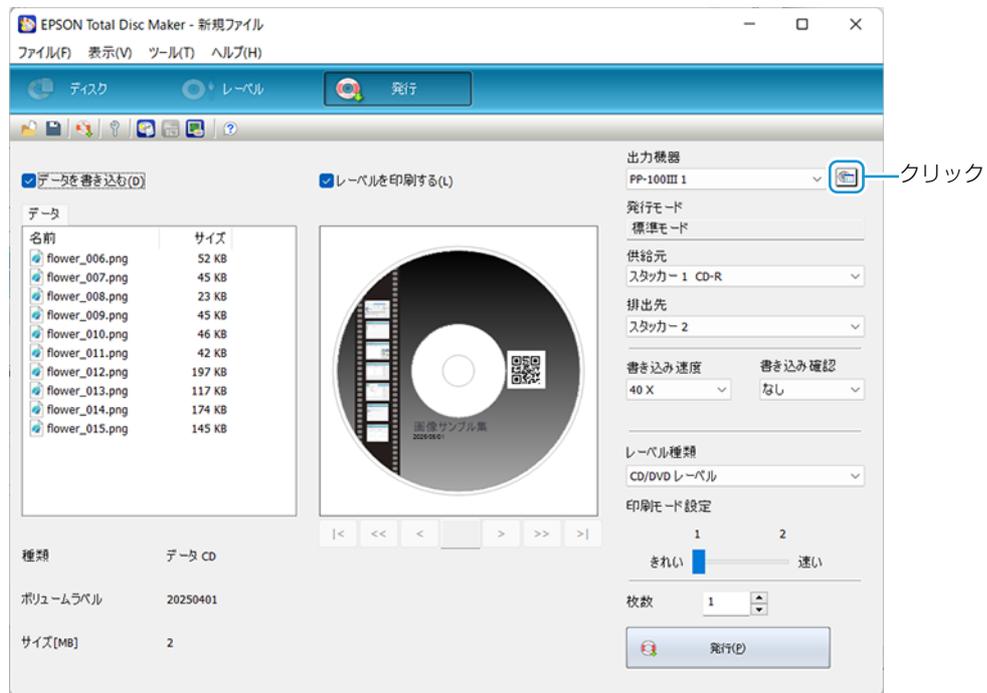
バッチ処理モードでは、スタッカー 3 に排出されて積み上げられたディスクの高さが最大値に達したとき、排出先をスタッカー 2 に切り替えます。したがって、使用するディスクの厚みによって、スタッカーに排出される枚数が異なります。

操作手順

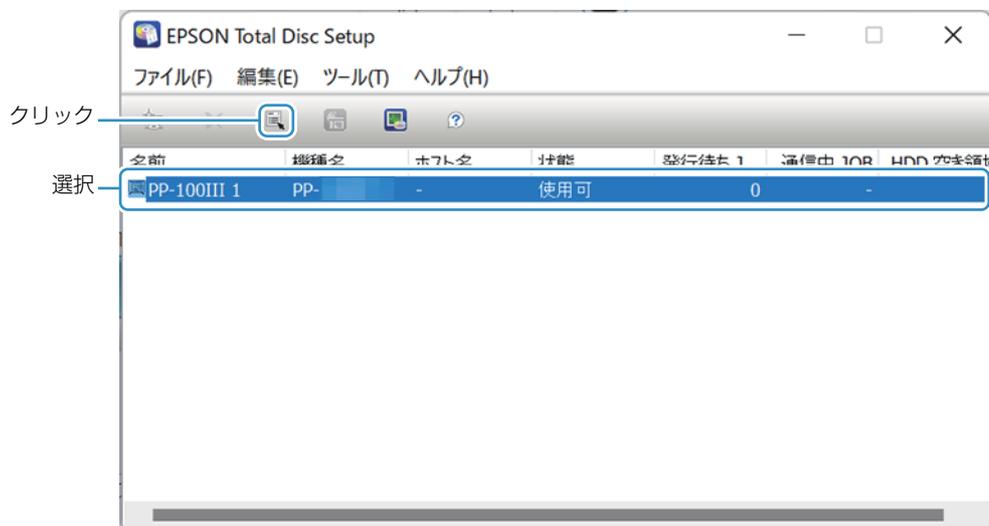
- 1 ディスクを発行するデータを EPSON Total Disc Maker、またはレーベルの印刷データをその他のソフトウェアで作成します。

2 本製品のプロパティ画面を、以下のいずれかの手順で開きます。

- EPSON Total Disc Maker から開く場合：
発行ビューで [出力機器] の  [プロパティ] をクリックします。



- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
本製品を選択し、 [プロパティ] をクリックします。



3 本製品のプロパティ画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

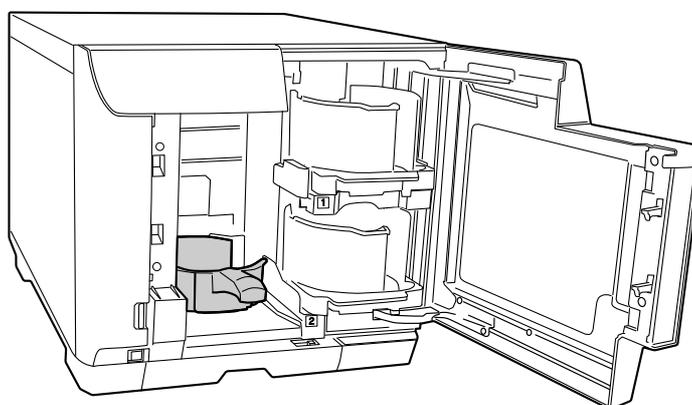
	設定項目	説明
①	発行モード	[バッチ処理モード] を選択します。
②	スタッカー 1 (PP-100III のみ)	作成するディスクの種類を選択します。



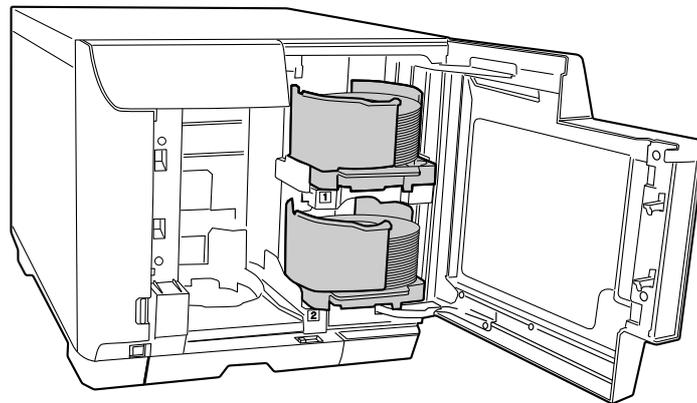
4 本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意

- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。



- 5 スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクをセットします。
ディスクのセット方法は、本書 36 ページ「ディスクのセット」を参照してください。



- 6 以降は、通常どおりディスクを発行します。
EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 35 ページ「ディスク作成の流れ」を参照してください。
その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

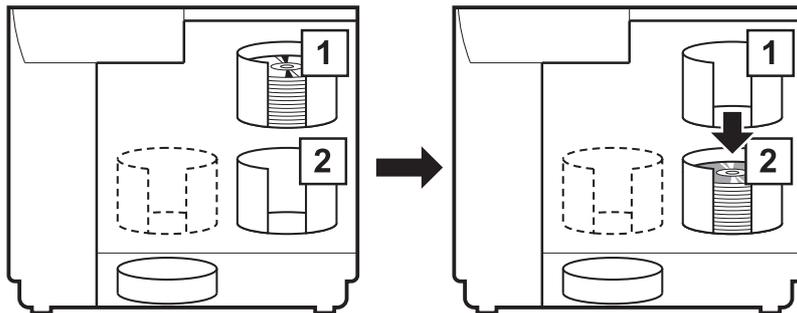
標準モード

標準モードでは、同じディスクを最大 50 枚一括発行できます。

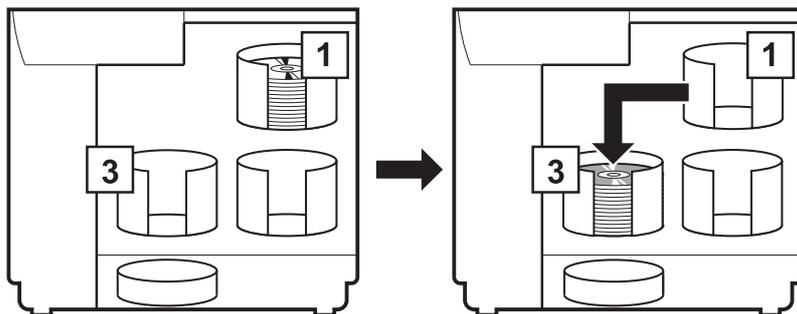
PP-100III/PP-100AP の場合

作成済みディスクの排出先はスタッカー 2、3 または 4 から選択できます。排出先にスタッカー 4 を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出せます。

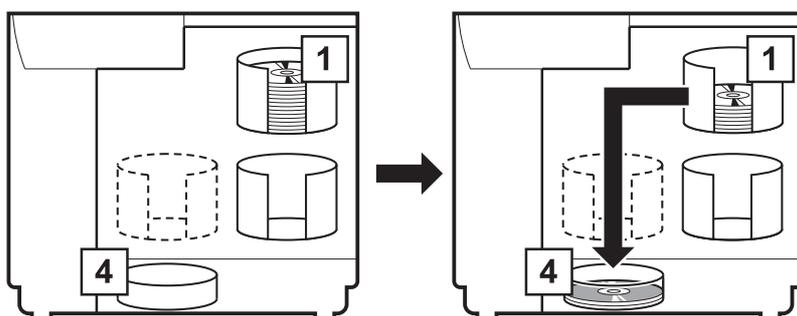
- 排出先がスタッカー 2 のとき



- 排出先がスタッカー 3 のとき



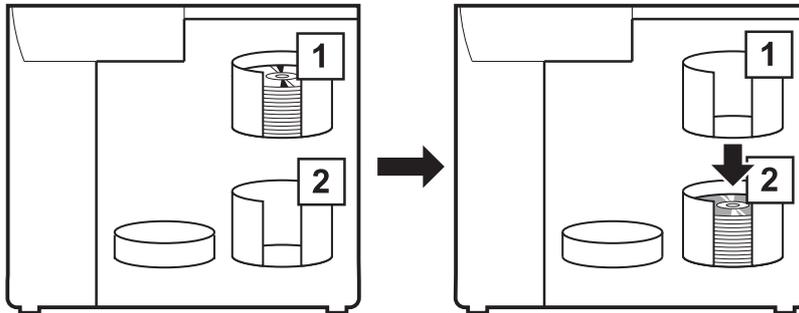
- 排出先がスタッカー 4 のとき



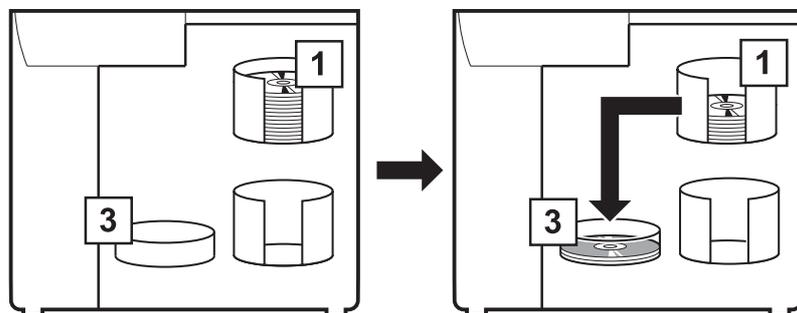
PP-50II の場合

作成済みディスクの排出先はスタッカー 2 または 3 から選択できます。

- 排出先がスタッカー 2 のとき

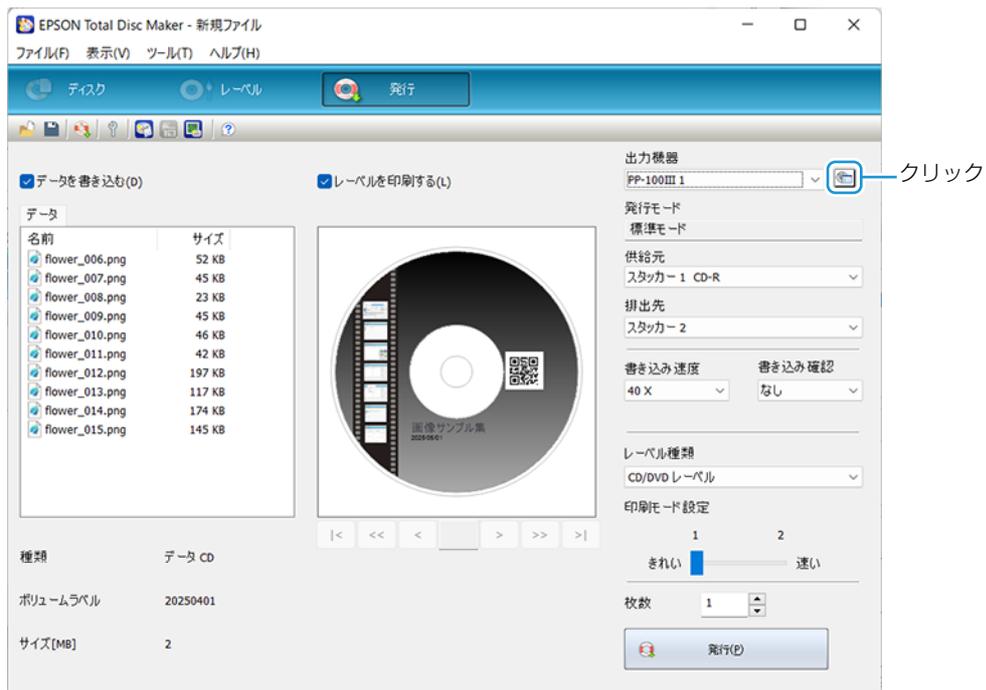


- 排出先がスタッカー 3 のとき

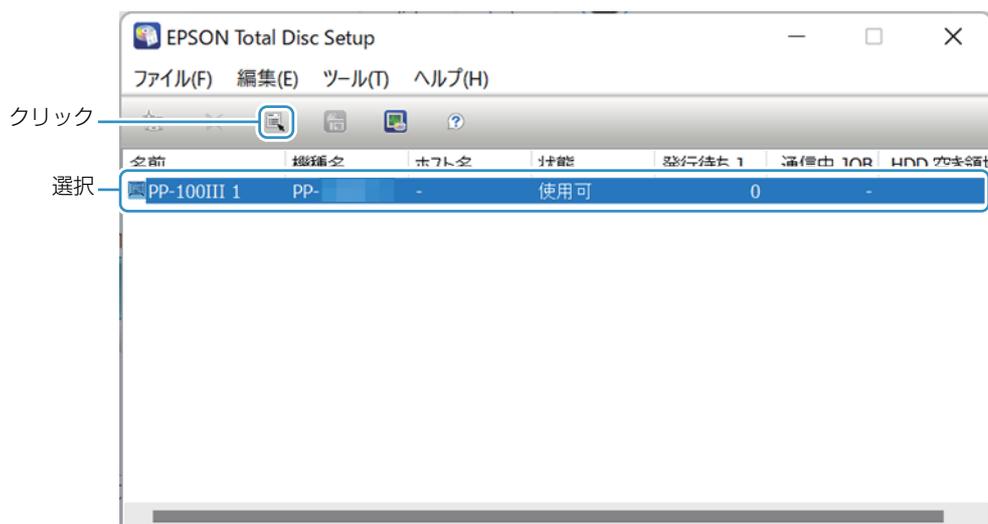


操作手順

- 1 ディスクを発行するデータを EPSON Total Disc Maker、またはレーベルの印刷データをその他のソフトウェアで作成します。
- 2 本製品のプロパティ画面を、以下のどちらかの手順で開きます。
 - EPSON Total Disc Maker から開く場合：
発行ビューで [出力機器] の  [プロパティ] をクリックします。

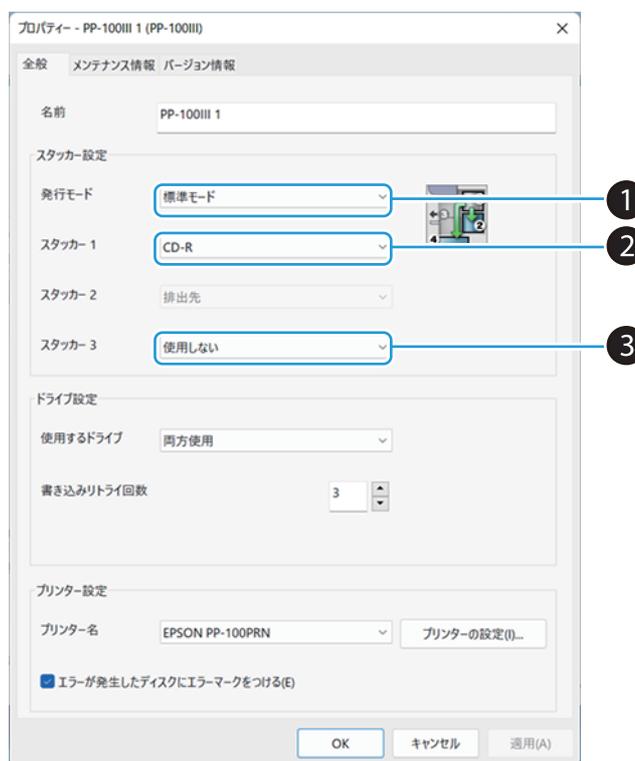


- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
本製品を選択し、 [プロパティ] をクリックします。



3 本製品のプロパティ画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

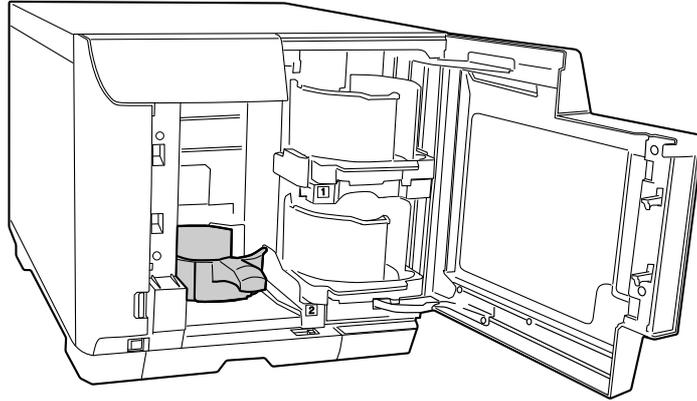
	設定項目	説明
①	発行モード	[標準モード] を選択します。
②	スタッカー 1 (PP-100III/PP-50II のみ)	作成するディスクの種類を選択します。
③	スタッカー 3 (PP-100III/PP-100AP のみ)	スタッカー 3 を使用するかどうかを選択します。 PP-100III : 作成済みディスクの排出先としてスタッカー 3 を使用したいとき、または作成済みディスクをスタッカー 2 に排出し、エラーディスクをスタッカー 3 に排出したいときは、[使用する] を選択してください。 PP-100AP : 作成済みディスクの排出先としてスタッカー 3 を使用したいときは、[使用する] を選択してください。



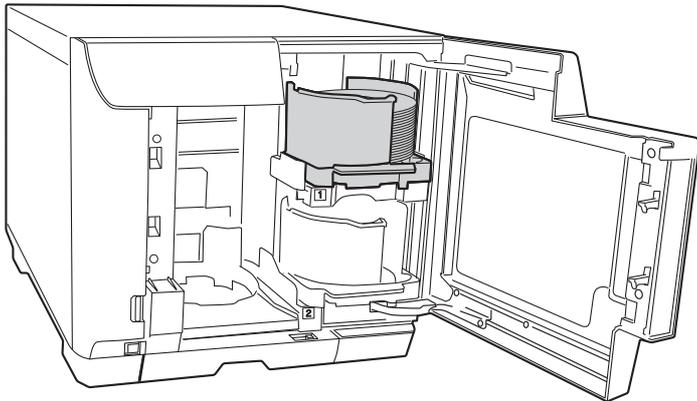
- 4 PP-100III/PP-100AP でスタッカー 3 を使用する場合は、本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意

- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。



- 5 スタッカー 1 にディスクをセットします。
ディスクのセット方法は、本書 36 ページ「ディスクのセット」を参照してください。



- 6 以降は、通常どおりディスクを発行します。

EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプまたは本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

注意

- PP-100III/PP-100AP :
EPSON Total Disc Maker の発行ビューで、[排出先] が [スタッカー 2] または [スタッカー 3] に設定されていることを確認してください。
- PP-50II :
EPSON Total Disc Maker の発行ビューで、[排出先] が [スタッカー 2] に設定されていることを確認してください。

用途に応じて2種類のディスクを発行する

2種類のディスクをスタッカー1とスタッカー2に分けてセットしておく、用途に応じてさまざまな使い方ができます。例えば、スタッカー1にCDをセットし、スタッカー2にDVDをセットして、それぞれ必要なときにスタッカーを選択して発行すれば、ディスクを入れ替えることなく、スタッカーを選択するだけで必要なディスクを発行できます。

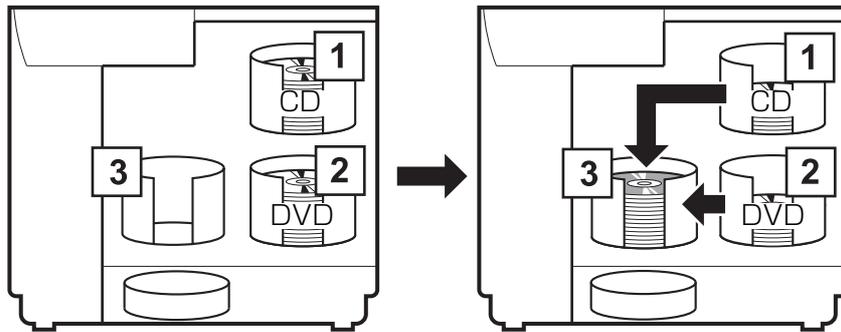
ここでは、以下の二つのモードでの発行手順を説明します。

- 外部排出モード (PP-100III/PP100APのみ)
- 少量発行モード (PP-50IIのみ)

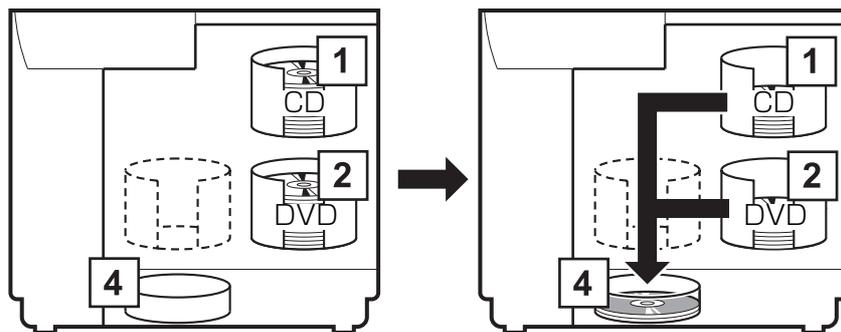
外部排出モード(PP-100III/PP-100APのみ)

外部排出モードでは、作成済みディスクの排出先をスタッカー3または4から選択できます。排出先にスタッカー4を選択すると、発行処理を中断せずに作成済みディスクを少しずつ取り出せます。

- 排出先がスタッカー3のとき

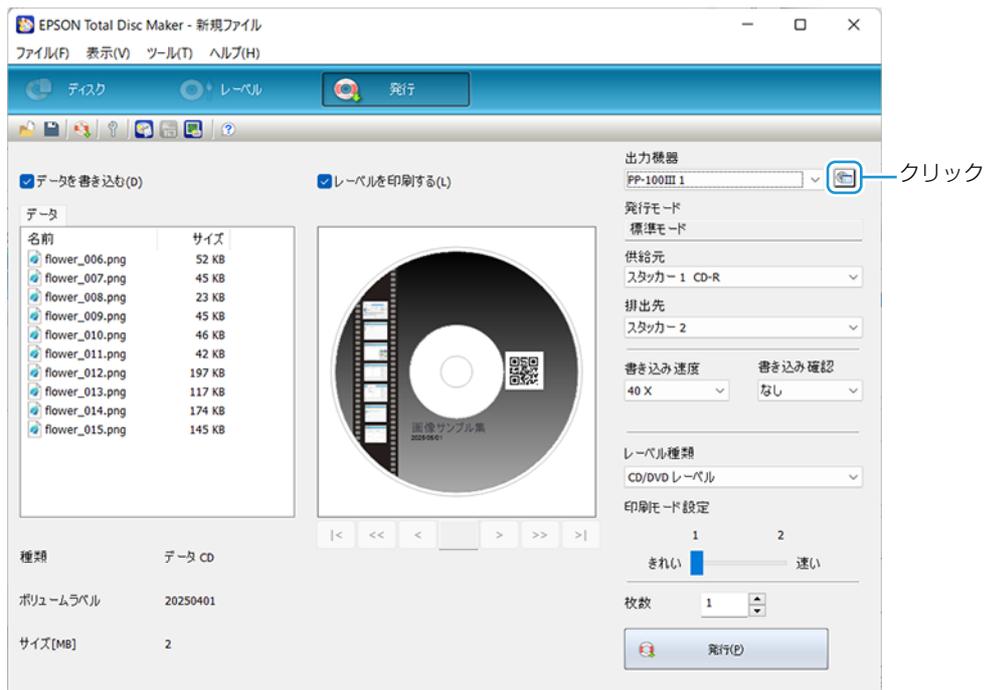


- 排出先がスタッカー4のとき



操作手順

- 1 ディスクを発行するデータを EPSON Total Disc Maker、またはレーベルの印刷データをその他のソフトウェアで作成します。
- 2 本製品のプロパティー画面を、以下のどちらかの手順で開きます。
 - EPSON Total Disc Maker から開く場合：
 - 発行ビューで [出力機器] の  [プロパティー] をクリックします。



- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
 - 本製品を選択し、 [プロパティー] をクリックします。



3 本製品のプロパティ画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

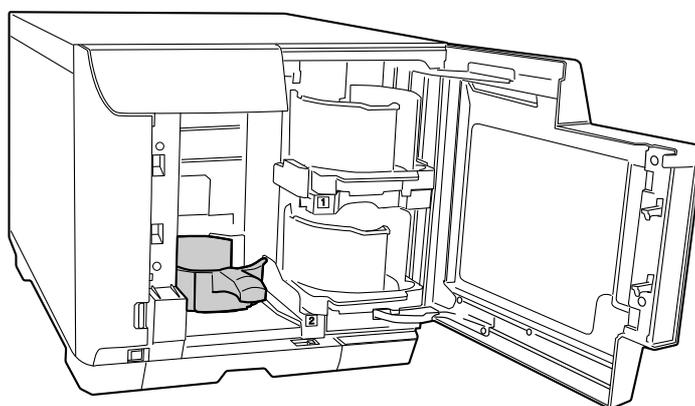
	設定項目	説明
①	発行モード	[外部排出モード] を選択します。
②	スタッカー 1 (PP-100III のみ)	セットするディスクの種類を選択します。
③	スタッカー 2 (PP-100III のみ)	セットするディスクの種類を選択します。
④	スタッカー 3	作成済みディスクをスタッカー 3 に排出するとき：[排出先] を選択します。 作成済みディスクをスタッカー 4 に排出するとき：[使用しない] を選択します。



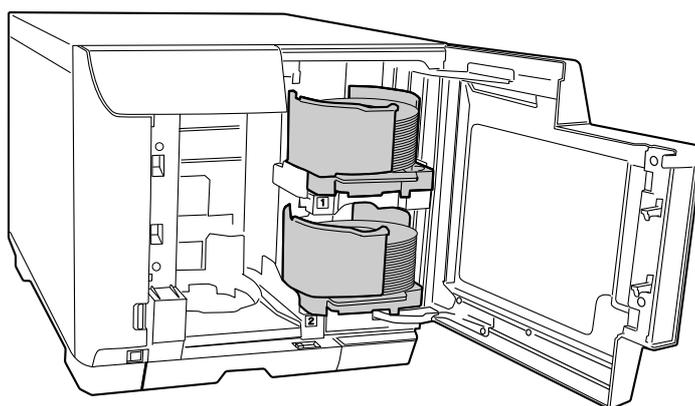
4 排出先をスタッカー 3 に設定した場合は、本製品にスタッカー 3 を取り付けます。

注意

- スタッカー 3 とスタッカー 4 にディスクが入っていないことを確認してください。
- ロックレバーを [LOCK] にし、スタッカー 4 を引き出さないでください。



5 スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクをセットします。 ディスクのセット方法は、本書 36 ページ「ディスクのセット」を参照してください。



6 以降は、通常どおりディスクを発行します。

注意

スタッカーランプ 4 が速い点滅をしているときは、スタッカー 4 にディスクを排出中のため、スタッカー 4 を引き出さないでください。ディスクが破損する可能性があります。

参考

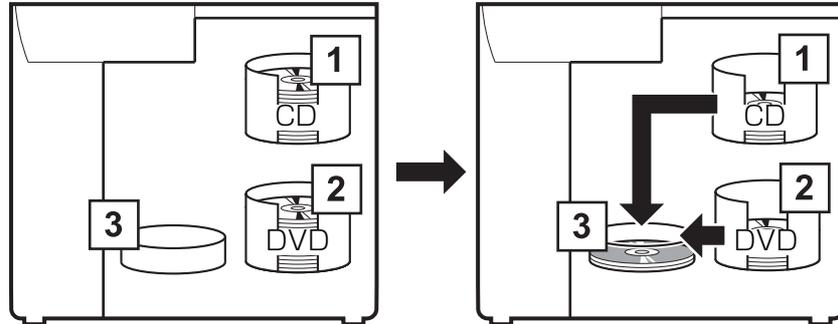
- 排出先をスタッカー 4 に設定した場合、スタッカー 4 には、ディスクが約 5 枚まで収納できます。スタッカー 4 がフル（一杯）になると、JOB の処理は一時停止します。作成済みディスクをスタッカー 4 から取り出すと、JOB の処理は自動的に再開します。
- スタッカー 4 に排出された作成済みディスクは、JOB の処理を一時停止することなく取り出すことができます。

EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

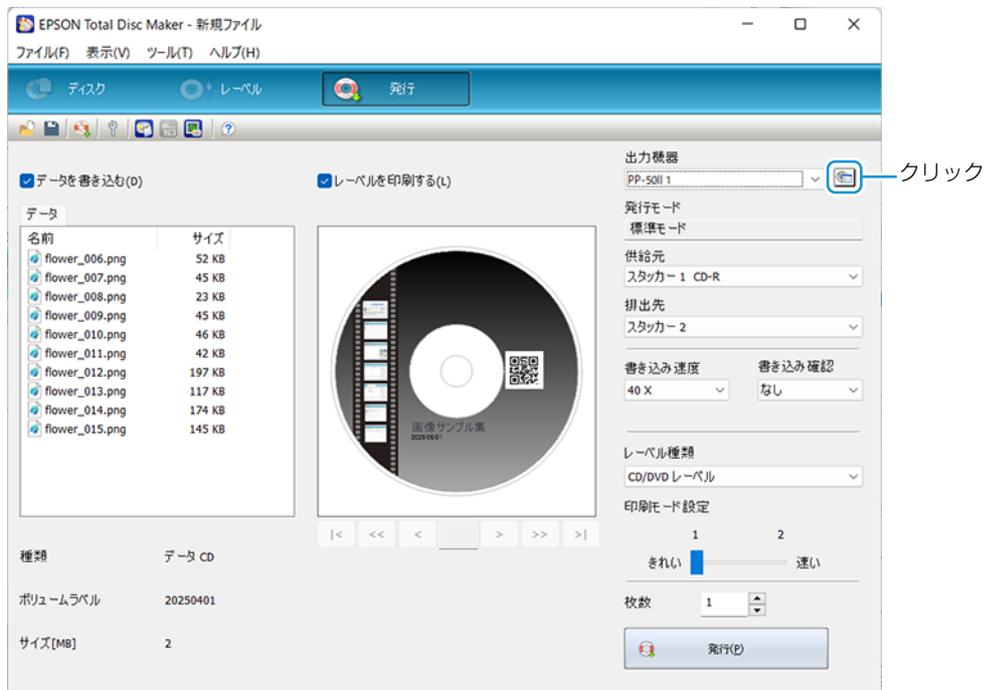
少量発行モード(PP-50IIのみ)

少量発行モードでは、作成済みディスクはスタッカー3に排出されます。

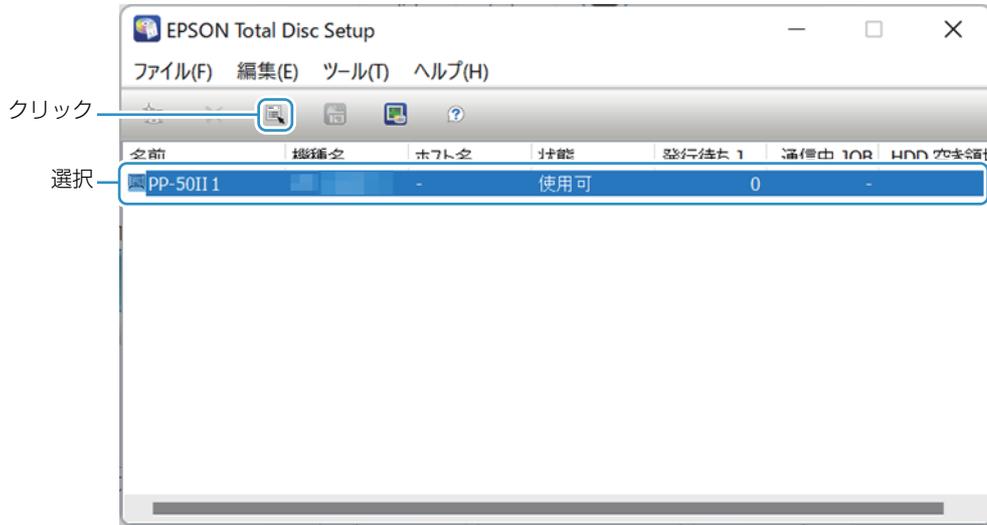


操作手順

- 1 ディスクを発行するデータを EPSON Total Disc Maker、またはレーベルの印刷データをその他のソフトウェアで作成します。
- 2 本製品のプロパティ画面を、以下のどちらかの手順で開きます。
 - EPSON Total Disc Maker から開く場合：
発行ビューで [出力機器] の  [プロパティ] をクリックします。

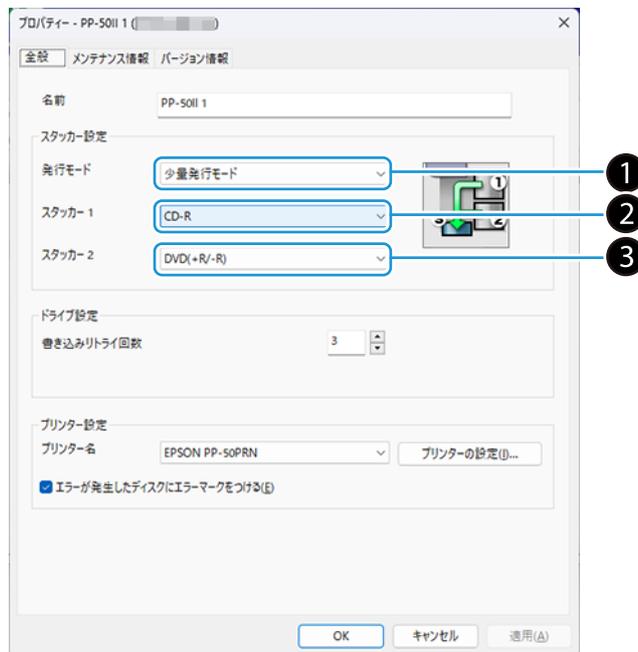


- EPSON Total Disc Setup から開く場合：
本製品を選択し、 [プロパティ] をクリックします。

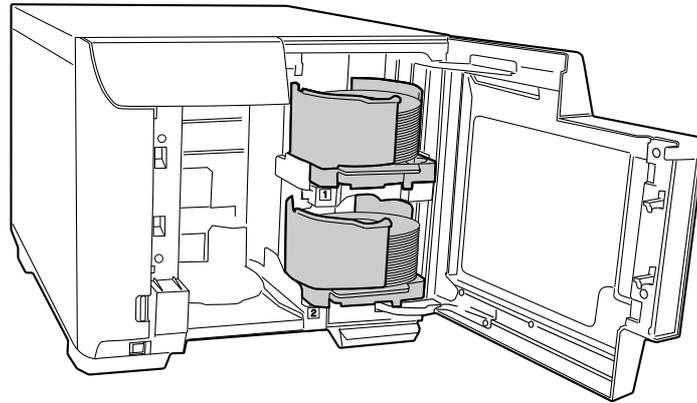


3 本製品のプロパティ画面で以下を設定し、[OK] をクリックします。

	設定項目	説明
①	発行モード	[少量発行モード] を選択します。
②	スタッカー 1	セットするディスクの種類を選択します。
③	スタッカー 2	セットするディスクの種類を選択します。



- 4 スタッカー 1 とスタッカー 2 にディスクをセットします。
ディスクのセット方法は、本書 36 ページ「ディスクのセット」を参照してください。



- 5 以降は、通常どおりディスクを発行します。

EPSON Total Disc Maker から発行する場合は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

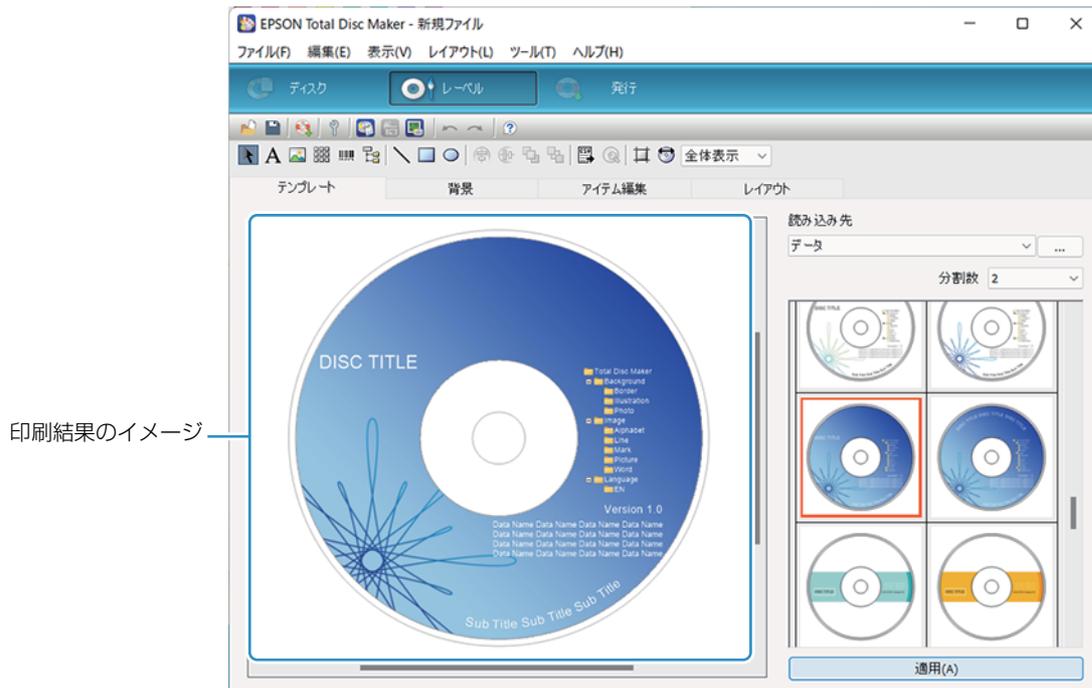
その他のソフトウェアで作成したデータを印刷する場合は、本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。

印刷結果を事前に確認する

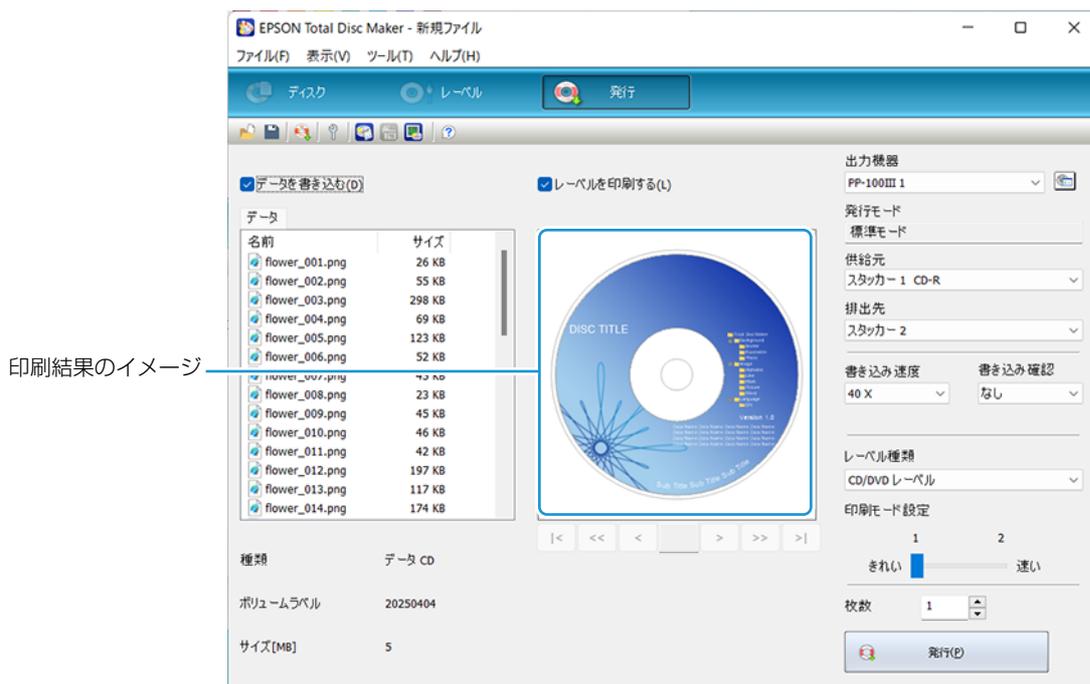
EPSON Total Disc Maker の場合

EPSON Total Disc Maker では、レーベルの編集時、および発行画面でレーベルの印刷結果のイメージが表示されます。印刷結果のイメージを確認しながら編集および発行ができます。

レーベル編集時の画面



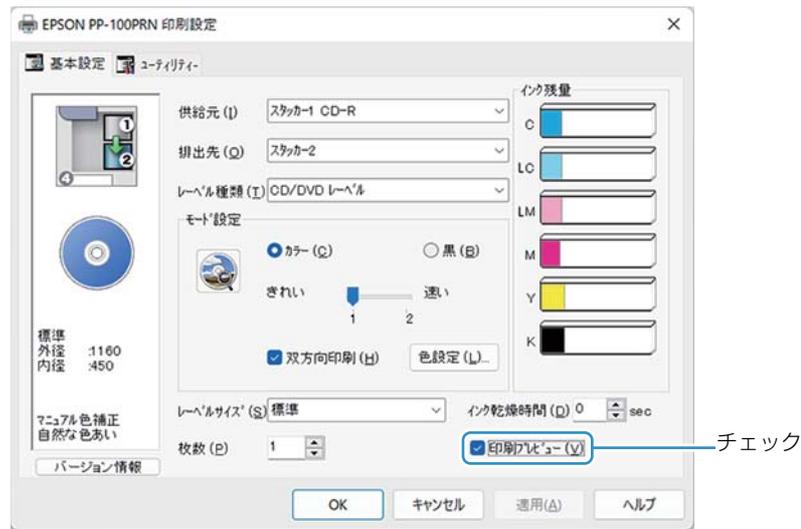
発行時の画面



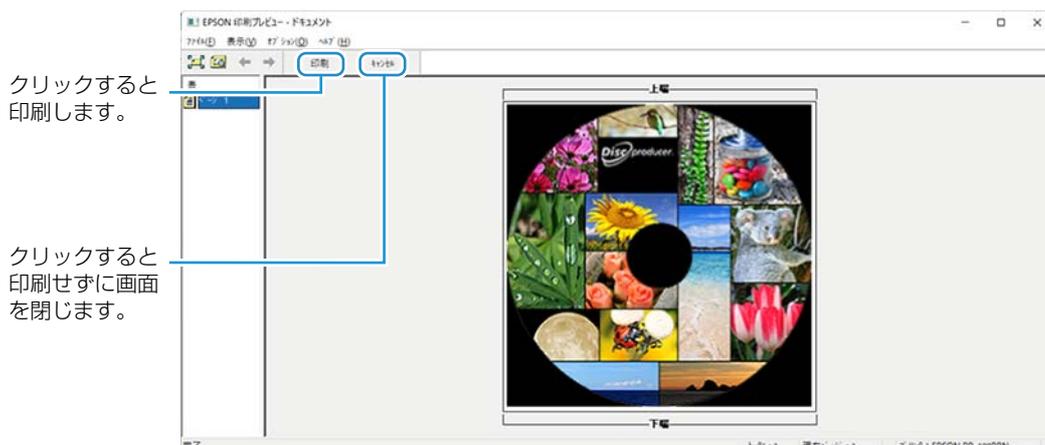
市販のソフトウェアから印刷を行う場合

市販のソフトウェアからレーベル印刷を行うときは、プリンタードライバーのプレビュー機能を使うと、印刷前に印刷結果のイメージを確認してから印刷できます。

- 1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 21 ページ「[スタート]メニューからの表示」を参照してください。
- 2 [印刷プレビュー] をチェックします。



- 3 [OK] をクリックして、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。
- 4 ソフトウェアから印刷します。
[EPSON 印刷プレビュー] 画面が表示されます。
印刷結果のイメージを確認し、印刷するときは [印刷] をクリックします。印刷せずに [EPSON 印刷プレビュー] 画面を閉じるときは [キャンセル] をクリックします。



参考

市販のソフトウェアから印刷する基本的な手順は、本書 25 ページ「プリンタードライバーの基本的な使い方」を参照してください。ソフトウェアにより、印刷する手順は異なります。印刷方法について詳しくは、ソフトウェアに添付の取扱説明書やヘルプなどで確認してください。

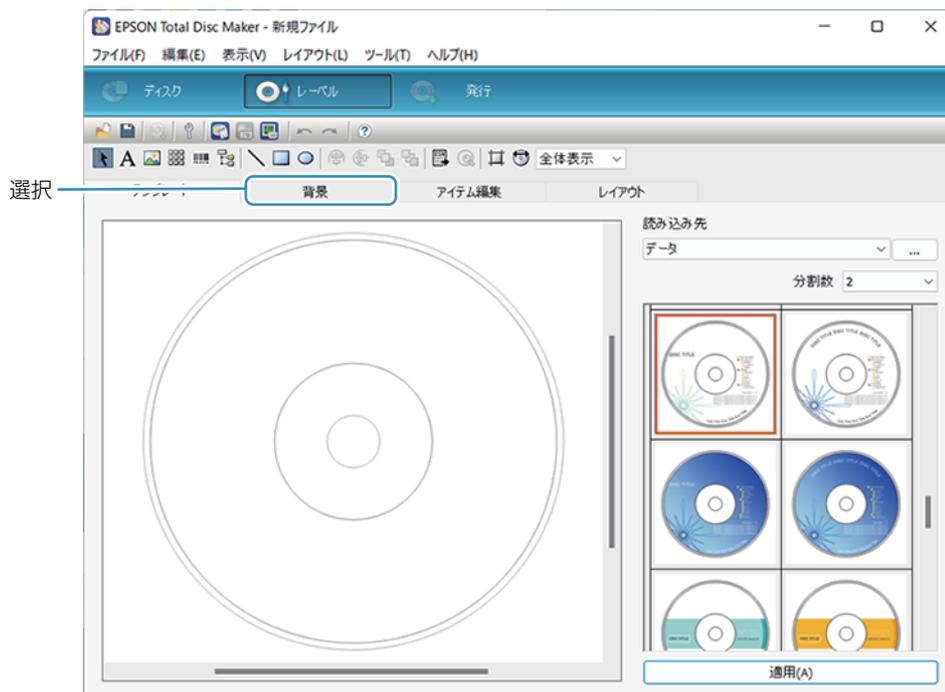
任意の画像でレーベルを作成する

EPSON Total Disc Maker では、登録されている画像または任意の画像を使ってレーベルを作成できます。

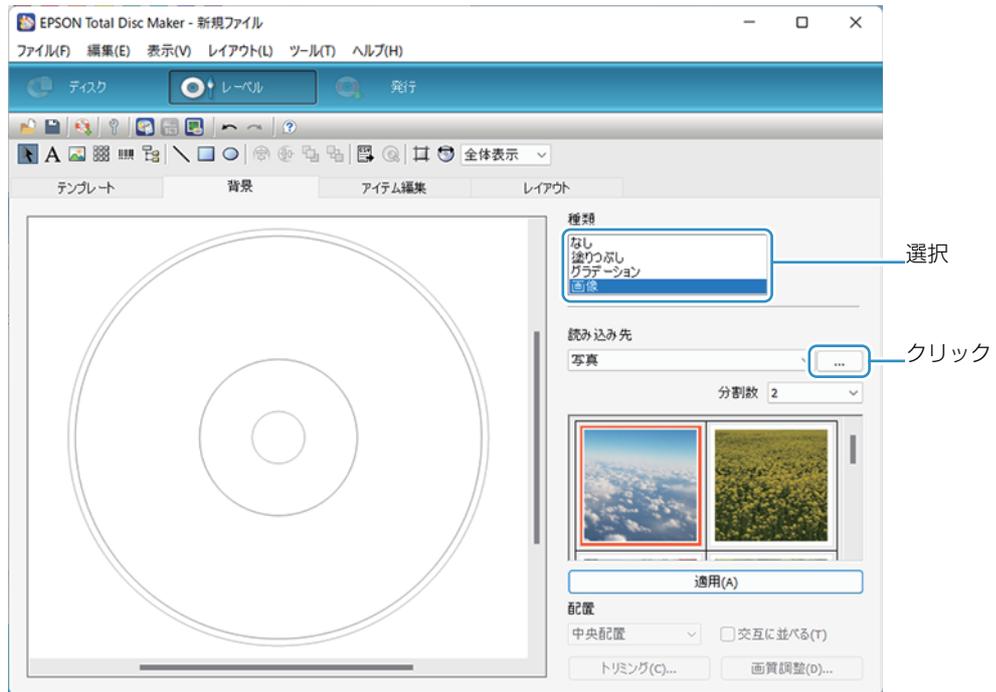
参考

読み込み可能なファイル形式は BMP/JPEG/TIFF/PNG です。

- 1 EPSON Total Disc Maker のレーベルビューを表示させます。
表示方法は、[本書 9 ページ「レーベルビュー」](#) を参照してください。
- 2 [背景] をクリックします。

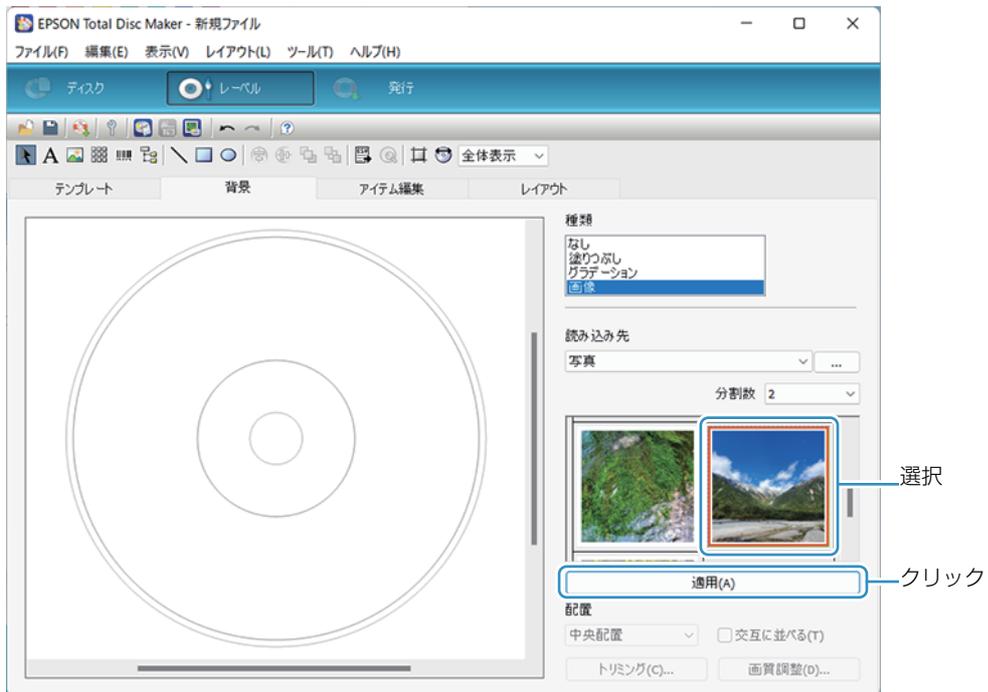


- 3 [種類] で [画像] を選択し、[読み込み先] で [...] をクリックして画像が保存されているフォルダーを指定します。

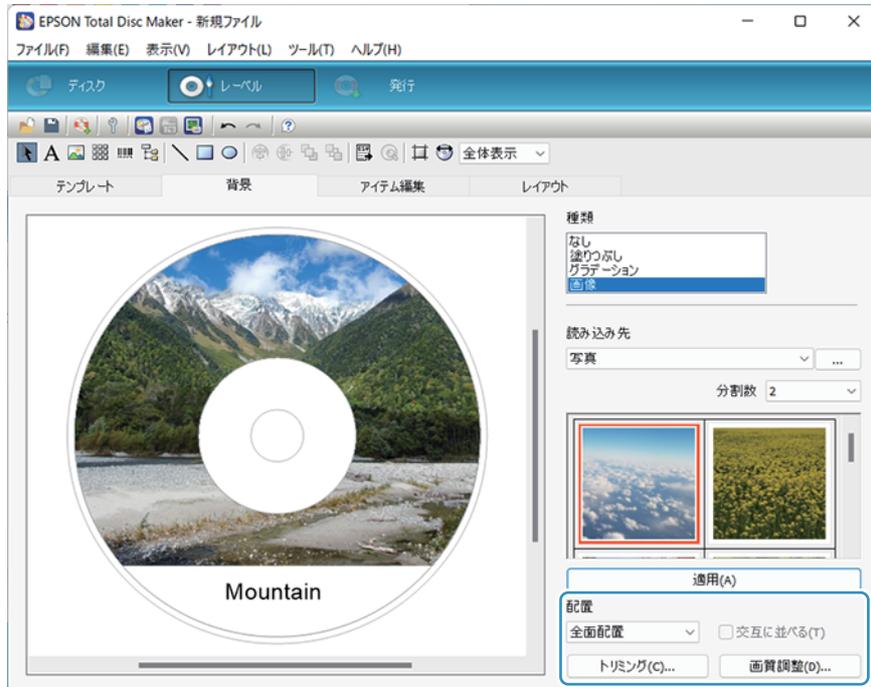


参考 [分割数] を設定すると、1 行に表示するサムネイル画像の数を変更できます。

- 4 画像を選択し、[適用]をクリックします。
 選択した画像が背景として読み込まれます。



- 5 必要に応じて配置を調整します。
 詳しくは EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。



設定項目	説明
配置	画像の配置方法を選択します。
トリミング	画像の不要な部分を切り取ります。
画質調整	画像の明るさとコントラストを調整します。

定形外レーベルサイズのディスクに印刷する

標準、ワイドタイプ以外のサイズでレーベル印刷を行うときは、ユーザー定義サイズ（プリンタードライバーに用意されていないレーベルサイズ）を登録し、設定します。

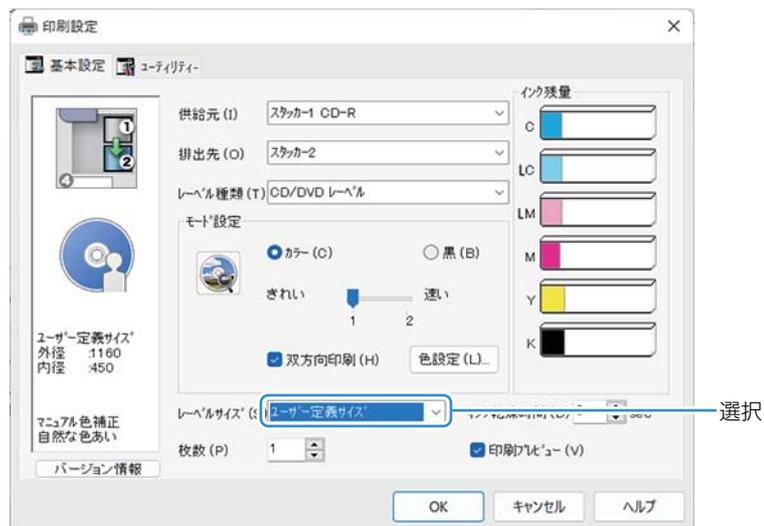
参考

ここでは、市販のソフトウェアからレーベル印刷を行う場合の手順を説明しています。EPSON Total Disc Maker から印刷する場合は、プリンタードライバーでの印刷領域設定を行う必要はありません。EPSON Total Disc Maker から印刷する場合は、EPSON Total Disc Maker の [印刷領域の内径・外径] ダイアログで設定を行ってください。

ユーザー定義サイズの登録・設定方法

ここでは、ユーザー定義サイズを登録・設定する手順を説明します。

- 1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 2 [レーベルサイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。



3 [ユーザー定義レーベルサイズ名]、[内径]、[外径]を入力し、[保存]をクリックします。



設定項目	説明
ユーザー定義レーベルサイズ名	ユーザー定義レーベルサイズ名を入力します（文字数：全角 12 文字 / 半角 24 文字まで）。 4Byte で構成される文字を使用した場合、上記の文字数よりも使用できる文字数が少なくなります。
内径	レーベルの内径を設定します。180 ～ 500（18.0 ～ 50.0mm）の範囲で設定できます。
外径	レーベルの外径を設定します。700 ～ 1194（70.0 ～ 119.4mm）の範囲で設定できます。
リブ領域をマスクする	チェックすると、リブ領域をマスクします。 リブとはディスク裏面の突起部分（スタックリング）を指します。 リブ領域をマスクすると、排出先スタッカー内で印刷済みのディスクとリブが接触し、リブにインクが移ることを避けることができます。
リブ内径	リブ領域の内径を設定します。270 ～ 500（27.0 ～ 50.0mm）の範囲で設定できます。
リブ幅	リブ領域の幅を設定します。1 ～ 115（0.1 ～ 11.5mm）の範囲で設定できます。

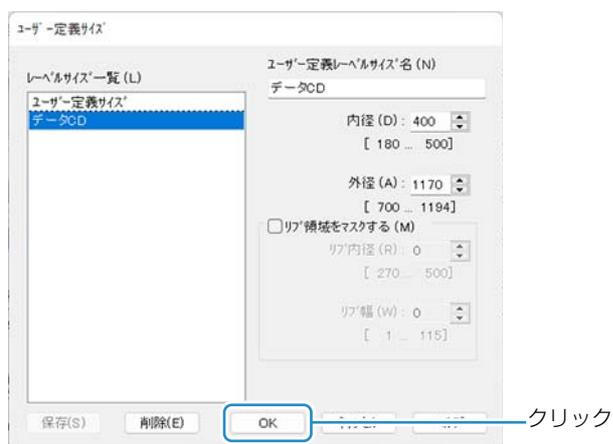
注意

リブ領域に印刷すると、インクの付着、ディスクの貼り付き、色抜けを起す可能性があります。

参考

印刷推奨領域（内径 45.0mm 以上、外径 116.0mm 以内）の範囲外に設定して印刷すると、ディスクやトレイが汚れたり、印刷のはがれ / 乱れが発生したり、ディスク同士が貼り付いたりする可能性があります。使用するディスクのレーベル印刷範囲を確認して設定してください。印刷推奨領域の詳細は、本書 33 ページ「印刷可能領域」を参照してください。

4 [OK] をクリックします。



[基本設定] 画面の [レーベルサイズ] に、新しいユーザー定義レーベルサイズが登録されます。

5 [基本設定] 画面の [レーベルサイズ] で、作成したレーベルサイズ名を選択し、[OK] をクリックします。

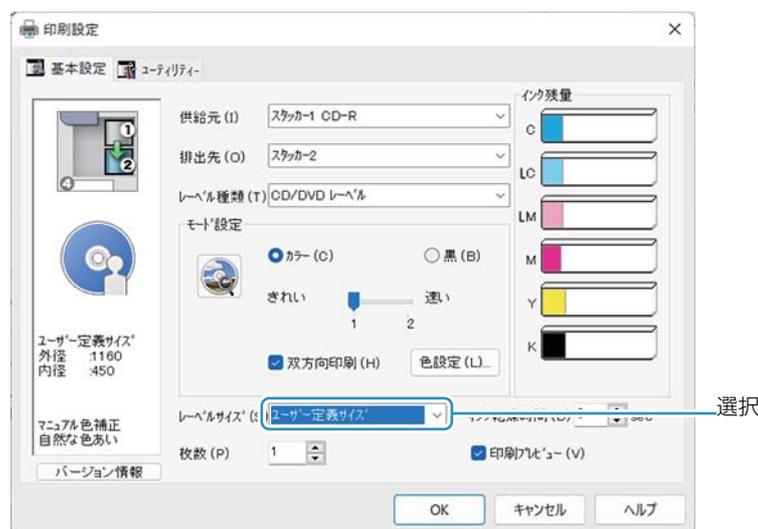


この後は、通常印刷する場合と同様の操作を行ってください。

レーベルサイズの変更 / 削除

ここでは、登録したユーザー定義サイズを変更 / 削除する手順を説明します。

- 1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 2 [レーベルサイズ] で [ユーザー定義サイズ] を選択します。



- 3 画面左の [レーベルサイズ一覧] から、内容を変更、または削除するレーベルサイズを選択します。登録内容を変更する場合は、画面右の設定内容を編集します。



- 4 登録内容を変更する場合は、[保存] をクリックします。削除する場合は、[削除] をクリックします。
- 5 確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

印刷の色を調整する

ここでは、印刷データの色を調整し、レーベルを印刷する手順を説明します。

参考

- 印刷時に色調整を加えるだけで、データそのものの色調整は行いません。
- プリンタードライバーの基本設定画面で、[モード設定]を[黒]に設定すると、色の調整は行えません。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。

2 [カラー]を選択して[色設定]をクリックします。



3 [マニュアル色補正]を選択し、各項目を設定して、[OK]をクリックします。



ガンマ	<p>1.5：sRGB に対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合の設定に最適な値で印刷します。</p> <p>1.8：本製品でのレーベル印刷に合った調整が行われます。</p> <p>2.2：1.8 に設定したときと比べて、柔らかい感じの画像で印刷されます。</p>	
色補正方法	以下の [色補正方法] の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。	
	自然な色あい	プリンタードライバーの標準的な色補正で印刷します。より自然な発色状態になるように色処理を行います。
	あざやかな色あい	彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。
	EPSON 基準色	エプソンの基準色になるように色処理を行います。（sRGB で処理します。）
	Adobe RGB	より広い色空間の Adobe RGB で色処理を行います。Adobe RGB のカラースペース情報を持った印刷データの印刷時などに選択します。
明度	画像全体の明るさを調整します。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。	
コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、プラス（+）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（-）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。	
彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、プラス（+）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（-）方向にスライドさせると、彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。	
シアン	<p>- 設定：赤色が強くなります。</p> <p>+ 設定：青緑（シアン）が強くなります。</p>	
マゼンタ	<p>- 設定：緑色が強くなります。</p> <p>+ 設定：赤紫（マゼンタ）が強くなります。</p>	
イエロー	<p>- 設定：青色が強くなります。</p> <p>+ 設定：黄色（イエロー）が強くなります。</p>	

ディスクからデータを読み込む(PP-100III/PP-50IIのみ)

読み込み機能を使うと、スタッカーにセットした複数のディスクから、指定したフォルダーへデータコピー（ファイルの複製、またはディスクイメージの保存）を、一回の操作で行うことができます。

この機能についての詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

- 1 スタッカーに、読み込みたいデータファイルが入ったディスクをセットします。
- 2 EPSON Total Disc Setup を起動します。
起動方法は、本書 11 ページ「EPSON Total Disc Setup の起動」を参照してください。
- 3 手順 1 でディスクをセットしたプリンターを選択し、右クリックして [プロパティ] をクリックします。

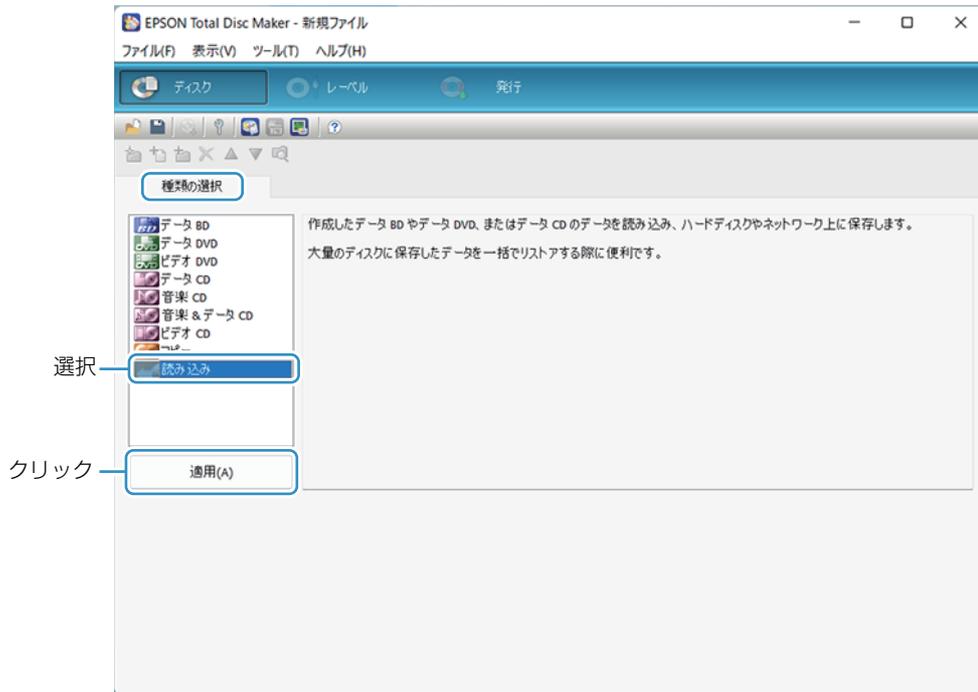


- 4 [全般] タブの [発行モード] から [読み込みモード] を選択して、[OK] をクリックします。



- 5 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」を参照してください。

6 ディスクビューの[種類の選択]タブで[読み込み]を選択して、[適用]をクリックします。



7 [読み込み動作]を選択します。
 選択肢と動作内容については、次の表を参照してください。

選択肢	動作内容
ファイルコピーする	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったディスクの内容を全てコピーします。 コピーするファイルと同じ名前のファイルが既に存在する場合、存在するファイルよりタイムスタンプが新しいと上書きされます [ディスクごとにフォルダーを作成する]にチェックを入れると、読み取ったディスクごとに自動でフォルダーを作成し、そのフォルダ内へディスクの内容を保存します。 フォルダー名は、作成した日付 (YYYYMMDDHHmmss) + ディスクのボリュームラベルになります。 <div style="text-align: center;"> <p>2017年5月31日8時15分46秒 作成した日付(YYYYMMDDHHmmss)</p> <p>+</p> <p>DataDisc_001 ディスクのボリュームラベル</p> <p>↓</p> <p>20170531081546DataDisc_001</p> </div>
ディスクイメージを作成する	<ul style="list-style-type: none"> 読み取ったディスクのディスクイメージファイルを作成し、保存します。 作成したディスクイメージファイルのファイルパスを記した CSV ファイルを作成し、保存します。 作成したディスクイメージファイルの名前は、読み取った順番 + ディスクのボリュームラベルになります。 <div style="text-align: center;"> <p>5番目 読み取った順番</p> <p>+</p> <p>DataDisc_001 ディスクのボリュームラベル</p> <p>↓</p> <p>5_DataDisc_001</p> </div>

8 [参照] をクリックして、読み込んだデータファイルの保存先を指定します。

9 [発行] をクリックします。



10 [読み込む] がチェックされていることを確認します。

11 [枚数] で、読み込みたいディスクの枚数を設定します。

12 [発行] をクリックします。
読み込みが開始されます。読み込み済みディスクはスタッカー 2 に排出されます。

差し込み機能を使って印刷する・データを書き込む

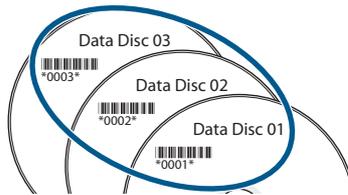
差し込み機能を使うと、印刷する内容や書き込むデータを、ディスクごとに CSV ファイルで指定することができます。

この機能には、3 種類の用途があります。この機能についての詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

用途 1:レーベル印刷

ディスクごとに異なる数字やバーコードを印刷できます。

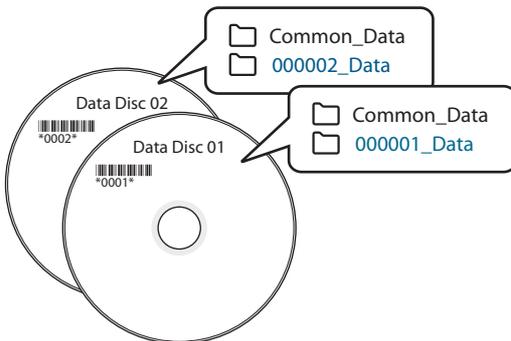
設定手順は、本書 94 ページ「差し込み機能 (レーベル印刷)」を参照してください。



用途 2:データファイルの書き込み(PP-100III/PP-50II のみ)

ディスクごとに異なるデータを書き込むことができます。

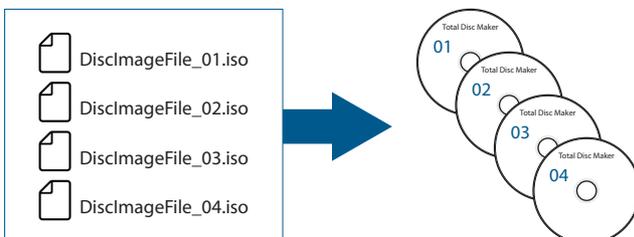
設定手順は、本書 99 ページ「差し込み機能 (データファイルの書き込み)」を参照してください。



用途 3:ディスクイメージの書き込み(PP-100III/PP-50II のみ)

ディスクごとに異なるディスクイメージファイルを、まとめて書き込むことができます。

設定手順は、本書 103 ページ「差し込み機能 (ディスクイメージの書き込み)」を参照してください。



制限事項

差し込み機能には、以下の制限があります。

1 度に印刷できる枚数

差し込み機能を使用して 1 度に印刷できるディスク枚数は、100 枚です。

レーベルに作成できるアイテム数

1 つのレーベルに作成できるアイテム数は、下表のとおりです。

項目	アイテム	制限
最大文字数	テキスト	1024 文字 (2048 byte)
最大アイテム数	サムネイル	10 個
	画像	50 個
	全アイテム	計 255 個

差し込み機能に対応しているアイテムの種類

差し込み機能に対応しているアイテムは、テキストとバーコードのみです。

CSV ファイルの作成

差し込み機能で使用する CSV ファイルは、以下のフォルダーにある CSV ファイルを参考にして作成してください。
EPSON Total Disc Maker インストール先フォルダー（デフォルト設定）：

- 32 ビット OS : C:\Program Files\EPSON\Total Disc Maker\sample
- 64 ビット OS : C:\Program Files (x86)\EPSON\Total Disc Maker\sample

No	Title	Subtitle	列名	erner/Training Provider	Host Location	Date	Files
121002	Coaching and Consultation	Risk Management - Why and How		ABCD Workshops, Inc.	ABCD Training Center, CA	10/1/2012	d:\data\121002
121003	Coaching and Consultation	Coaching Vs. Mentoring		ABCD Workshops, Inc.	ABCD Training Center, CA	10/2/2012	d:\data\121003
121004	Coaching and Consultation	Building Blocks of an Effective Team		ABCD Workshops, Inc.	ABCD Training Center, CA	10/2/2012	d:\data\121004
121005	Coaching and Consultation		差し込まれるテキストデータや、差し込むデータのパスなど			10/3/2012	d:\data\121005
121006	Coaching and Consultation					10/3/2012	d:\data\121006
121007	Coaching and Consultation	The Golden Rule to Effective Leadership		ABCD Workshops, Inc.	ABCD Training Center, CA	10/4/2012	d:\data\121007
121008	Coaching and Consultation	Leadership Vs. Management 101		ABCD Workshops, Inc.	ABCD Training Center, CA	10/4/2012	d:\data\121008
121009	Coaching and Consultation	The Secret to Effective Meetings		ABCD Workshops, Inc.	ABCD New York Center	10/4/2012	d:\data\121009
121010	Coaching and Consultation	Time Management for Coaches		ABCD Workshops, Inc.	ABCD New York Center	10/4/2012	d:\data\121010

また、使用できる CSV ファイルには、以下の制限事項があります。

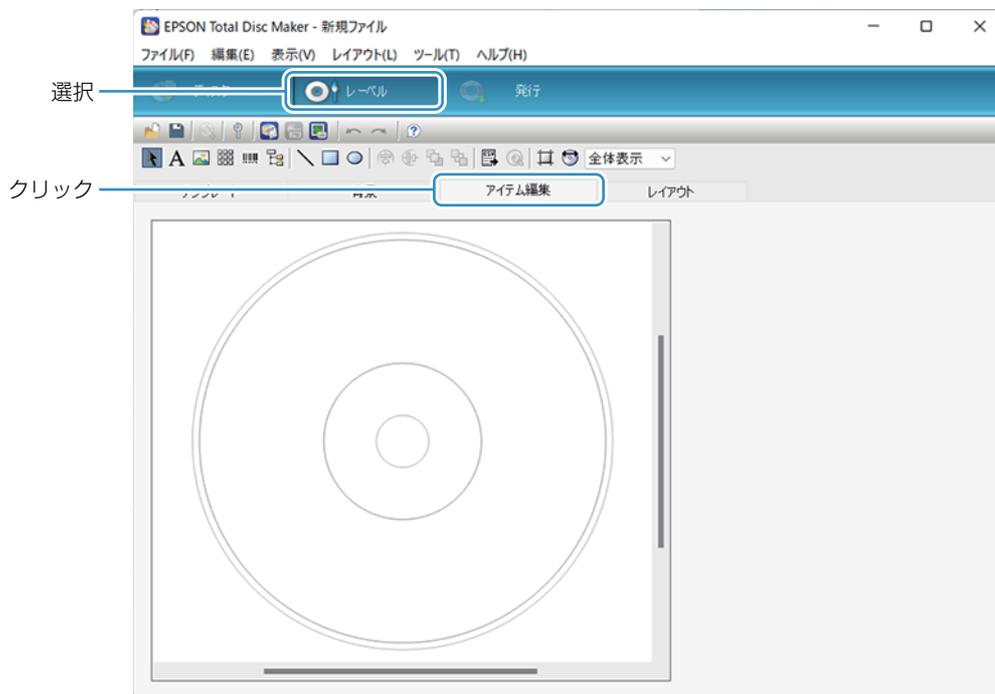
項目	制限
1 行目	列名であること
最大行数 *	101 個
最大列数 *	257 列

* : CSV ファイルに記載されたデータのうち、最大行数または最大列数を越えた部分は読み込まれません。
最大行数には列名を含みます。

設定手順

差し込み機能(レーベル印刷)

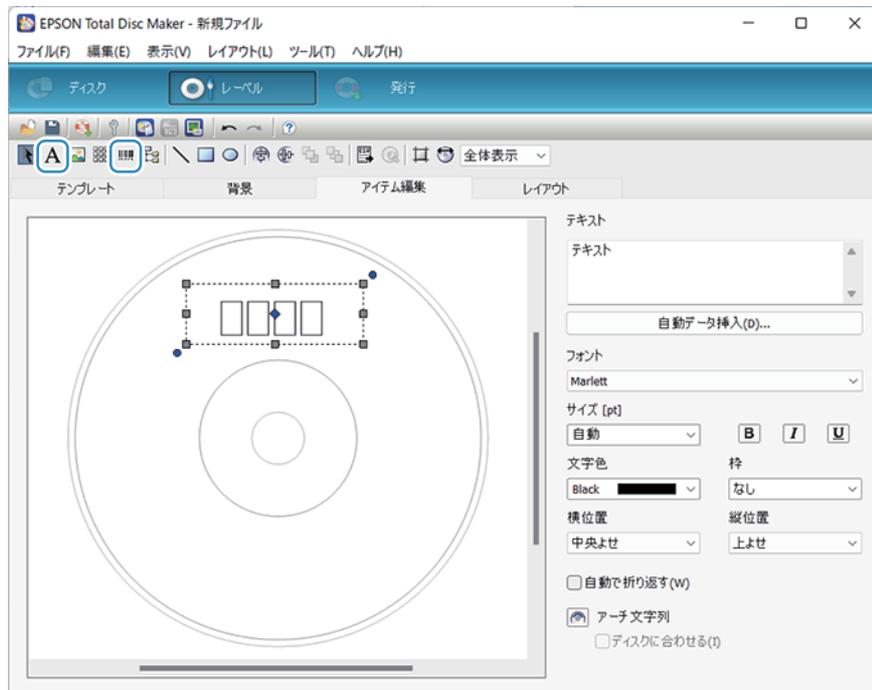
- 1 差し込みたい内容が書かれた CSV ファイルを作成します。
CSV ファイルについては、[本書 93 ページ「CSV ファイルの作成」](#)を参照してください。
- 2 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。
- 3 レーベルビューを選択して、[アイテム編集] タブをクリックします。



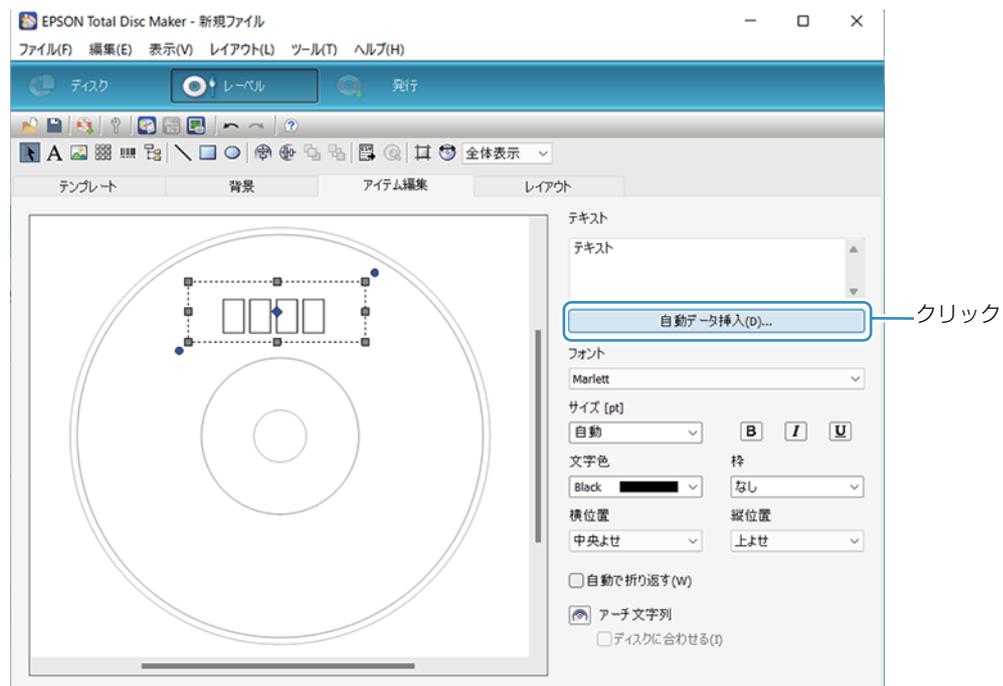
- 4 ツールバーの **A** [テキスト] をクリックし、差し込む内容を配置したい場所をクリックします。

テキストアイテムが、編集エリアに表示されます。

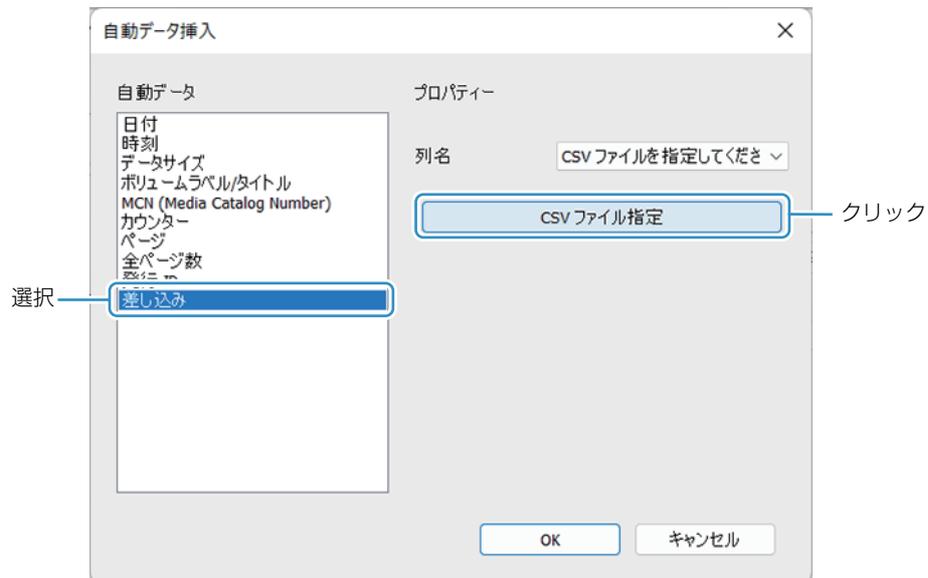
バーコードアイテムを差し込む場合は、 [バーコード] をクリックします。



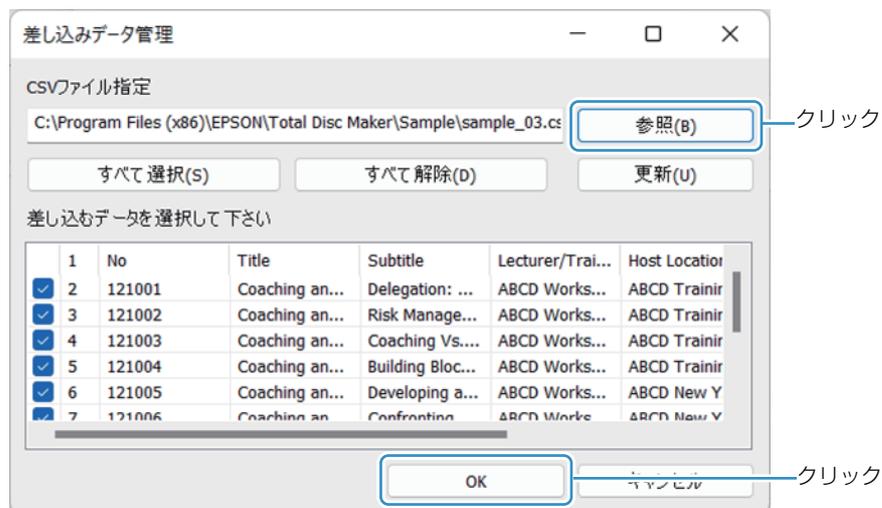
- 5 [自動データ挿入] をクリックします。
自動データ挿入画面が表示されます。



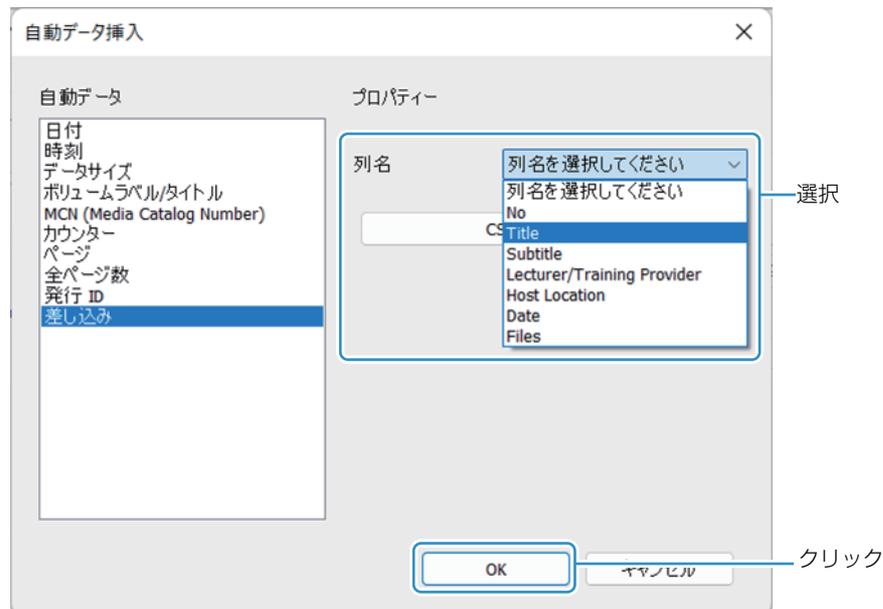
- 6 自動データのリストから [差し込み] を選択し、[CSV ファイル指定] をクリックします。差し込みデータ管理画面が表示されます。



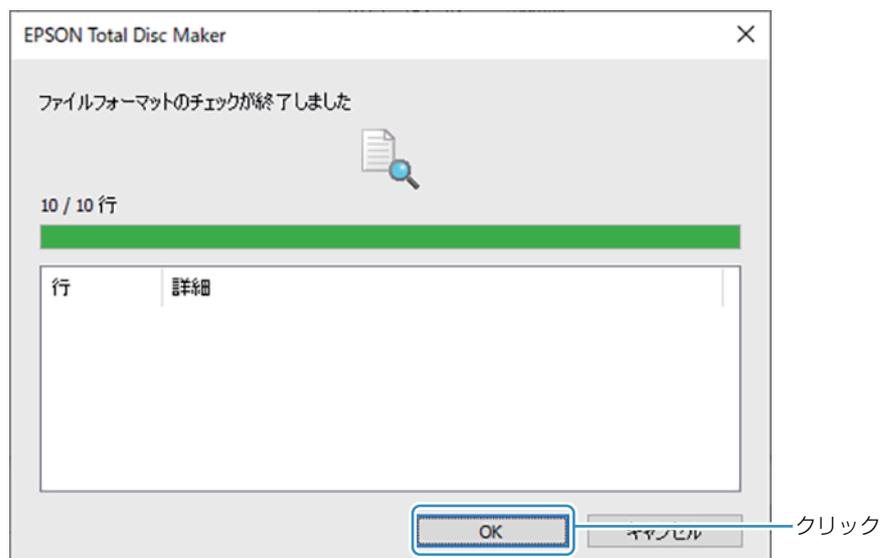
- 7 [参照] をクリックし、手順 1 で作成した CSV ファイルを選択します。発行したい行のチェックボックスにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 8 テキストアイテムに差し込みたいデータの列名を [列名] で選択して、[OK] をクリックします。



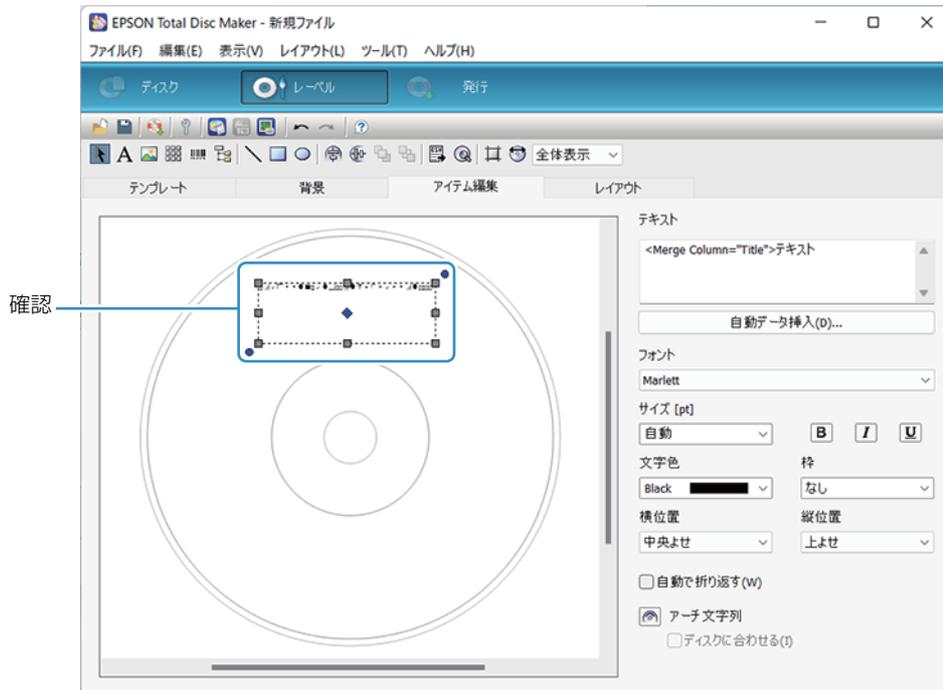
- 9 フォーマットチェックが終わったら、[OK] をクリックします。



参考

- エラーが見つかった場合は、[キャンセル] をクリックし、CSV ファイルを修正してください。
- 修正したCSVファイルを読み込むには、差し込みデータ管理画面で[更新] をクリックしてください。

- 10 テキストアイテムに、選択した列名のデータが差し込まれたことを確認します。他の列の内容を差し込みたい場合は、手順 8 から手順 10 を繰り返します。

**参考**

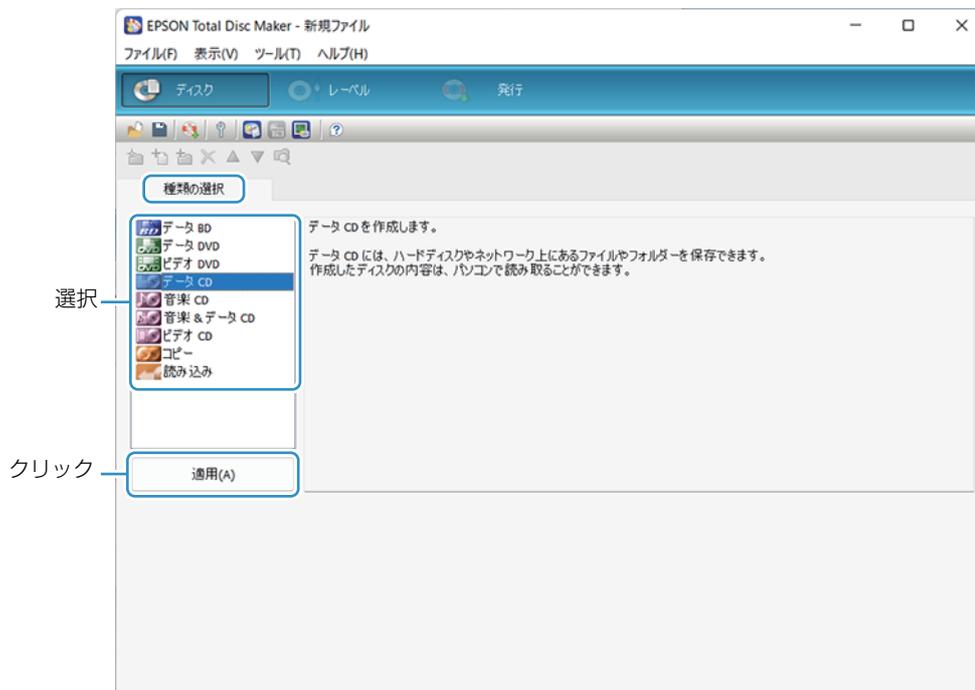
1 枚目のディスクのレーベルに印刷されるデータのみ、編集エリアに表示されます。

- 11 以降は、通常どおりディスクを発行します。

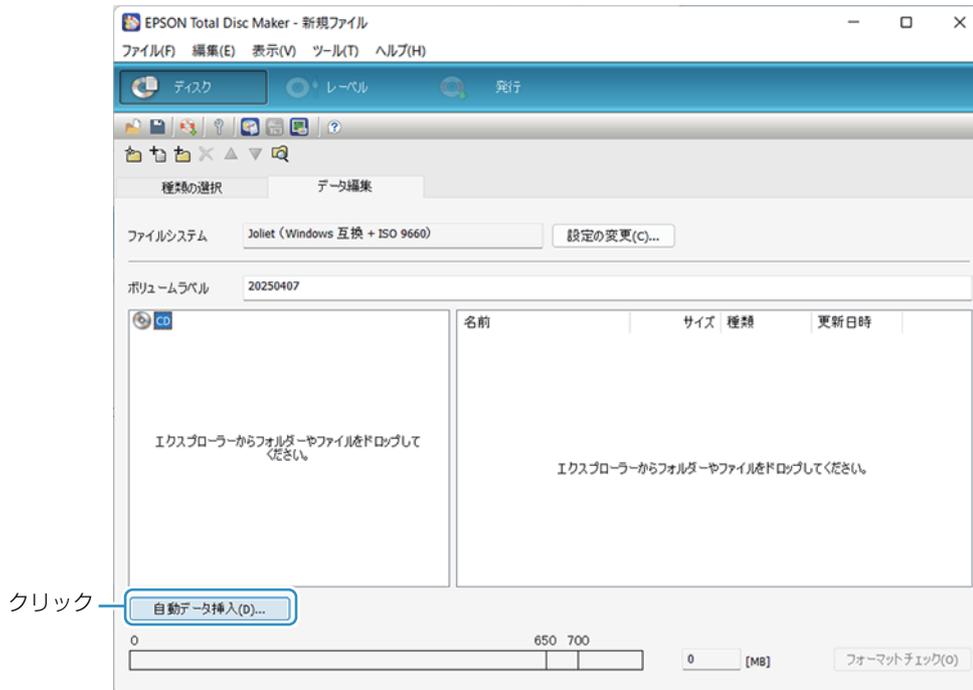
詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

差し込み機能(データファイルの書き込み)

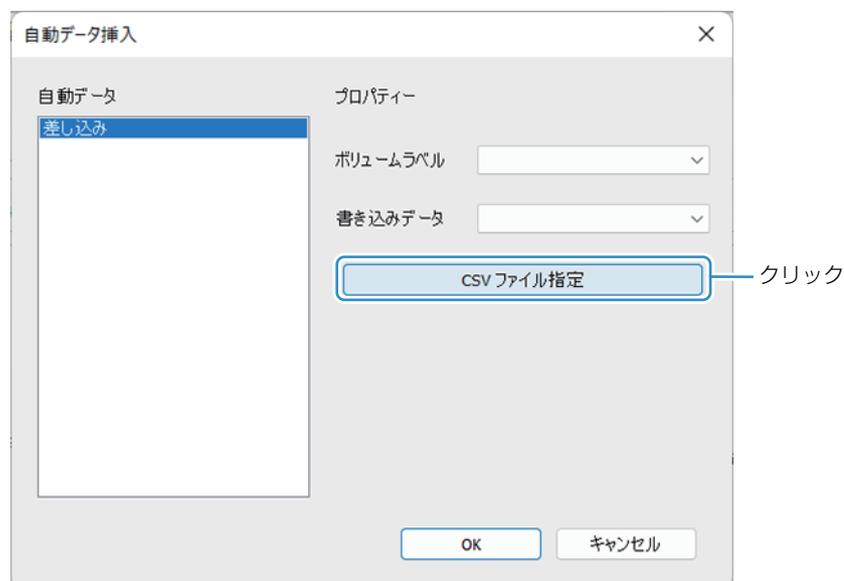
- 1 差し込むデータの格納先フォルダーをフルパスで指定した CSV ファイルを作成します。
CSV ファイルについては、[本書 93 ページ「CSV ファイルの作成」](#)を参照してください。
指定できるフォルダーは、1 枚のディスクに対して 1 つのフォルダーです。
- 2 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。
- 3 ディスクビューの [種類の選択] タブで、[データ BD] ・ [データ DVD] ・ [データ CD] のいずれかを選択して、[適用] をクリックします。



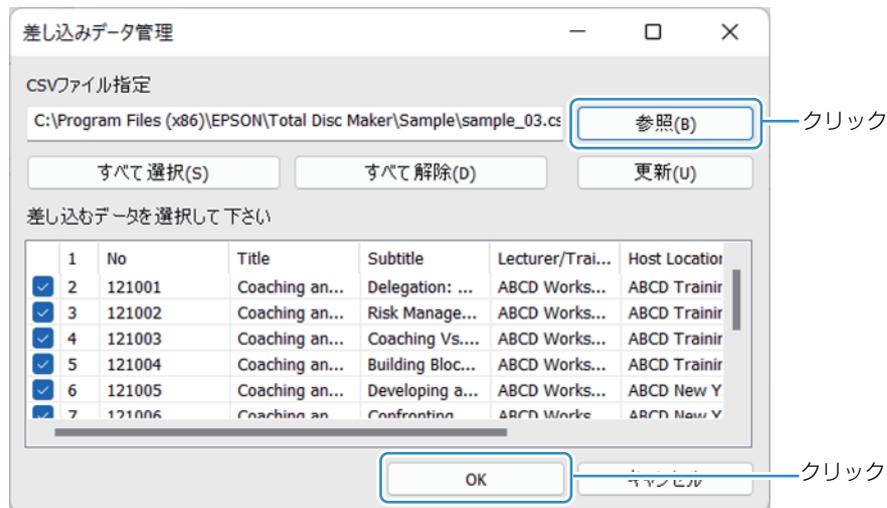
- 4 [データ編集] タブで [自動データ挿入] をクリックします。
自動データ挿入画面が表示されます。



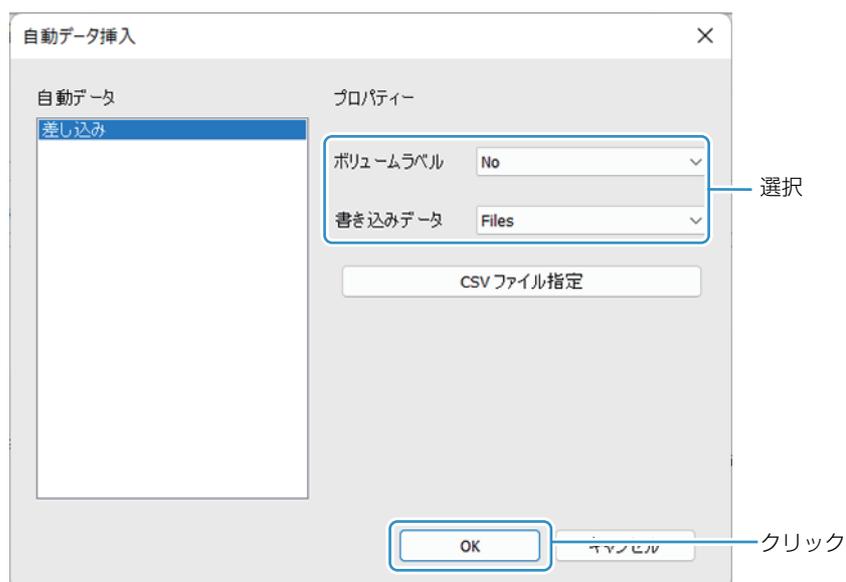
- 5 [CSV ファイル指定] をクリックします。
差し込みデータ管理画面が表示されます。



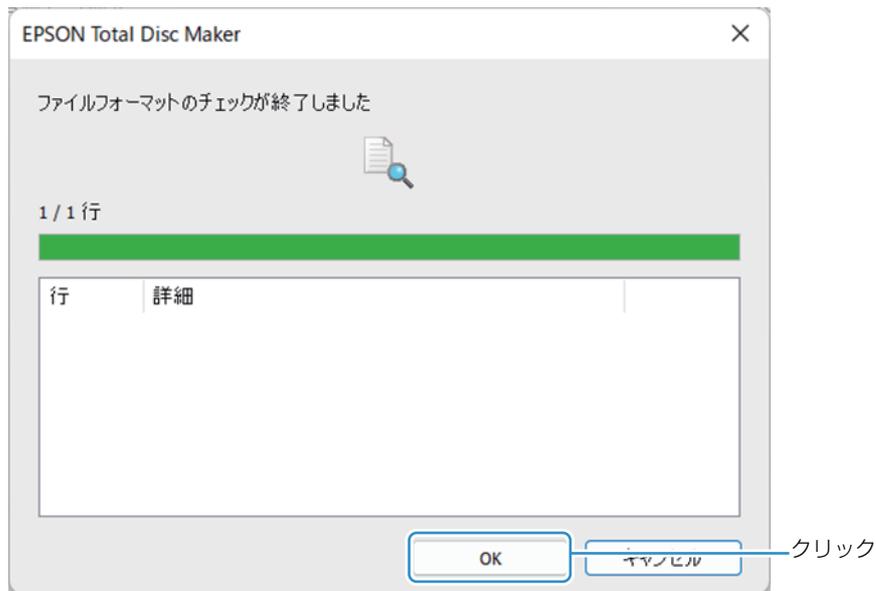
- 6 [参照] をクリックし、手順 1 で作成した CSV ファイルを選択します。
発行したい行のチェックボックスにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 7 差し込みたいデータファイルのボリュームラベルが書かれた列名を [ボリュームラベル] で選択し、フルパスが書かれた列名を [書き込みデータ] で選択して、[OK] をクリックします。



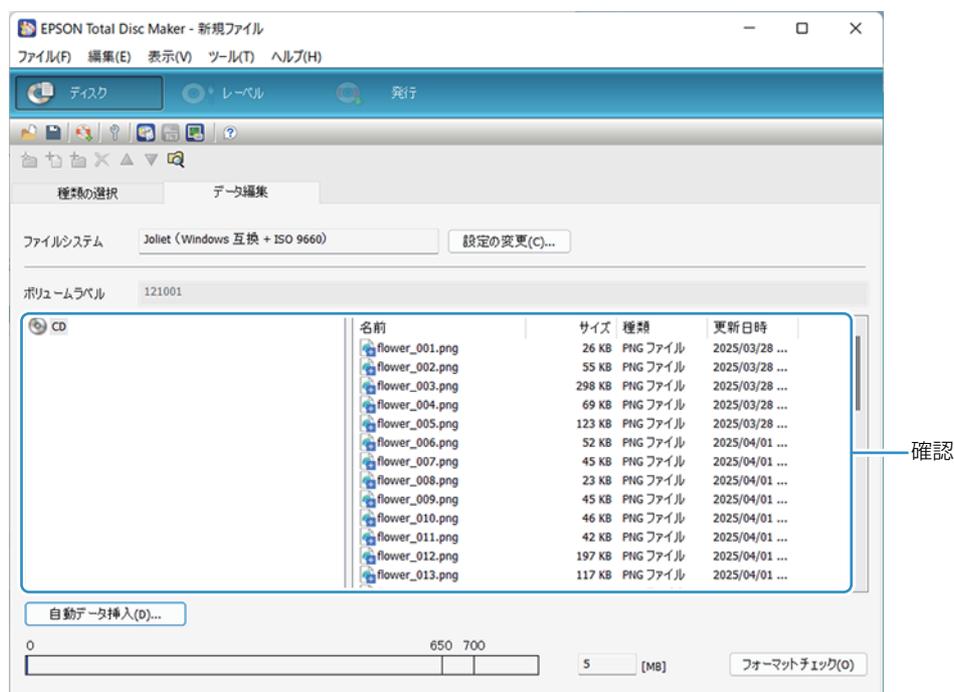
8 フォーマットチェックが終わったら、[OK] をクリックします。



参考

- エラーが見つかった場合は、[キャンセル] をクリックし、CSV ファイルを修正してください。
- 修正したCSVファイルを読み込むには、差し込みデータ管理画面で[更新] をクリックしてください。

9 ディスクビューの [データ編集] タブに書き込むデータが表示されたことを確認します。



参考

- 1 枚目のディスクに書き込まれる内容のみ、表示されます。
- CSV ファイルで指定した差し込むデータには、**+** が表示されます。

10 以降は、通常どおりディスクを発行します。

詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

差し込み機能(ディスクイメージの書き込み)

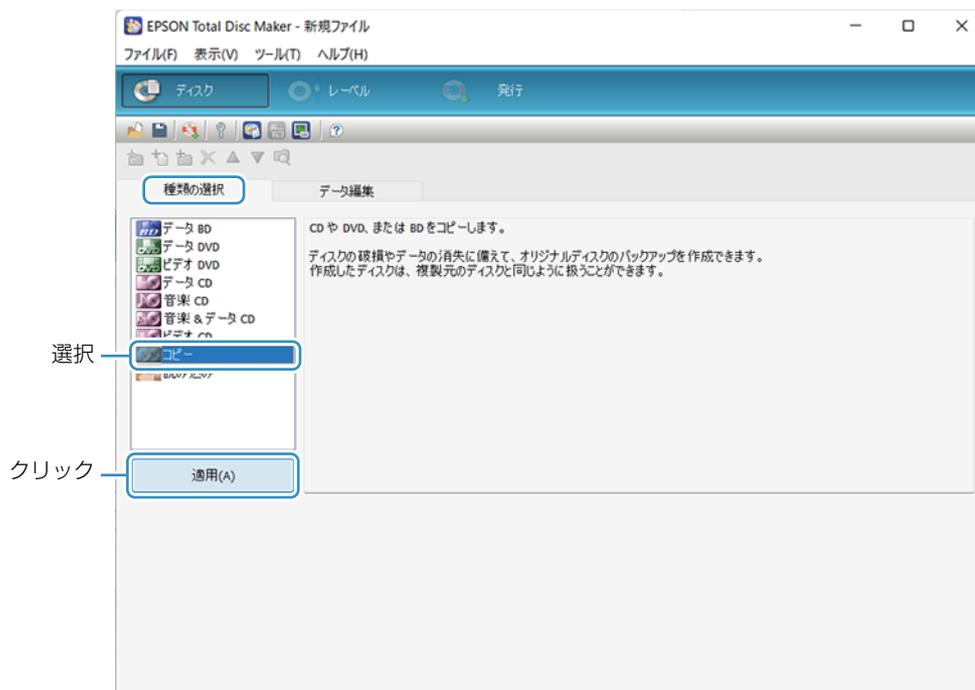
- 1 書き込みたいディスクイメージファイルをフルパスで指定した CSV ファイルを作成します。

CSV ファイルについては、[本書 93 ページ「CSV ファイルの作成」](#)を参照してください。

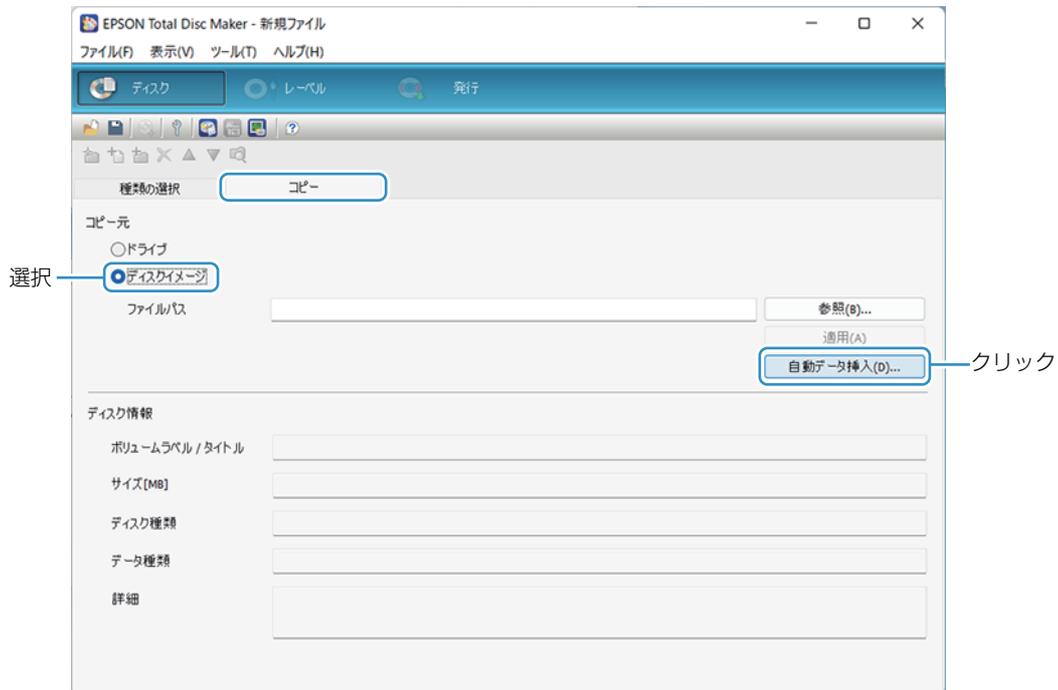
参考

- 複数のディスクからまとめてディスクイメージファイルを作成する場合は、[本書 89 ページ「ディスクからデータを読み込む \(PP-100III/PP-50II のみ\)」](#)を参照してください。
- EPSON Total Disc Maker で読み込み、複製などができるイメージファイル (ISO) は、Total Disc Maker で作成したもののみです。他社のソフトウェアで作成したイメージファイルや、他社のソフトウェアで作成したディスクから読み込んだイメージファイルについては、動作を保証しておりません。

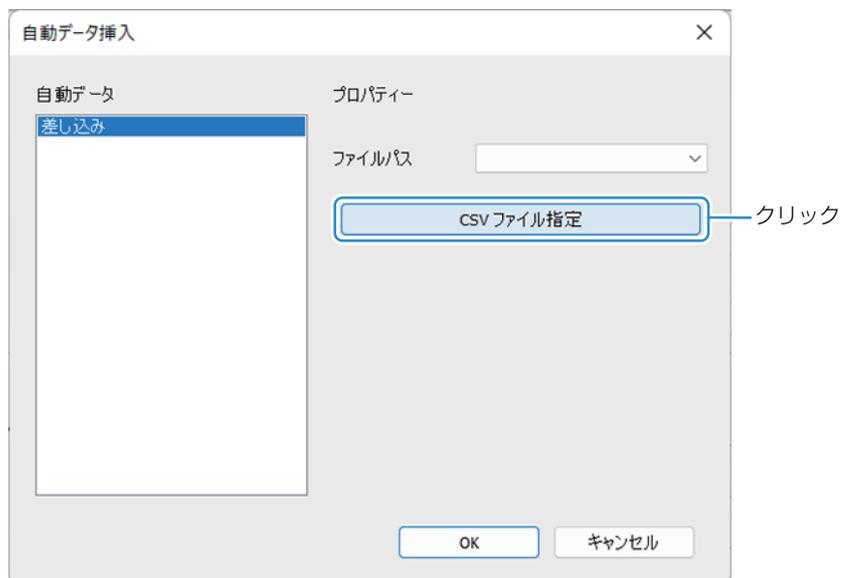
- 2 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。
- 3 ディスクビューの [種類の選択] タブで [コピー] を選択して、[適用] をクリックします。



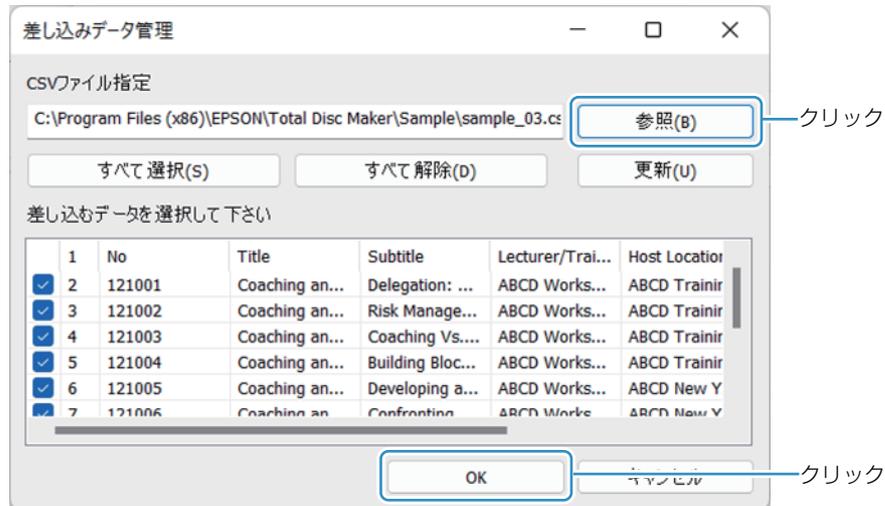
- 4 [コピー] タブで [ディスクイメージ] を選択して、[自動データ挿入] をクリックします。
自動データ挿入画面が表示されます。



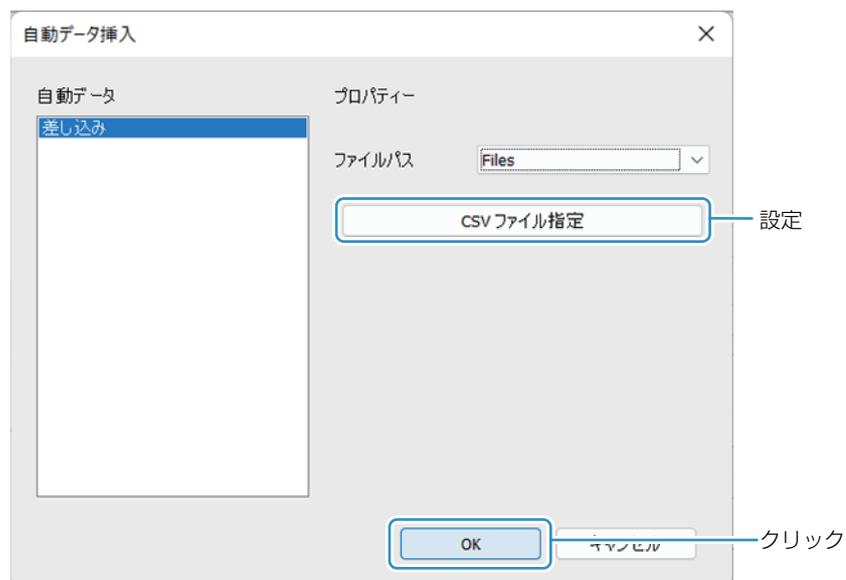
- 5 [CSV ファイル指定] をクリックします。
差し込みデータ管理画面が表示されます。



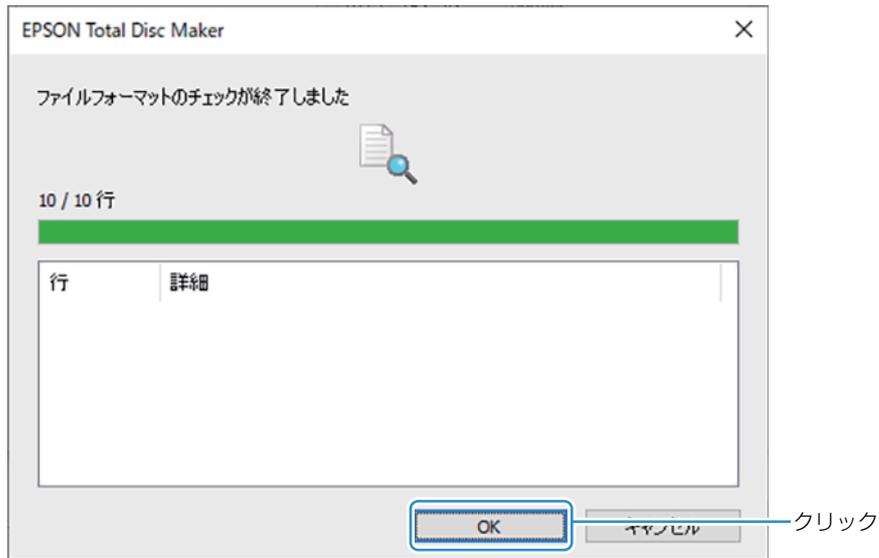
- 6 [参照] をクリックして、手順 1 で作成した CSV ファイルを選択します。
発行したい行のチェックボックスにチェックを入れ、[OK] をクリックします。



- 7 書き込みたいディスクイメージファイルのフルパスが書かれた列名を [ファイルパス] に設定し、[OK] をクリックします。



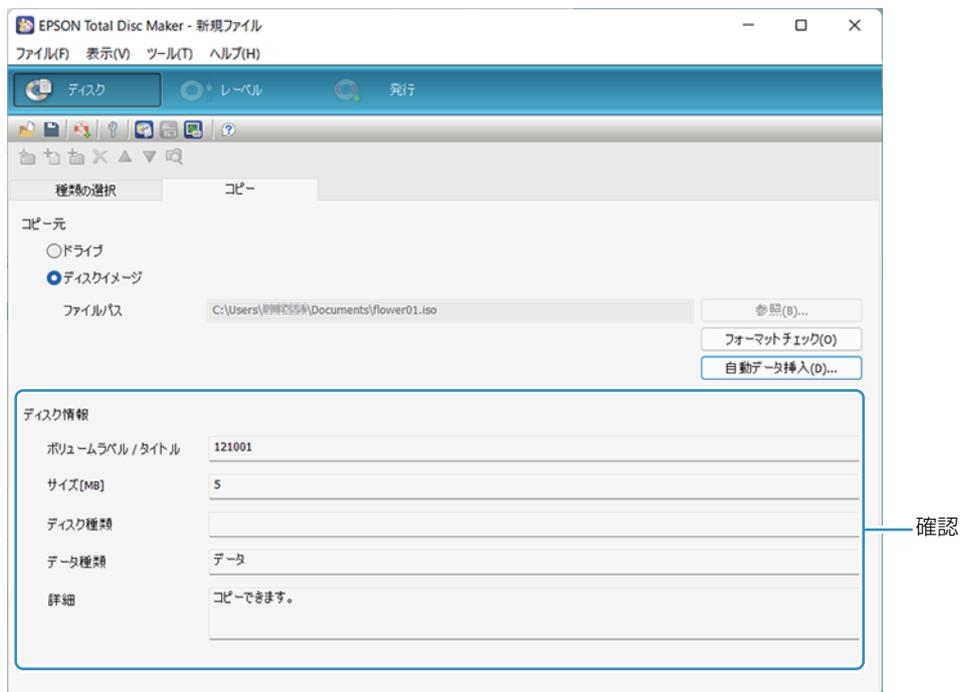
8 フォーマットチェックが終わったら、[OK] をクリックします。



参考

- エラーが見つかった場合は、[キャンセル] をクリックし、CSV ファイルを修正してください。
- 修正したCSVファイルを読み込むには、差し込みデータ管理画面で[更新]をクリックしてください。

9 [ディスク情報] に書き込みたいディスクイメージファイルのディスク情報が表示されたことを確認します。



参考

1 枚目のディスク情報のみ、表示されます。

10 以降は、通常どおりディスクを発行します。
 詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプ、または本書 54 ページ「ディスクの発行」を参照してください。

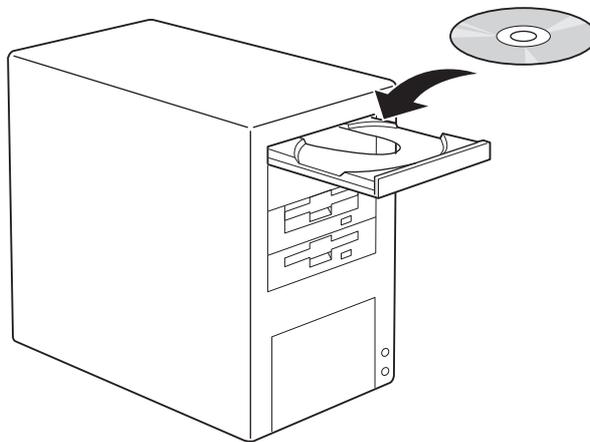
ディスクから直接コピーを作成する(PP-100III/PP-50IIのみ)

パソコンのドライブにセットした CD/DVD/BD ディスクから直接コピーディスクを作成することができます。

参考

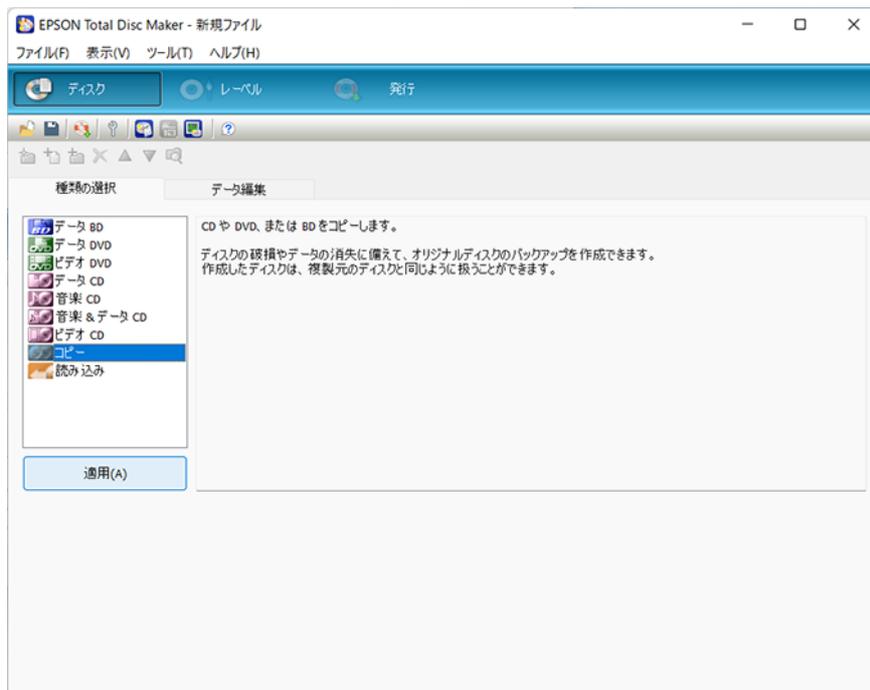
- コピー元として使用するドライブは、MMC4 に準拠したコマンドをサポートし、MMC4 に準拠した動作を行うものをご利用ください。
- コピー元として使用するドライブの機種により、コピーディスクを作成できない場合があります。その場合は、コピー元のドライブを替えてお試しください。
- コピー元のディスクがマルチセッションの CD/DVD/BD の場合は、コピーすることはできません。
- コピー元のディスクがパケットライト CD の場合は、コピーすることはできません。

- 1 パソコンのドライブにコピーを作成したいディスクをセットします。

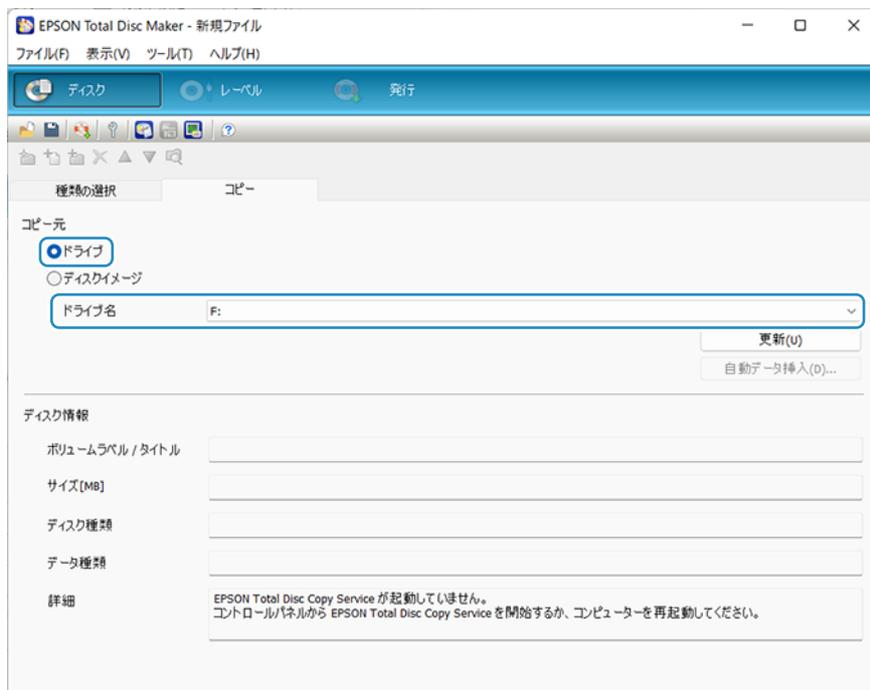


- 2 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。

3 [種類の選択] で [コピー] を選択し、[適用] をクリックします。



4 [コピー元] で「ドライブ」を選択し、ディスクをセットしたドライブ名を選択します。



以降、通常のディスク作成の手順に従って、レーベルの作成（本書 42 ページ参照）とディスクの発行（本書 54 ページ参照）を行います。

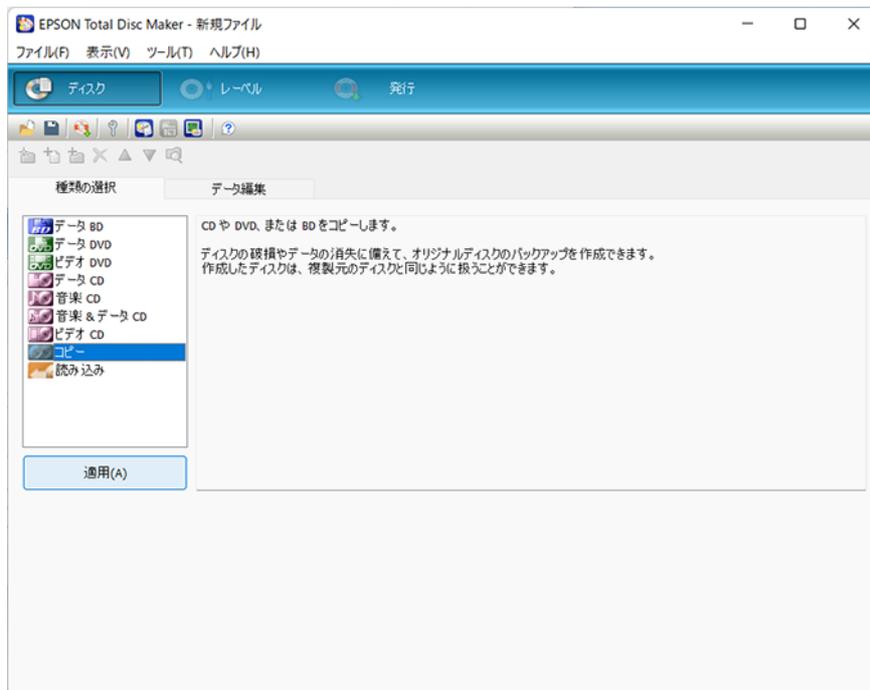
ディスクイメージファイルからコピーを作成する(PP-100III/PP-50IIのみ)

ディスクイメージファイルを使用して、コピーディスクを作成することができます。

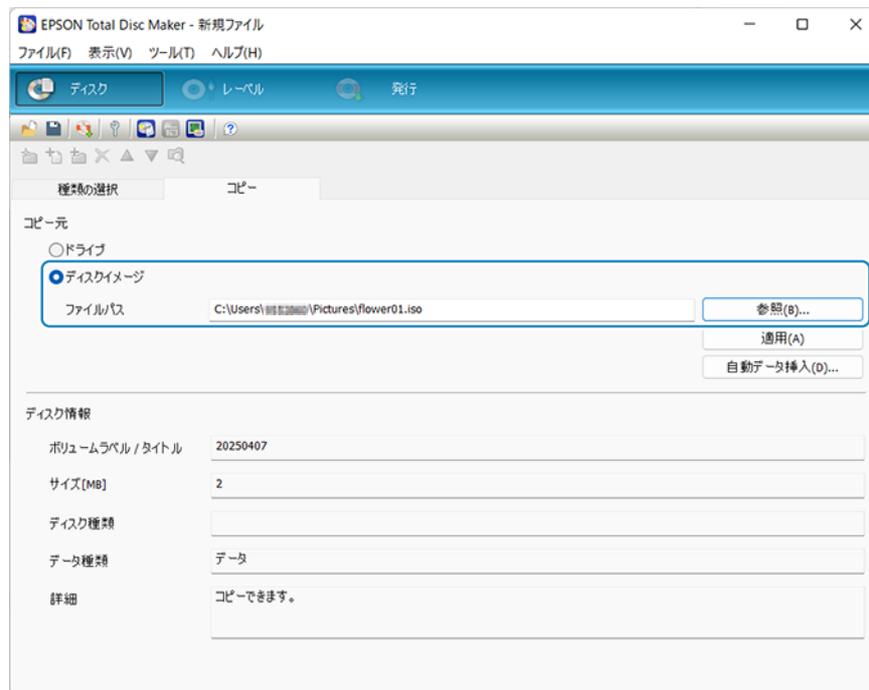
参考

- 書き込みデータの登録(本書 38 ページ参照)後、[ファイル]メニューの[ディスクイメージを作成]をクリックすると、ディスクイメージファイルを作成することができます。
- EPSON Total Disc Maker で読み込み、複製などができるイメージファイル(ISO)は、Total Disc Maker で作成したもののみです。他社のソフトウェアで作成したイメージファイルや、他社のソフトウェアで作成したディスクから読み込んだイメージファイルについては、動作を保証しておりません。

- 1 EPSON Total Disc Maker を起動します。
起動方法は、[本書 6 ページ「EPSON Total Disc Maker の起動」](#)を参照してください。
- 2 [種類の選択] で [コピー] を選択し、[適用] をクリックします。



- 3 [コピー元]で「ディスクイメージ」を選択し、[参照]をクリックしてディスクイメージファイルを指定します。



以降、通常のディスク作成の手順に従って、レーベルの作成（[本書 42 ページ参照](#)）とディスクの発行（[本書 54 ページ参照](#)）を行ってください。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

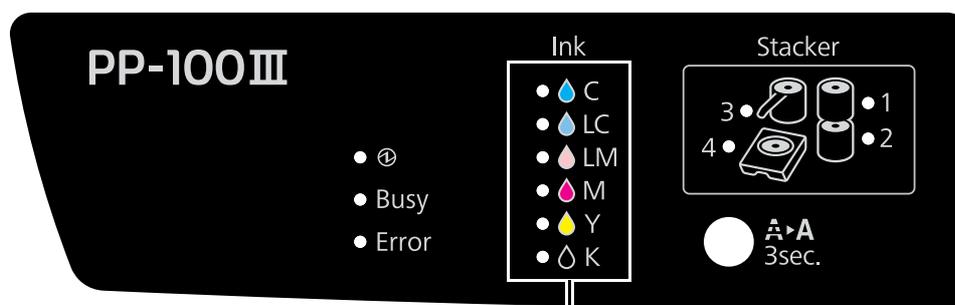
インク残量の確認方法

6つのインクカートリッジのうち、ひとつでも交換時期になると印刷ができなくなります。

インク残量は、以下のように操作パネルのインクランプで確認できます。

- 操作パネルのインクランプが点滅したら、その色のインク残量が少なくなっています。インクランプが点灯に変わるまでは印刷できます。
- 操作パネルのインクランプが点灯したら、その色のインクの交換時期です。

各色のインクランプの位置



C: シアン
 LC: ライトシアン
 LM: ライトマゼンタ
 M: マゼンタ
 Y: イエロー
 K: ブラック

EPSON Total Disc Monitor でもインクの残量を確認することができます。詳細は、EPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。

参考

- 初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充電によりインクが消費されますので、交換時期が通常より早くなります。
- モノクロ印刷を指定した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に本製品は動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には多少のインクが残ります。

インクカートリッジの交換方法

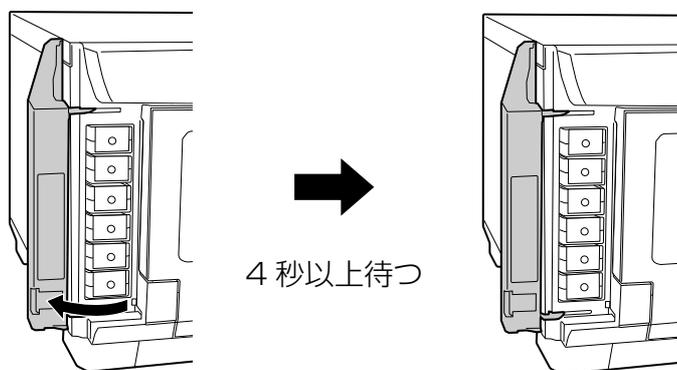
ここでは、インクカートリッジの交換手順を“ライトマゼンタ”を例にして説明します。ほかの色の場合も、交換位置は異なりますが、同様の手順で交換できます。

インクカートリッジの型番は、本書 194 ページ「インクカートリッジ」を参照してください。

注意

- エプソン純正のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のインクカートリッジを使用すると、保証外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使用すると印刷品質に悪影響が出るなど、製品本体の性能を発揮できない場合があります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、高温下、凍結状態、および直射日光下で保存しないでください。

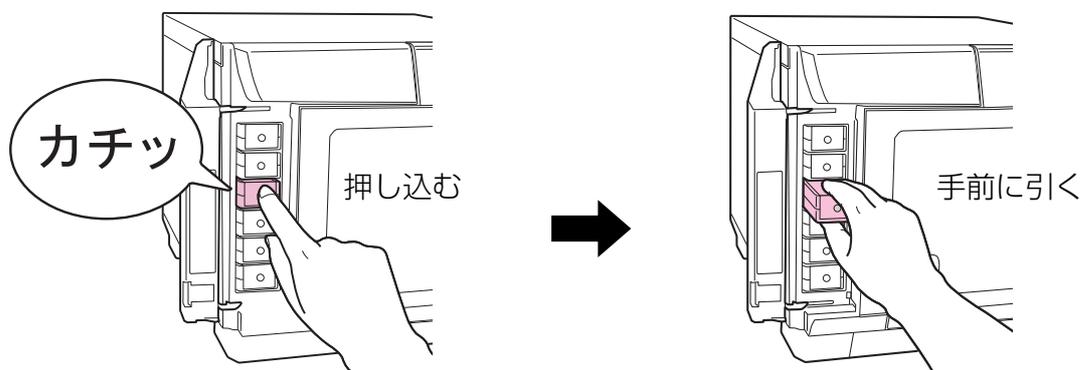
- 1 インクカートリッジカバーを開け、内部の動作が停止するまで 4 秒以上待ちます。



注意

4 秒以内にインクを取り出してしまった場合、インクが噴き出すおそれがあります。

- 2 カチッと音がするまでインクカートリッジを静かに押し込んでロックを解除してから、ゆっくりと手前に引き抜きます。



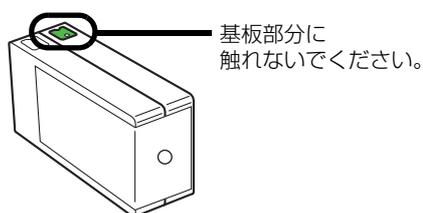
注意

- 取り出したインクカートリッジのインク供給孔部からインクが漏れることがあります。
- 一度使用したインクカートリッジのインク取り出し口には、若干のインクが付着する場合があります。触らないでください。
- 使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 194 ページ「インクカートリッジの回収について」を参照してください。

3 インクカートリッジを袋から取り出します。

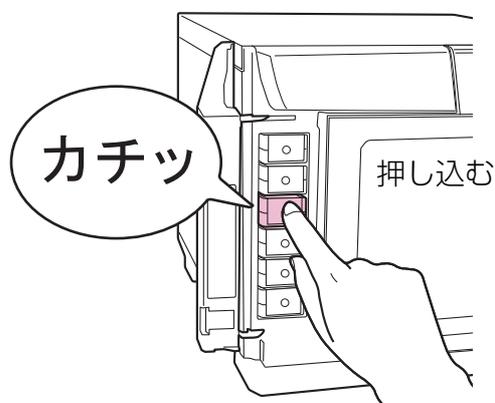
注意

- 良好な印刷品質を得るために、装着直前に透明なプラスチック袋から開封してください。また開封後は、6ヶ月以内に使い切ってください。開封した状態で長時間放置したインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下するおそれがあります。
- プラスチック袋を開封するときには、インクカートリッジが落下しないように注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔を下にして置かないでください。机などを汚すおそれがあります。また、ゴミなどの付着により本製品が正常に作動しないことがあります。
- インクカートリッジは、強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジに付いている緑色の基板部分には触れないでください。また、インクカートリッジに貼られているラベルやフィルムは、絶対にはがさないでください。正常にセット・動作・印刷ができなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。



- インクカートリッジは、個装箱またはインクカートリッジに貼られているラベルに記載された期限までに使い切ってください。

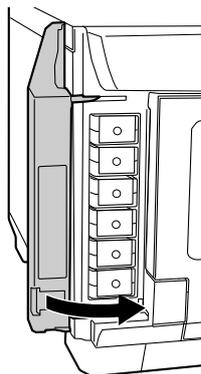
4 セット位置をラベルの色で確認し、新しいインクカートリッジを本製品のインクカートリッジホルダーに、カチッと音がするまで静かに押し込みます。



注意

セットしたインクカートリッジを、繰り返し抜き差ししないでください。インクカートリッジや本体内部にインクが付着するおそれがあります。

5 インクカートリッジカバーを閉めます。



注意

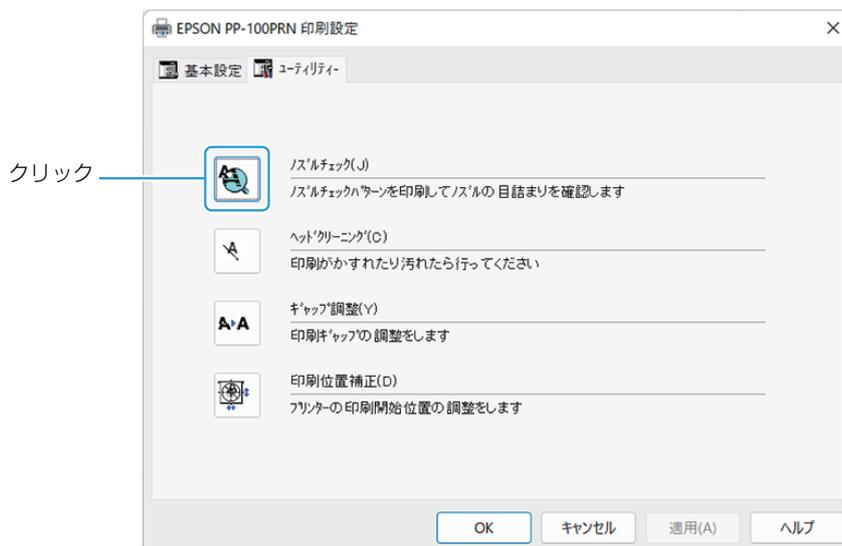
- インクの充てん中は電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。これらの操作を行うと、インクの充てんを再度実行するため、インクを著しく消費する原因になります。また、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクランプが点滅 / 点灯しているときは、インクカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットされているか確認してください。
- インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。
- インクカートリッジを取り付けても正常に印刷できない場合は、クリーニングボタンを3秒間押し続けてください。回復しない場合は、この動作を1、2回程度繰り返してください。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- インクカートリッジを取り付けた後に本製品を移動・輸送するときは、インクカートリッジを取り付けたままの状態での移動・輸送してください。
- 交換時以外は、インクカートリッジを取り外さないでください。

ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、インクはあるのに印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷されたりします。ノズルチェックでは、ノズルの状態を確認するためにパターンを印刷し、そのパターンを見てノズルが目詰まりしていないかを確認します。

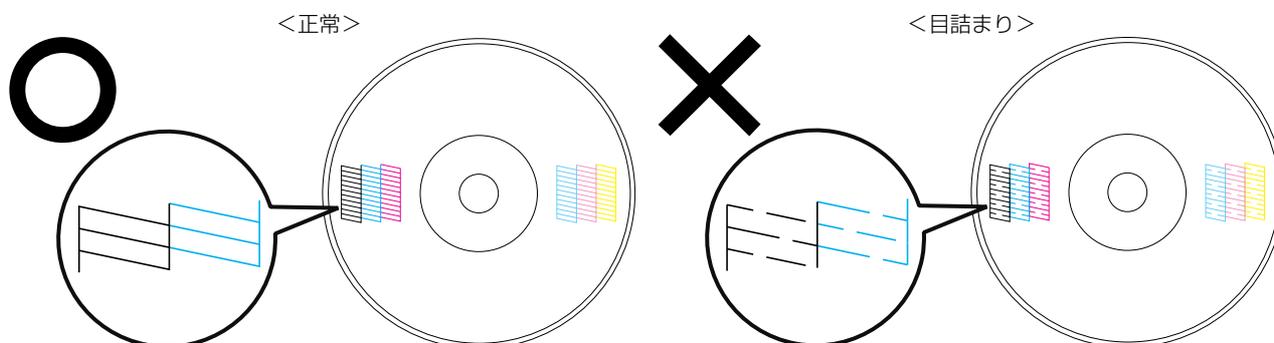
ノズルチェックの操作手順

- 1 本製品の電源をオンにします。
- 2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。
- 3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 4 [ユーティリティ] 画面の [ノズルチェック] をクリックします。



- 5 [印刷] をクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されたディスクが、下記のスタッカーに排出されます。
 - PP-100III/PP-100AP : スタッカー 3 または スタッカー 4
 - PP-50II : スタッカー 3

- 6 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
正常な場合は、左下図のようにすべてのラインが印刷されます。
右下図のように印刷されないラインがある場合は、目詰まりしています。ヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングの詳細は、本書 118 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」を参照してください。



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間ができていたりする場合にヘッドクリーニングを行ってください。(本書 118 ページ「ヘッドクリーニングの操作手順」参照)

参考

ヘッドクリーニングはインクを消費します。ヘッドクリーニングを行う前にノズルチェックを行うと、ノズルが目詰まりしていないかを確認することができ、ヘッドクリーニングによる余計なインクの消費を防ぐことができます。ノズルチェックの詳細は、本書 115 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

<正常>



<目詰まり>



プリントヘッドの乾燥の原因と対処方法

原因	これを防ぐには
万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。 電源のオン/オフは、必ず電源ボタンで行ってください。
万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることがあります。	定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。
インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥します。	インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ヘッドクリーニングの操作手順

ヘッドクリーニングには次の2つの方法があります。

- 本製品のボタン操作で行う
- パソコン上の操作で行う

注意

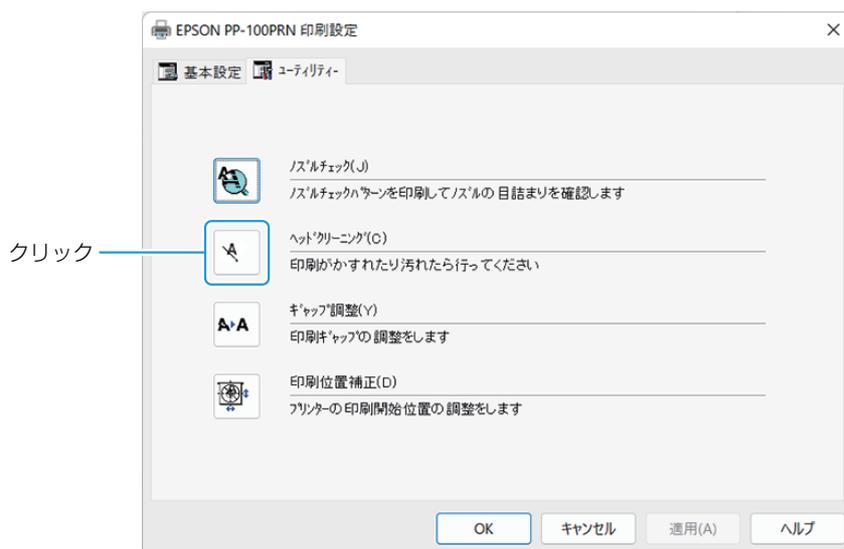
- ヘッドクリーニング中にインクカートリッジカバーを開けないでください。カバーを開けるとヘッドクリーニングが中止されます。
- ヘッドクリーニングはインクを消費します。必要以上にヘッドクリーニングを行うとインクカートリッジの寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 発行中のJOBがある場合、JOBの処理が終了してからヘッドクリーニングが開始されます。

本製品のボタン操作で行う

- 1 本製品と接続したパソコンの電源がオンの状態であることを確認します。
- 2 本製品の電源をオンにします。
- 3 クリーニングボタンを3秒間押します。
電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

パソコン上の操作で行う

- 1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書19ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 2 [ユーティリティ]画面の[ヘッドクリーニング]をクリックします。

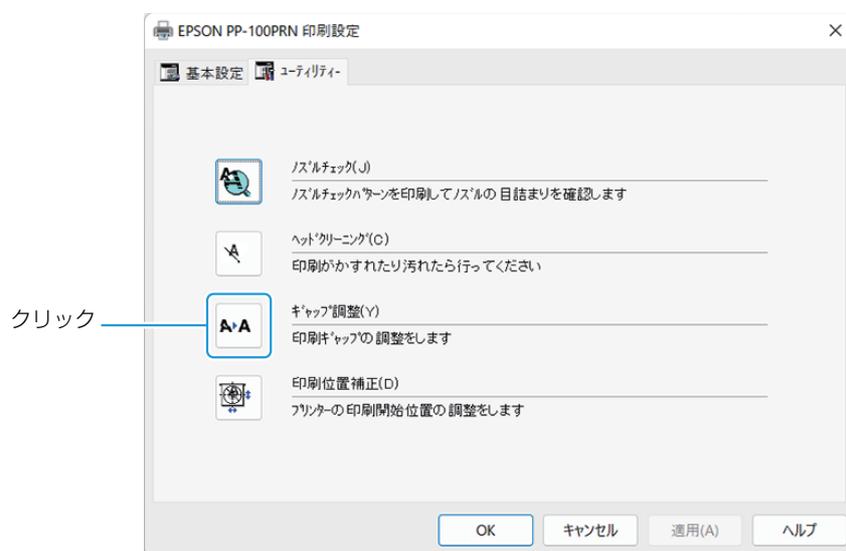


- 3 [スタート]をクリックします。
電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが開始されます。
ヘッドクリーニングが終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わります。

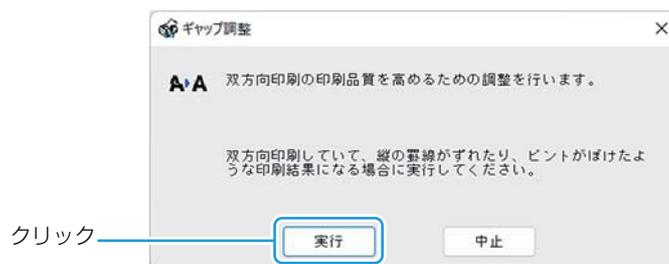
ギャップ調整

プリントヘッドが右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれると、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になることがあります。そのような場合は、ギャップ調整を行ってください。

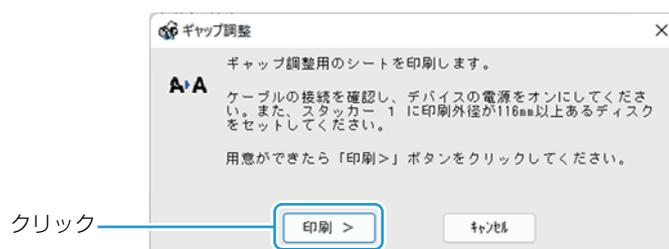
- 1 本製品の電源をオンにします。
- 2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。
- 3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 4 [ユーティリティ]画面の[ギャップ調整]をクリックします。



- 5 [実行]をクリックします。



- 6 [印刷]をクリックします。

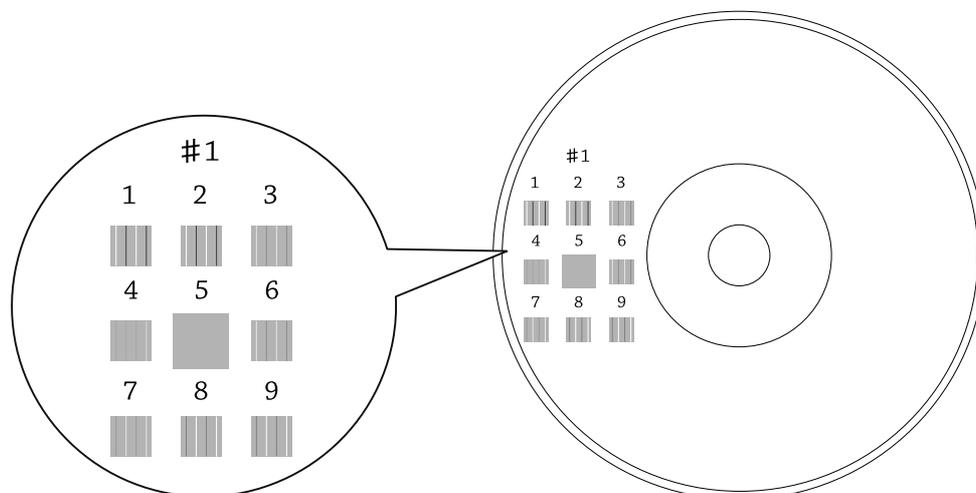


ギャップ調整シートが印刷されたディスクが、下記のスタッカーに排出されます。

- PP-100III/PP-100AP：スタッカー 3 またはスタッカー 4
- PP-50II：スタッカー 3

7 印刷されたギャップ調整用シートを確認します。

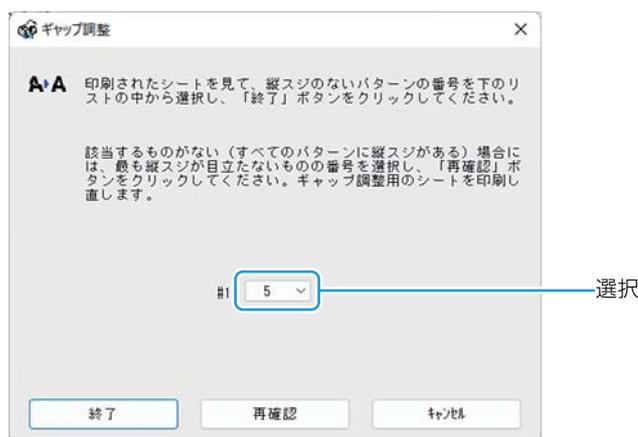
<ギャップ調整用シート>



8 縦スジの少ないパターンの番号を選択します。

上図の場合は、「5」の縦スジが少ないので、「5」を選択します。

再度、ギャップ調整用シートを印刷して確認する場合は、スタッカー 1 にディスクをセットし、[再確認]をクリックしてください。

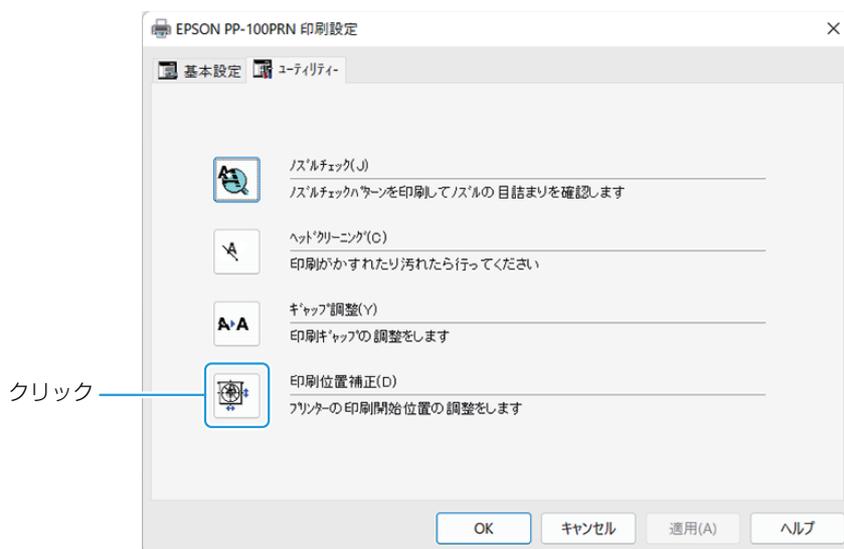


9 [終了]をクリックします。

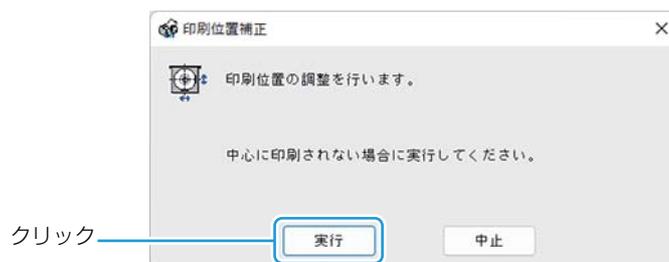
印刷位置補正

上下左右方向の印刷位置がずれるときは、印刷位置補正を行ってください。

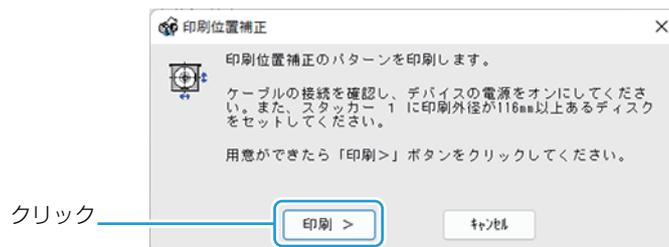
- 1 本製品の電源をオンにします。
- 2 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットします。
- 3 プリンタードライバーの設定画面を表示します。
表示方法は、本書 19 ページ「プリンタードライバー画面の表示」を参照してください。
- 4 [ユーティリティ] 画面の [印刷位置補正] をクリックします。



- 5 [実行] をクリックします。



- 6 [印刷] をクリックします。

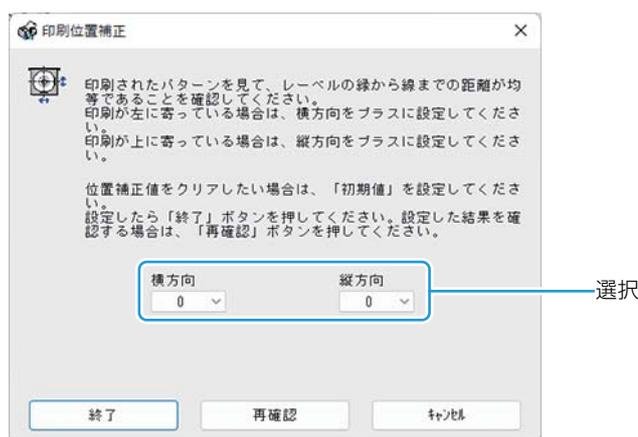
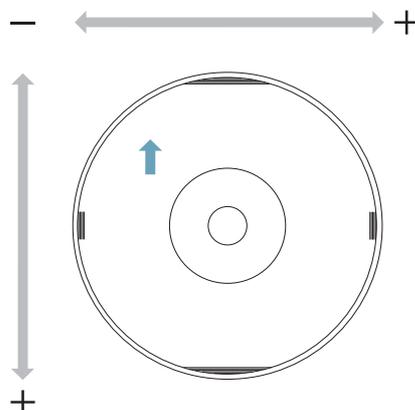


上下左右にそれぞれ 5 本のラインと上方向を示す青い矢印が 1 つ印刷されたディスクが、下記のスタッカーに排出されます。

- PP-100III/PP-100AP : スタッカー 3 またはスタッカー 4
- PP-50II : スタッカー 3

7 上下左右のラインがレーベル面に均等に印刷される場合は [終了] をクリックします。均等に印刷されていないときは、以下の方法で対処します。

- 印刷が左に寄っている場合：[横方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が右に寄っている場合：[横方向] にマイナスの補正値を選択します。
- 印刷が上に寄っている場合：[縦方向] にプラスの補正値を選択します。
- 印刷が下に寄っている場合：[縦方向] にマイナスの補正値を選択します。



8 スタッカー 1 に、何も印刷されていないディスクを 1 枚セットし、[再確認] をクリックします。

以降は、上下左右のラインがディスク上に均等に印刷されるまでステップ 6、7、8 を繰り返します。

9 [終了] をクリックします。

注意

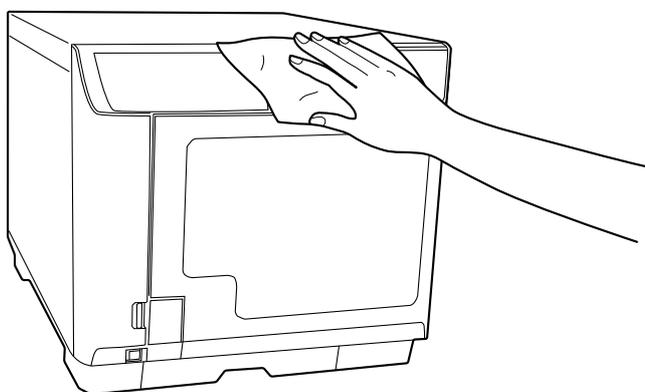
- 初回調整後、再確認で補正値を入力すると、初回に調整した数値と合わせた補正値で印刷位置が修正されます。印刷補正値をクリアしたいときは、[初期値] を選択して [終了] をクリックしてください。
- 上記手順で印刷位置を補正しても、レーベル塗布面がディスクの中心とずれている場合は、印刷がレーベル塗布面に対してずれて見えます。

本製品が汚れているときは

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

外装面のお手入れ

- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを払います。
外装面の汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。最後に、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。



注意

- 本製品の内部に水気が入らないように、カバーを閉めた状態で拭いてください。内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本製品の表面や内部が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。本製品の表面を傷付けるおそれがあります。

- 4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

内部のお手入れ

本製品内部やスタッカーにゴミ、ホコリが溜まったり、汚れが付着したりした場合は、柔らかい布を使って汚れを拭き取ってください。

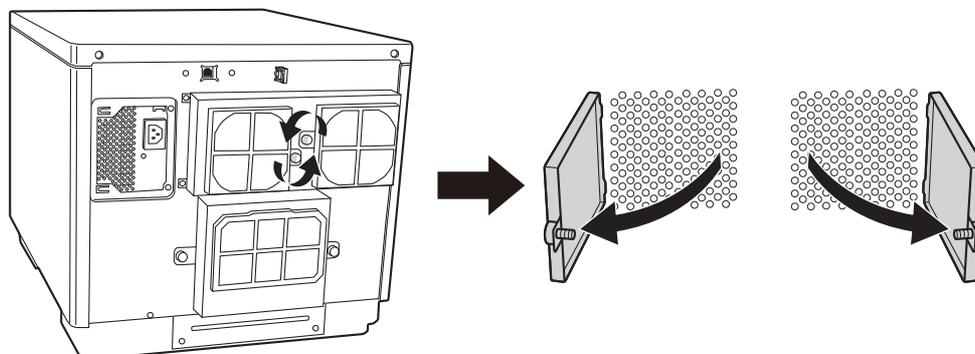
スタッカーにはインクによる汚れが付着する場合があります。付着した汚れは、水または中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから汚れを拭き取ってください。

通風孔のお手入れ(PP-100III/PP-50II のみ)

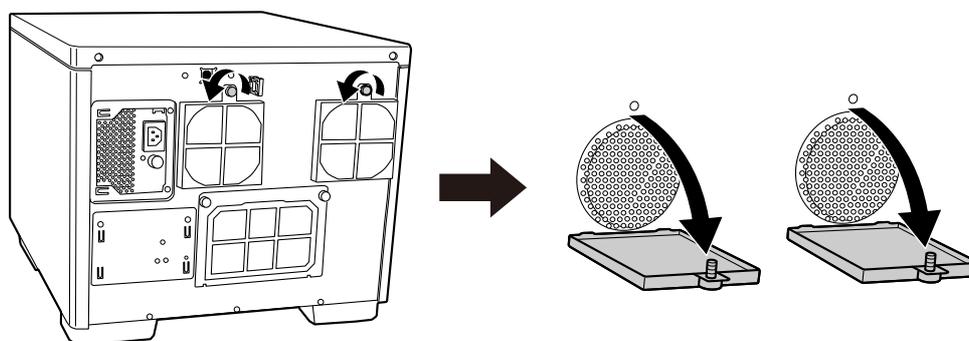
- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。

- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 2 個のネジを緩め、フィルターカバーを取り外します。

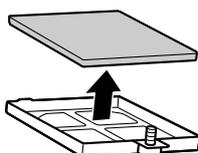
PP-100III の場合



PP-50II の場合

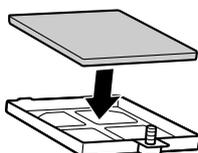


- 4 フィルターカバーからフィルターを取り外します。



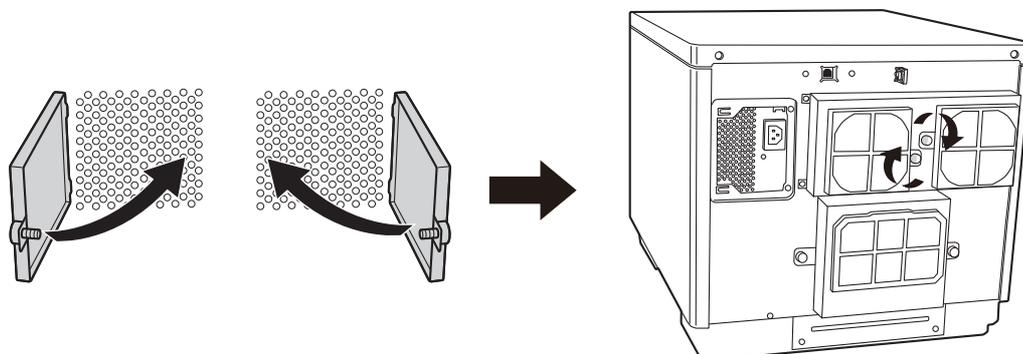
- 5 掃除機で、フィルターのホコリを吸い取ります。

- 6 フィルターをフィルターカバーに入れます。

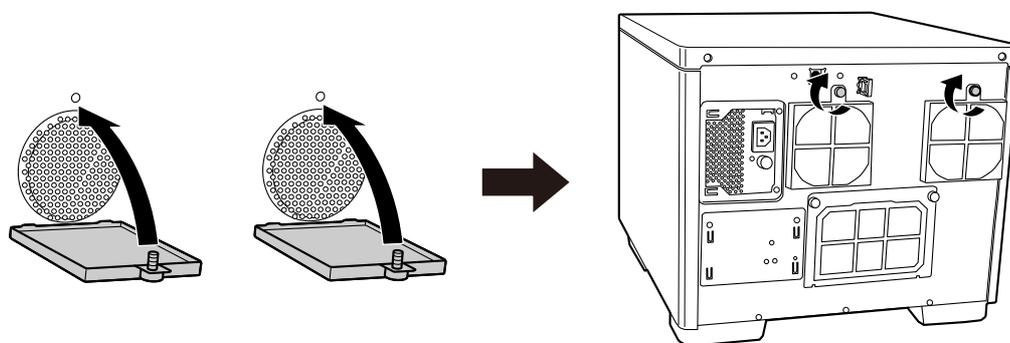


7 フィルターカバーを本製品に取り付けてネジを締めます。

PP-100III の場合



PP-50II の場合



8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

注意

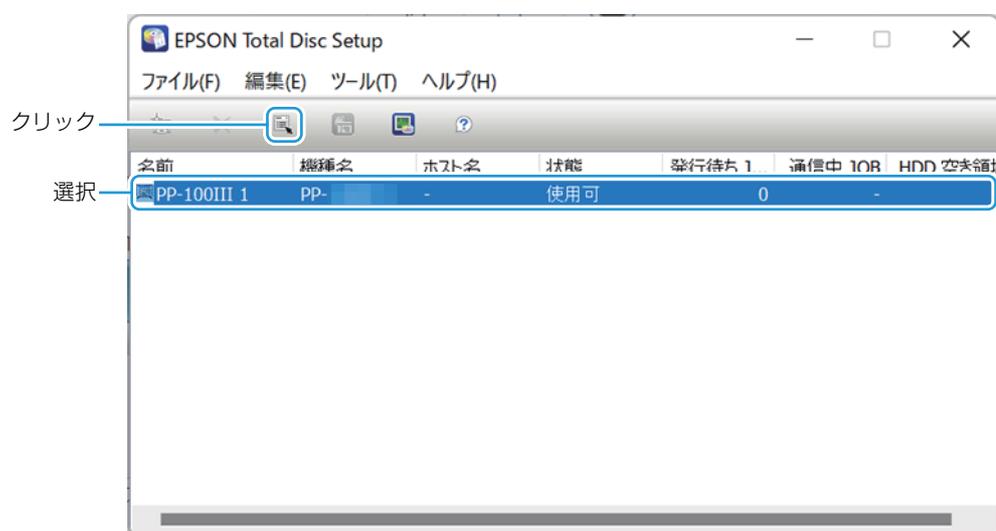
通風孔のお手入れは、定期的（半年に1回）に行ってください。

メンテナンス情報の確認

ここでは、累計印刷枚数、メンテナンスボックスの空き容量、ドライブの使用状況*など、本製品の保守・サポート時に有用な情報の確認方法を説明します。

* : PP-100III/PP-50II のみ

- 1 本製品がパソコンと USB ケーブルで接続され、電源がオンになっていることを確認します。
- 2 EPSON Total Disc Setup を起動します。
起動方法は、本書 11 ページ「EPSON Total Disc Setup の起動」を参照してください。
- 3 本製品を選択し、 [プロパティ] をクリックします。



4 [メンテナンス情報] タブをクリックします。



参考

[プロパティ]画面は、以下の方法でも表示できます。

- EPSON Total Disc Setup の [編集] メニューの [プロパティ] をクリックする。
- EPSON Total Disc Maker の発行ビューの  [プロパティ] をクリックする。

メンテナンス情報が表示されます。

表示内容は、本書 14 ページ [\[\[メンテナンス情報\]画面\]](#) を参照してください。

レポート機能

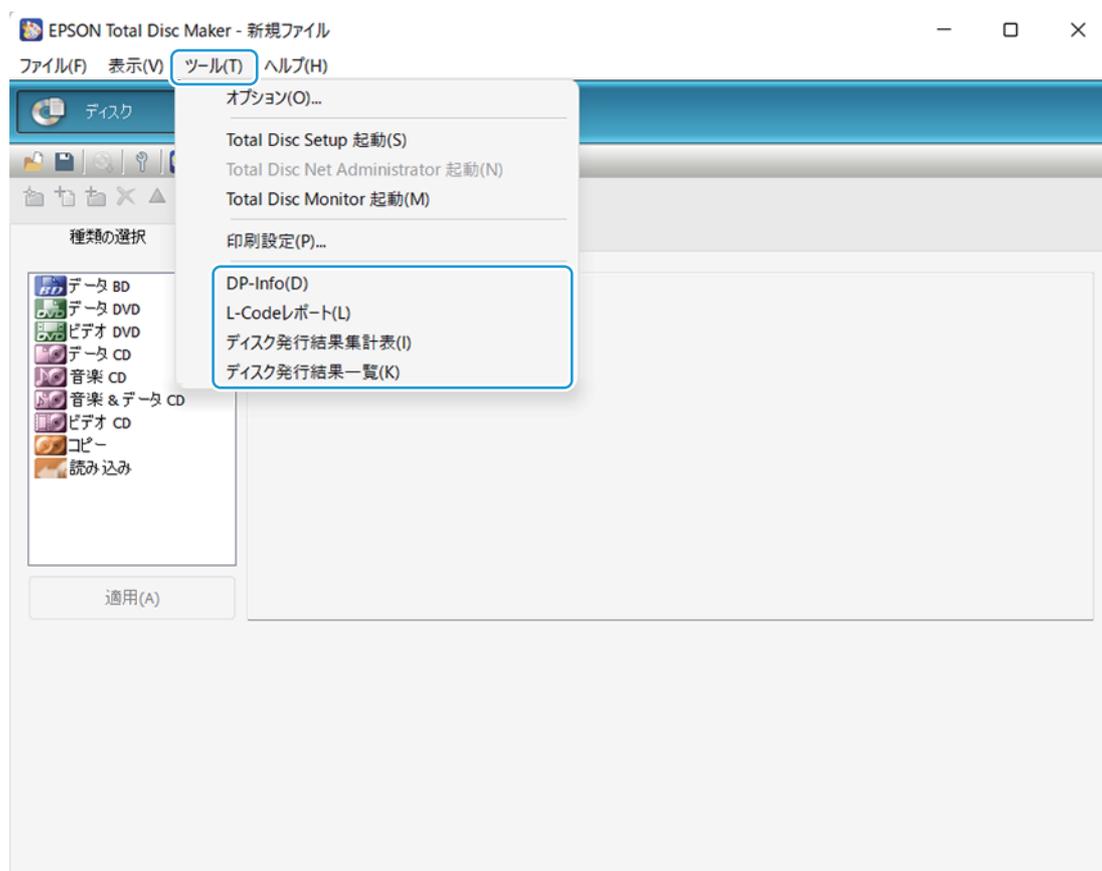
本製品やディスク発行のログ情報を表示します。

用途	機能
サポート窓口にお問い合わせする場合	<ul style="list-style-type: none"> • DP-Info • L-Code レポート • ディスク発行結果集計表 • ディスク発行結果一覧
ディスク発行枚数や発行履歴を確認したい場合	<ul style="list-style-type: none"> • ディスク発行結果集計表
ディスク発行エラーの解析をする場合	<ul style="list-style-type: none"> • ディスク発行結果集計表

「ディスク発行結果一覧」と「ディスク発行結果集計表」は、ネットワーク接続機種とPP-100APでは使用できません。

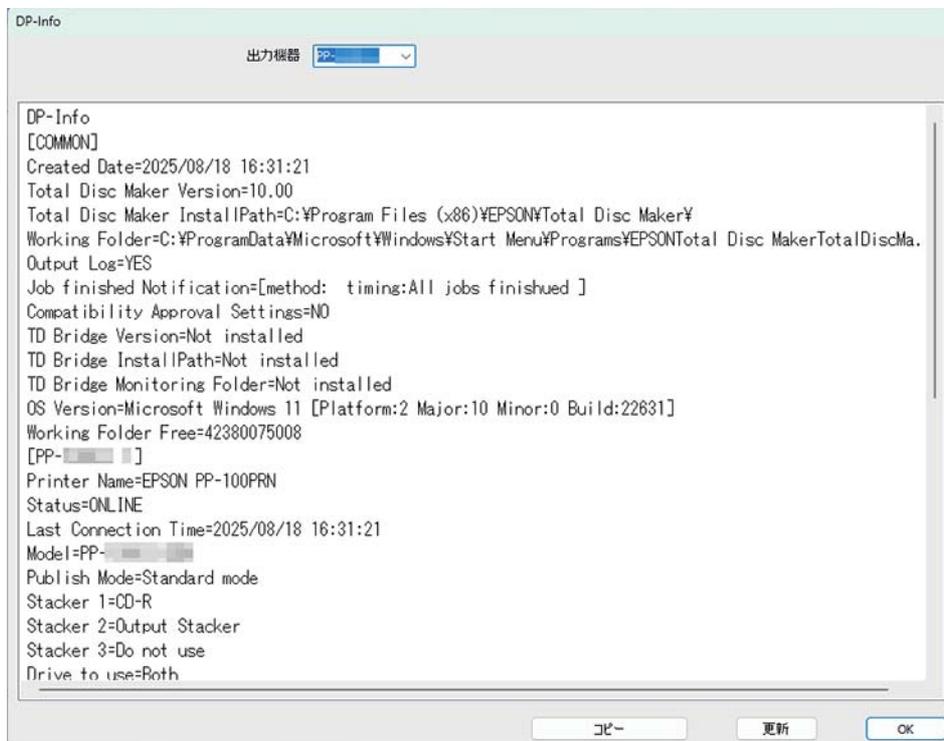
レポート機能の表示

EPSON Total Disc Maker のツールメニューから機能を選択します。



[DP-Info] 画面

ソフトウェアをインストールした PC に関する情報と、接続されている機器に関する情報を表示します。
表示内容は以下のとおりです。



項目	説明
出力機器	情報を取得する機器を選択します。
コピー	表示されている内容を、クリップボードにコピーします。
更新	情報を更新します。
OK	画面を閉じます。

[L-Code] レポート画面

L-Code 履歴ファイルを、日付の新しい順に一覧表示します。

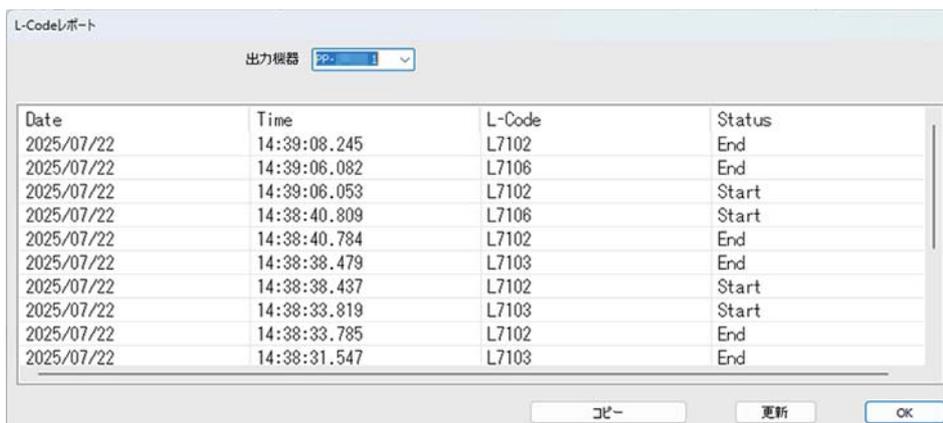
参考

L-Code とは、本製品のエラーコードで EPSON Total Disc Monitor の「デバイスの状態」に表示されます。

このレポートは接続している機器ごとに作成されます。



表示内容は以下のとおりです。



項目	説明
出力機器	L-Code レポートを表示する機器を選択します。
コピー	マウスで選択した行を、クリップボードにコピーします。 コピーされる内容は、本書 131 ページ「コピーされる内容」を参照してください。
更新	L-Code 履歴ファイルを再度読み込みます。
OK	画面を閉じます。

L-Code レポートの記録内容

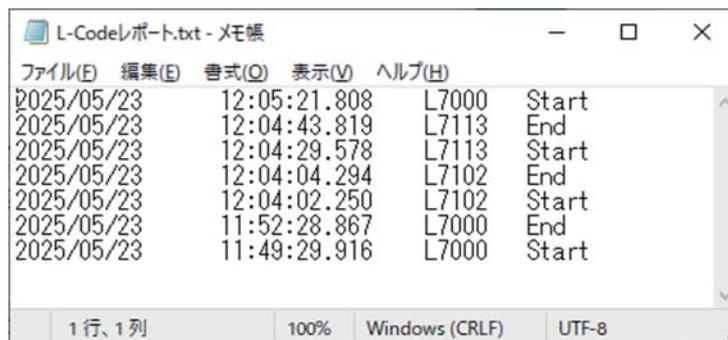
L-Code が発生した日時と終了した日時を記録します。

例)

2025/05/23	09:52:45.718	L7000	End
2025/05/23	09:48:33.570	L7000	Start

コピーされる内容

「コピー」でクリップボードにコピーされる内容は、以下のとおりです。



The screenshot shows a text editor window with the following content:

ファイル(F)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	ヘルプ(H)
2025/05/23	12:05:21.808	L7000	Start	
2025/05/23	12:04:43.819	L7113	End	
2025/05/23	12:04:29.578	L7113	Start	
2025/05/23	12:04:04.294	L7102	End	
2025/05/23	12:04:02.250	L7102	Start	
2025/05/23	11:52:28.867	L7000	End	
2025/05/23	11:49:29.916	L7000	Start	

At the bottom of the window, the status bar shows: 1行、1列 | 100% | Windows (CRLF) | UTF-8

ディスク発行結果集計表

ディスク発行結果履歴ファイルを、ユーザーが指定した期間単位に集計して表示します。

参考

- 本製品のディスクの発行結果の履歴をファイルに記録します。正常に発行された枚数と発行されなかった枚数が、ディスクの種類とドライブ別に表示されます。書き込みエラーが発生したときの解析や、ディスク発行枚数を把握したりすることができます。
- 発行結果は、「成功」、「書き込みエラー」、「キャンセル・ディスク種類違い」、「その他のエラー」に分類されます。
- 印刷のみの場合や、読み込みモードの場合には記録されません。

表示内容は以下のとおりです。

ディスク発行結果集計表									
出力機器 PP-		集計期間 1か月							
< >									
	2025/04			2025/05			総計 (枚数)		
	Drive1	Drive2	合計 (枚数)	Drive1	Drive2	合計 (枚数)	Drive1	Drive2	合計 (枚数)
すべてのディスク									
合計 (枚数)	420	420	840	40	40	80	860	860	1720
成功 (枚数)	420	399	819	40	38	78	860	817	1677
書き込みエラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャンセル・ディスク種類違い (枚数)	0	21	21	0	2	2	0	43	43
その他エラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD									
合計 (枚数)	210	210	420	20	20	40	430	430	860
成功 (枚数)	210	210	420	20	20	40	430	430	860
書き込みエラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャンセル・ディスク種類違い (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他エラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD									
合計 (枚数)	210	210	420	20	20	40	430	430	860
成功 (枚数)	210	189	399	20	18	38	430	387	817
書き込みエラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャンセル・ディスク種類違い (枚数)	0	21	21	0	2	2	0	43	43
その他エラー (枚数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

項目	説明
出力機器	ディスク発行結果履歴ファイルを表示する機器を選択します。
集計期間	集計する期間を選択します。以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「1 か月」(初期設定): 「本日を含む月」「先月」「先々月」を表示します。 ● 「1 週間」: 日曜日から土曜日の7日ごとに集計します。 「本日を含む週」「先週」「先々週」を表示します。 ● 「1 日」: 「本日」「昨日」「一昨日」を表示します。 「<」/「>」ボタンで期間を変更できます。
名前を付けて保存	表示されている内容を、CSV ファイル形式で保存します。出力される内容は本書 134 ページ「CSV ファイルの出力例」を参照してください。
更新	「ディスク発行結果集計表」を再集計します。
OK	画面を閉じます。

ディスク発行結果集計表の項目

項目	説明
<ul style="list-style-type: none"> • YYYY/MM: • YYYY/MM/DD-YYYY/MM/DD • YYYY/MM/DD 	集計する期間です。「集計期間」によって表示が異なります。
総計（枚数）	集計期間中に発行されたディスクの総数です。
Drive1	「Drive1」の発行枚数です。
Drive2*	「Drive2」の発行枚数です。
すべてのディスク	集計期間内に発行された、CD、DVD、DVD-DL、BDの合計枚数です。
合計（枚数）	「成功」、「書き込みエラー」、「キャンセル・ディスク種類違い」、「その他のエラー」を合計した枚数です。
成功（枚数）	正常に書き込みが終了したディスクの枚数です。
書き込みエラー（枚数）	以下の状態のいずれかになったディスクの枚数です。 <ul style="list-style-type: none"> • ディスクへの書き込処理がエラーになった。 • 書き込み後のコンペアがエラーになった。
キャンセル・ディスク種類違い（枚数）	以下の状態のいずれかになったディスクの枚数です。 <ul style="list-style-type: none"> • 指定されたディスクとドライブに搬送されたディスクの種類が異なる、または、未対応ディスク。 • ドライブに搬送されたディスクがブランクディスクではない。 • ユーザーによるジョブキャンセル、または、他で発生したエラーのため書き込みがキャンセルされた。
その他エラー（枚数）	その他のエラーになったディスクの枚数です。

* PP-100IIIのみ

ディスク発行結果集計表の活用例

故障診断：書き込みエラーが発生する場合	<ul style="list-style-type: none"> • 集計期間を「1か月」にして、前の月とエラー数を比較。エラー数が増えていたら、集計期間を短くして、エラーがいつから発生したかを確認する。 • エラーが特定のディスク種類に集中していないか確認する。 • エラーが特定のドライブに集中していないか確認する。
ディスク発行枚数管理	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に行行したディスクの枚数を確認。 • 使用したディスク枚数や、インク使用量を推定するためのデータとして活用。

CSV ファイルの出力例

「名前を付けて保存」で出力される CSV ファイルの出力例は、以下のとおりです。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Aggregated period	Media type	Drive	Total (discs)	Success (discs)	Write error (discs)	Cancel and Different disc types (discs)	Other error (discs)
2	Sep-25	CD	Drive1	0	0	0	0	0
3	Sep-25	CD	Drive2	0	0	0	0	0
4	Sep-25	DVD	Drive1	0	0	0	0	0
5	Sep-25	DVD	Drive2	0	0	0	0	0
6	Sep-25	DVD DL	Drive1	0	0	0	0	0
7	Sep-25	DVD DL	Drive2	0	0	0	0	0
8	Sep-25	BD	Drive1	0	0	0	0	0
9	Sep-25	BD	Drive2	0	0	0	0	0
10	Sep-25	BD DL	Drive1	0	0	0	0	0
11	Sep-25	BD DL	Drive2	0	0	0	0	0
12	Aug-25	CD	Drive1	0	0	0	0	0
13	Aug-25	CD	Drive2	0	0	0	0	0
14	Aug-25	DVD	Drive1	0	0	0	0	0
15	Aug-25	DVD	Drive2	0	0	0	0	0
16	Aug-25	DVD DL	Drive1	0	0	0	0	0

ディスク発行結果一覧

ディスク発行結果を日付の新しい順に一覧表示します。

表示内容は以下のとおりです。

PublishDate	PublishTime	DiscID	WriteType	MediaType	Drive	WriteSpeed	WriteDataSize	Result	ErrorDetail
2025/08/01	13:21:52.363	4	Data	CD-R	Drive2	x40	378880	DC_ERR_NOT_BLANKDISC	CD-ROM
2025/08/01	13:21:20.411	3	Data	CD-R	Drive1	x40	378880	DC_ERR_NOT_BLANKDISC	CD-ROM
2025/08/01	13:20:47.455	2	Data	CD-R	Drive2	x40	378880	DC_ERR_NOT_BLANKDISC	CD-ROM
2025/08/01	13:19:46.393	1	Data	CD-R	Drive1	x40	378880	DC_SUCCESS	

項目	説明
出力機器	情報を取得する機器を選択します。
コピー	表示されている内容を、クリップボードにコピーします。
更新	情報を更新します。
OK	画面を閉じます。

メンテナンスボックスの交換(PP-100III/PP-100APのみ)

メンテナンスボックスとは、ヘッドクリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。メンテナンスボックスの空き容量がなくなると、発行（書き込み、印刷、読み込み）ができなくなります。その場合は、メンテナンスボックスの交換が必要です。

交換時期の確認方法

メンテナンスボックスの空き容量は、EPSON Total Disc Setup で確認できます。(本書 126 ページ「メンテナンス情報の確認」参照)

メンテナンスボックスの交換時期が近付くとー

- EPSON Total Disc Monitor に、「メンテナンスボックスの交換時期が近づきました。新しいメンテナンスボックスを準備してください。」というメッセージが表示されます。メッセージは、1 日 1 回 EPSON Total Disc Monitor の起動時に表示されます。EPSON Total Disc Monitor については、本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor」を参照してください。

メンテナンスボックスが交換時期になるとー

- 操作パネルのすべてのインクランプが速い点滅を始めます。
- EPSON Total Disc Monitor に、「メンテナンスボックスの交換時期になったため、これ以上印刷できません。メンテナンスボックスを交換してください。純正品のご使用をお勧めします。」というメッセージが表示されます。

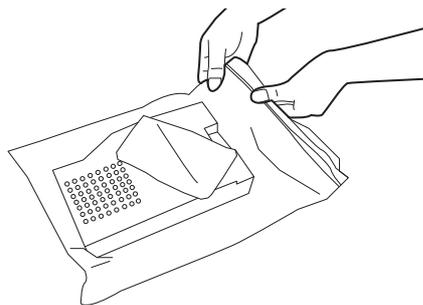
交換方法

メンテナンスボックスを交換するときは、必ずフィルターも同時に交換してください。

メンテナンスボックスの型番は、本書 195 ページ「メンテナンスボックス (PP-100III/PP-100APのみ)」を参照してください。フィルターはメンテナンスボックスに添付されています。

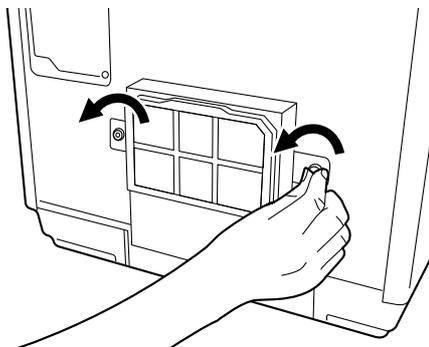
注意

- エプソン純正のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のメンテナンスボックスを使用すると、保証外の障害を生じるおそれがあります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。
- 製品から取り外した状態で長時間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。
- 使用済みのメンテナンスボックスとフィルターは、メンテナンスボックスに添付されているビニール袋に入れ、資源の有効活用と地球環境保全のため、回収にご協力ください。回収方法は、本書 195 ページ「メンテナンスボックス (PP-100III/PP-100APのみ)」を参照してください。

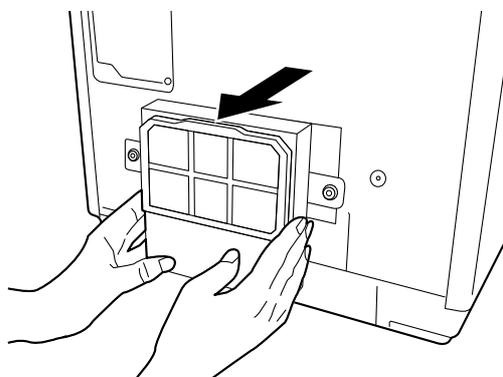


メンテナンスボックスの交換

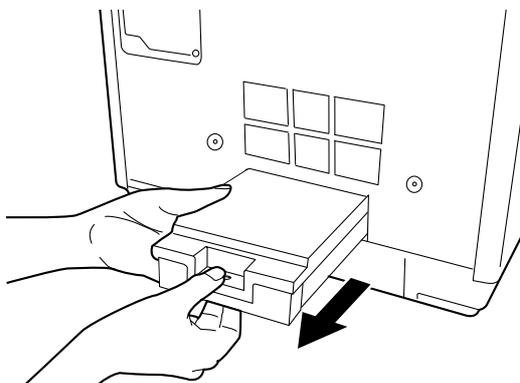
- 1 背面の2個のネジを緩めます。



- 2 メンテナンスボックスカバーを取り外します。



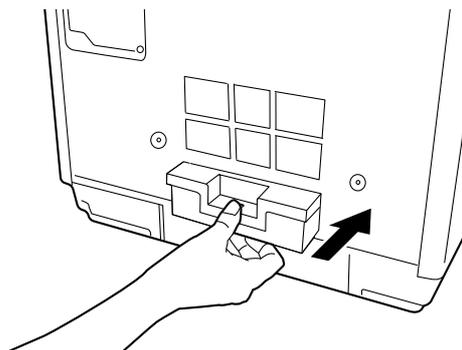
- 3 使用済みのメンテナンスボックスを引き抜きます。



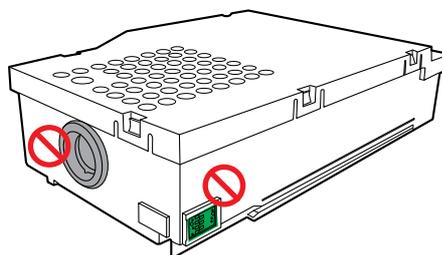
注意

- 使用済みのメンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

4 新しいメンテナンスボックスを押し込みます。

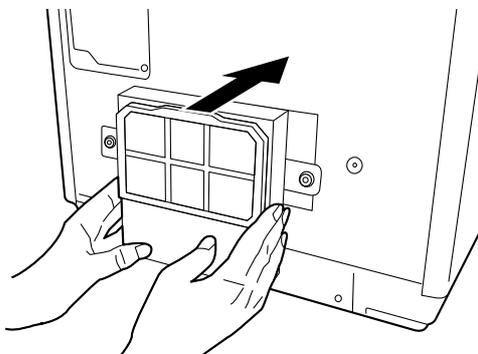
**注意**

- メンテナンスボックスに付いている緑色の基板部分およびインク排出口部分には触れないでください。

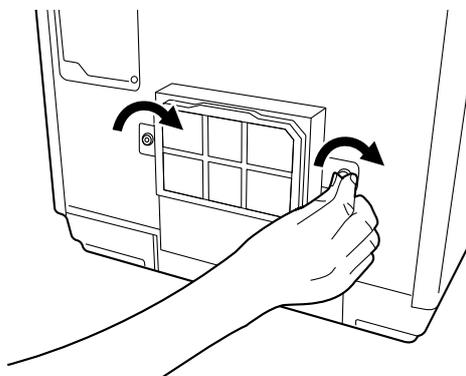


- セットしたメンテナンスボックスを、繰り返し抜き差ししないでください。吸収材の一部が製品内部に落ちるおそれがあります。

5 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。



6 2 個のネジを締めます。



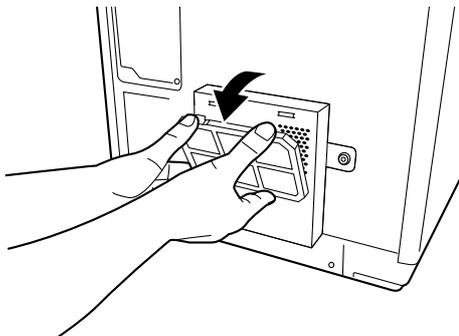
メンテナンスボックスを交換したら、必ずフィルターも同時に交換してください。(本書 138 ページ「フィルターの交換」参照)

フィルターの交換

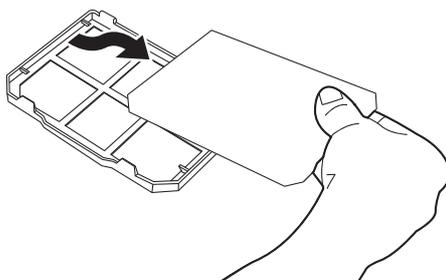
注意

メンテナンスボックスカバーやフィルターカバーに付着したインクが付くおそれがありますので、メンテナンスボックスカバー、フィルターカバーの取り扱いにはご注意ください。

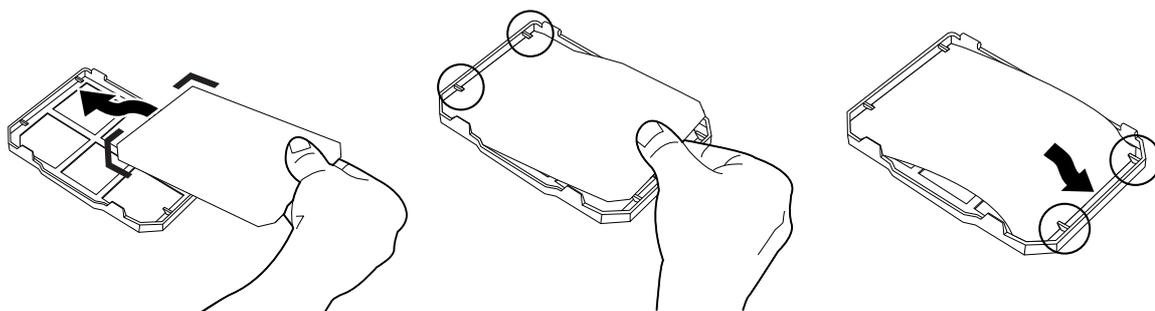
- 1 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーから取り外します。



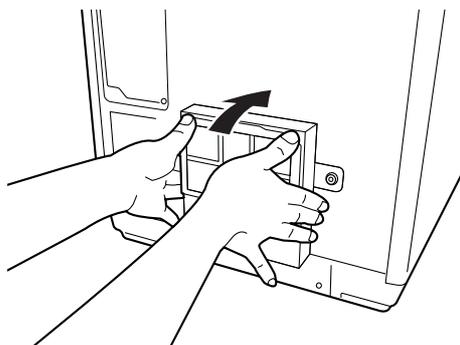
- 2 フィルターカバーからフィルターを取り外します。



- 3 新しいフィルターをフィルターカバーに入れます。



- 4 フィルターカバーをメンテナンスボックスカバーに取り付けます。



インク吸収材の交換(PP-50IIのみ)

インク吸収材とは、ヘッドクリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。インク吸収材が交換時期になると発行ができなくなります。その場合は、インク吸収材の交換が必要です。

交換時期の確認方法

インク吸収材の空き容量は、EPSON Total Disc Setup で確認できます。(本書 126 ページ「メンテナンス情報の確認」参照)

インク吸収材の交換時期は、以下のどちらかの方法で知ることができます。

- EPSON Total Disc Monitor の [デバイスの状態] に、「インク吸収材の交換時期が近づきました。早めの交換をお勧めします。交換に関しては、サポートにお問い合わせください。」というメッセージが表示されたら、インク吸収材の交換時期が近づいています。メッセージは、1 日 1 回 EPSON Total Disc Monitor の起動時に表示されます。EPSON Total Disc Monitor については、本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor」を参照してください。
- 操作パネルの全ランプが点灯したら、インク吸収材の交換時期です。

インク吸収材の交換方法

インク吸収材は、お客様ご自身による交換はできません。エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。

参考

エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。

ドライブの交換(PP-100IIIのみ)

ドライブが寿命に達し交換時期になると、書き込みエラーや読み込みエラーが起きやすくなります。その場合は、ドライブを交換してください。また、ドライブは寿命前でも交換することができます。

PP-100IIIは、お客様ご自身によるドライブ交換が可能です。交換用の本製品専用ドライブとして、BDドライブをご購入いただけます。

注意

- PP-50IIでは、お客様ご自身によるドライブの交換は絶対に行わないでください。
- ドライブの交換は、必ずドライブに添付されている取扱説明書の指示に従って行ってください。
- ドライブ 1、ドライブ 2 のどちらかでも装着されていない場合、本製品は動作しません。
- ドライブの交換は、ドライブ 1、ドライブ 2 のそれぞれ 40 回以内に行ってください。40 回を超えて交換すると、ドライブコネクタが破損し、ドライブおよび本製品が破損するおそれがあります。
- BDE-PR1EPでは、BD-R XLに対応していません。

交換時期の確認方法

ドライブの使用状況は、EPSON Total Disc Setup で確認できます。(本書 126 ページ「メンテナンス情報の確認」参照)

ドライブの交換時期が近付くと、EPSON Total Disc Monitor に、「ドライブ 1 (または 2) の交換時期が近づいています。交換時期になると書き込み品質が低下するおそれがあります。新しいドライブのご購入をお勧めします。」というメッセージが表示されます。メッセージは、1 日 1 回 EPSON Total Disc Monitor の起動時に表示されます。EPSON Total Disc Monitor については、本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor」を参照してください。

ドライブが交換時期になると、EPSON Total Disc Monitor に、「ドライブ 1 (または 2) の交換時期になりました。新しいドライブへの交換をお勧めします。」というメッセージが表示されます。

交換方法

ドライブの交換方法は、ドライブに添付されている取扱説明書をご覧ください。

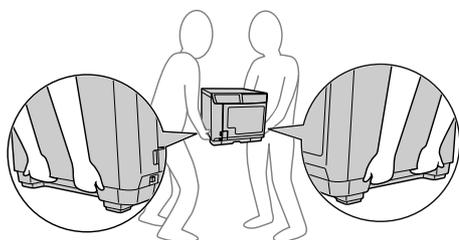
ドライブの型番は、本書 195 ページ「ドライブ (PP-100IIIのみ)」を参照してください。

本製品輸送時のご注意

本製品を輸送するときは、本製品を衝撃などから守るため、必ず本製品が梱包されていた箱と保護材を使用してください。保護材の取り付けは、「スタートアップガイド」の「保護材の取り外し」を参考に行ってください。

注意

- 本製品内にディスクが残っていないことを確認してください。
- 使用中のインクカートリッジは、絶対に取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- PP-100IIIのみ：
必ずドライブ 1 とドライブ 2 を本体から取り外してください。ドライブをつけたまま輸送すると、ドライブおよび本体が変形または破損するおそれがあります。
- PP-100III/PP-100APのみ：
メンテナンスボックスは、絶対に取り外さないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 保護材取り付け時、および輸送時には、本製品を傾けたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
- **本製品を持ち上げる際は、必ず 2 人で持ち上げてください。**



本製品の重さは、PP-100III が約 24kg、PP-100AP が約 22kg、PP-50II が約 21kg です。本製品を持ち上げる際は、左図のように本製品を 2 人で挟み、本製品側面のくぼみを持って持ち上げてください。左図以外の部分に手を掛けて運ぶと本製品が破損する原因となります。特にディスクカバー、インクカートリッジカバー、PP-100III/PP-100AP のスタッカー 4 を開けた状態

で持つと、製品を落とす危険性、および変形、破損するおそれがあります。

また、本製品を置くときは、本製品と設置面の間に指を挟まないように注意してください。

- **本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。**無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本製品が破損する原因となります。
- **本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。**転倒などによる事故の原因となります。
- **本製品の天面に重いものを載せないでください。**本製品に無理な力が掛かると故障の原因となります。ただし、PP-100III/PP-100AP の場合、2 台重ねて使用することは可能です。本製品を載せるときは、上下同じ向きで、外形を合わせて載せてください。その際、**落下、転倒には十分ご注意ください。また、2 台以上は載せないでください。**

- 1 本製品の電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源コードと USB ケーブルを取り外します。
- 3 PP-100III では、ドライブ 1 とドライブ 2 を取り外します。
ドライブの取り外し方法は、ドライブに添付されている取扱説明書を参照してください。

- 4 アームに保護材を取り付け、テープで固定します。
- 5 スタッカー 1、スタッカー 2、スタッカー 3 (PP-100III/PP-100AP のみ) を取り付け、テープで固定します。
- 6 インクカートリッジカバーを開け、インクカートリッジをテープで固定します。
- 7 インクカートリッジカバー、ディスクカバー、およびスタッカー 4 (PP-100III/PP-100AP のみ) を閉め、テープで固定します。
- 8 本製品の底面を下にして、水平にした状態で梱包箱に入れます。

困ったときは

トラブルと対処法

参考

EPSON Total Disc Maker のヘルプ、弊社ウェブサイトも併せてご参照ください。

電源 / 操作パネルのトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
電源が入らない	電源ボタンを少し長めに押してください。 電源ボタンを 1 秒以上押した後放します。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれたりしていないかを確認してください。
	テーブルタップなどを使用していませんか？ 電源プラグは直接壁のコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？ ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかを確認してください。
電源が切れない	電源ボタンを 3 秒以上押し続けてください。 それでも電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源ランプが消灯したのを確認してから、電源プラグをコンセントに接続し、もう一度電源を入れて、必ず電源ボタンで電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする可能性があります。
電源をオンにすると、ガタガタと音がする	内部に異物（輸送用の青い保護テープなど）が入っていませんか？ 電源ボタンを押して電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認してください。
操作パネルのランプが点滅 / 点灯する	エラーの可能性があります。 エラー内容と対処方法は、本書 151 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」を参照してください。

ディスク搬送(供給 / 排出)のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
アームが動かない	<p>内部に異物はありませんか？</p> <p>電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。</p> <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>
ディスクが搬送されない	<p>- ディスクがスタッカーから搬送されない場合 -</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ディスクカバーを開けます。 ② 供給元のスタッカーからディスクを取り出します。 ③ ディスク同士が貼り付いている場合があるため、よくばらしてセットし直します。 ④ ディスクカバーを閉めます。 ⑤ 再度ディスクの発行を行います。 <p>- ディスクがドライブトレイまたはプリンタートレイから搬送されない場合 -</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにします。 ② トレイからディスクを取り除きます。 <p>トレイからディスクを取り除く方法は、本書 167 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 本製品の電源をオンにします。 ④ 再度ディスクの発行を行います。 <p>- アームがディスクをピック (つかむこと) している場合 -</p> <p>ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。アームからディスクを取り外す場合は、本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにして、本製品の初期化動作によって取り外してください。それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>
ディスクが出てこない	<p>内部に異物はありませんか？</p> <p>電源をオフにしてからディスクカバーを開け、内部に異物が入っていないか確認した後、電源をオンにしてください。</p> <p>それでも解決しないときは、本書 167 ページ「ディスクが出てこない」を参照してください。</p>
重送エラーを解除できない	<p>ディスクに問題はありますか？</p> <p>ディスクの厚みや反りによっては、ディスクが複数枚搬送されていなくても重送エラーが発生する場合があります。その場合は、下記の手順で重送エラーを解除し、別のディスクに交換して再度お試しください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ディスクカバーを開けます。 ② トレイからディスクを取り除きます。 ③ 供給元のスタッカーからディスクを取り出します。 ④ 別のディスクを供給元スタッカーにセットします。 ⑤ ディスクカバーを閉めると、JOB が再開されます。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>

ディスク書き込み / 読み込みのトラブル(PP-100III/PP-50II のみ)

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
書き込み / 読み込みエラーが発生する	<p>ディスクにキズや汚れがありませんか？ キズや汚れがあるディスクは使用できません。別のディスクと交換してください。</p>
	<p>ディスクによってはデータ記録面の品質にばらつきがあることがあります。別のディスクに交換して、再度お試しください。</p>
	<p>背面の冷却用ファンフィルターにホコリが付いていませんか？ フィルターを清掃してください。 詳細は、本書 123 ページ「通風孔のお手入れ (PP-100III/PP-50II のみ)」を参照してください。</p>
	<p>ディスク発行中に、パソコンに別の USB 機器を接続しましたか？ ディスク発行中に別の USB 機器をパソコンに接続すると一時的に本製品とパソコンの接続が中断されてしまい、書き込みエラーとなってしまう場合があります。 ディスクの発行処理が終了してから USB 機器の接続をお願いします。</p>
ディスクに書き込めない / ディスクが読み込めない	<p>ディスクのセッションが閉じられていないディスクを使用していませんか？ ディスクのセッションが閉じられていないディスクは読み込めません。</p>
	<p>ディスクは正しく取り扱っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスクは、ディスクの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。 • 粘着性のあるシールをディスクに貼り付けないでください。データの記録、再生ができなくなる可能性があります。 • 本製品をホコリ、煙の多い場所で使用しないでください。ドライブの動作不良の原因となります。 <p>ディスクの取り扱いについては、本書 32 ページ「ディスクの取り扱い」を参照してください。</p>
	<p>発行中にカバーを開けたり、衝撃を与えたりしていませんか？ ディスク発行中は、本製品に衝撃を与えないでください。ドライブが故障したり、ディスクが使用できなくなったりする可能性があります。 また、発行中はカバーを開けないでください。ディスクの印刷 / 書き込み / 読み込み品質に影響を与えることがあります。カバーを開けるときは、EPSON Total Disc Monitor で JOB を一時停止してから開けてください。</p>
	<p>ご使用のパソコンは、本製品の動作環境に対応していますか？ 本製品は、動作環境に対応したパソコンに接続し、使用してください。 詳細は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。</p>
	<p>プリンタートレイが汚れていませんか？ プリンタートレイを清掃してください。 詳細は、本書 175 ページ「ディスクの記録面がインクで汚れる」を参照してください。</p>

参考

EPSON Total Disc Maker でのディスク発行時に [書き込み確認] で [コンペア] に設定すると、ディスクに正しくデータが書き込まれたどうか確認できます。詳細は、EPSON Total Disc Maker のヘルプを参照してください。

レーベル印刷のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
<ul style="list-style-type: none"> • かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い（ギザギザしている） 	<p>プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？</p> <p>ノズルチェックでプリントヘッドの状態を確認し、目詰まりしていたらヘッドクリーニングを行ってください。</p> <p>詳細は、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本書 115 ページ「ノズルチェック」 • 本書 117 ページ「ヘッドクリーニング」
	<p>インクカートリッジは、推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？</p> <p>本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。</p>
	<p>古くなったインクカートリッジを使用していませんか？</p> <p>古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が低下します。インクカートリッジの使用期限は、インクカートリッジの個装箱またはインクカートリッジに貼られているラベルに記載されています。開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。</p>
	<p>双方向印刷時のプリントヘッドのギャップにズレがありませんか？</p> <p>双方向印刷に設定すると、高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときもインクを吐出しますが、まれに右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。</p> <p>詳細は、本書 119 ページ「ギャップ調整」を参照してください。</p>
	<p>厚みの異なるディスクを使用していませんか？</p> <p>ディスクは各製品によって、厚みが異なります。厚みの異なるディスクを使用すると、プリントヘッドのギャップがずれる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレを確認・調整してください。複数枚のディスクを発行するときは、同じ製品種類のディスクを使用することをお勧めします。</p> <p>詳細は、本書 119 ページ「ギャップ調整」を参照してください。</p>
	<p>インクジェットプリンター用のディスクに印刷していますか？</p> <p>本製品に対応するディスクは、インクジェットプリンター用ディスクです。熱転写プリンター用ディスクには対応していません。また、印刷するディスクの品質により、印刷の品質が異なる場合があります。エプソン推奨ディスクのご使用をお勧めします。</p> <p>詳細は、本書 194 ページ「エプソン推奨ディスク」を参照してください。</p>
	<p>ディスクに汚れはありませんか？</p> <p>レーベル面に付いたホコリ、汚れなどは柔らかい布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、および静電防止剤は使用しないでください。</p> <p>詳細は、本書 32 ページ「ディスクの取り扱い」を参照してください。</p>
	<p>印刷面を十分に乾かしていますか？</p> <p>印刷済みディスクのインクが乾くまでは、印刷面に他のディスクなどが接触しないようにしてください。接触部分に跡が残ることがあります。</p>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
<ul style="list-style-type: none"> • かすれる • スジや線が入る • ぼやける • 文章や線がガタガタになる • 色合いがおかしい • 印刷されない色がある • 印刷にムラがある • モザイクがかかったように印刷される • 印刷の目が粗い (ギザギザしている) 	<p>インク乾燥時間を短く設定していませんか？ インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 詳細は、本書 22 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。</p> <p>パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？ ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色は、発色方法が異なるため、色合いに差異が生じます。</p>
<p>ディスクの印刷領域に正しく印刷されない</p>	<p>印刷領域の内径と外径を、印刷するディスクの印刷領域に合わせて設定してください。 詳細は、本書 33 ページ「印刷可能領域」を参照してください。また、内径・外径の設定手順は、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンタードライバーで設定する場合：本書 83 ページ「定形外レーベルサイズのディスクに印刷する」 • EPSON Total Disc Maker で設定する場合：EPSON Total Disc Maker のヘルプ
<p>印刷位置がずれる</p>	<p>印刷位置がずれるときは、印刷位置補正をしてください。 詳細は、本書 121 ページ「印刷位置補正」を参照してください。</p>
<p>ディスクの記録面がインクで汚れる</p>	<p>インク乾燥時間を短く設定していませんか？ インク乾燥時間とは、レーベル印刷が完了した後、ディスクのインクをプリンタートレイ内で乾燥させるための時間です。インク乾燥時間を長めに設定してください。 詳細は、本書 22 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください。</p> <p>プリンタートレイが汚れていませんか？ ディスクの記録面がインクで汚れるときは、プリンタートレイが汚れている場合があります。プリンタートレイの汚れを拭き取ってください。 プリンタートレイのお手入れの方法は、本書 175 ページ「ディスクの記録面がインクで汚れる」を参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 印刷後、レーベル面のインクが付着する / はがれる • ディスクが貼り付く 	<p>印刷推奨領域を超えて印刷していませんか？ 印刷推奨領域を超えて印刷すると、印刷後、レーベル面のインクが付着したり、はがれたり、ディスク同士が貼り付く場合があります。 詳細は、本書 33 ページ「印刷可能領域」を参照してください。</p>

その他のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ソフトウェアがインストールできない	<p>USB ケーブルが外れていませんか？ USB ケーブルがしっかり接続されているかを確認してください。</p>
	<p>USB ケーブルは同梱品を使用していますか？ 本製品に同梱の USB ケーブルを使用してください。</p>
	<p>HDD の空き容量は十分ですか？ HDD の空き容量が十分に確保されていないと、ソフトウェアはインストールできません。HDD の空き容量を確認し、少ない場合は空き容量を増やしてください。 また、ソフトウェアが正常に動作するためにも、十分な HDD の空き容量が必要です。 ソフトウェアの動作条件は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアの動作条件」を参照してください。</p>
	<p>「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）で Windows にログオンしていますか？ インストールするには、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。ユーザー権限でログオンするとインストールできません。なお、管理者のパスワードまたは確認を求められる場合があります。パスワードを求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。</p>
	<p>USB ハブを使用していないですか？ USB ケーブルは、USB ハブを中継せずにパソコンと直接接続してください。</p>
	<p>パソコンに接続した本製品の電源をオンにした状態でインストールしていませんか？ ソフトウェアをインストールするときは、必ず本製品の電源をオフにしてインストールを開始してください。</p>
	<p>EPSON Total Disc Maker を古いバージョンにダウングレードする場合は、インストールされている EPSON Total Disc Maker をアンインストールしてから古いバージョンの EPSON Total Disc Maker をインストールしてください。</p>
<p>ドライブが使用できない (PP-100III/PP-50II のみ)</p>	<p>ドライブの使用が停止されていませんか？ ドライブの使用が停止されている可能性があります。ドライブ使用の再開方法は、「スタートアップガイド」の「本製品のプロパティ設定」を参照してください。</p>

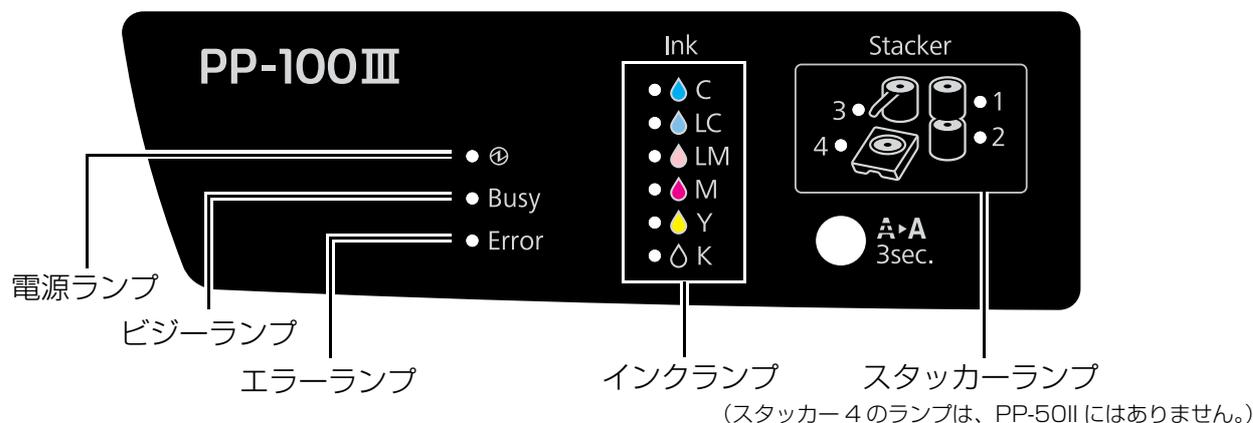
症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	クリーニングボタンを少し長めに押してください。
	<p>本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。</p>
	<p>インク残量は十分ありますか？ 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 インクカートリッジの交換方法は、本書 112 ページ「インクカートリッジの交換方法」を参照してください。</p>
連続して印刷をしている途中で印刷速度が遅くなった	<p>長時間印刷を続けると、ディスクの搬送や印刷が一時的に停止することがあります。これは、製品のオーバーヒートや損傷を防ぐために印刷スピードが抑えられているためです。 この場合、印刷を続けることは可能ですが、製品の動作を停止させ、電源を入れたまま 30 分程度放置することをお勧めします。（電源オフの状態では、約 3 時間で通常の状態に復帰します。）</p>
ディスクを発行できない	本書 163 ページ「ディスクが発行できない」 を参照してください。

ランプが点滅 / 点灯している

ランプの点滅 / 点灯の組み合わせで、本製品の状態を確認します。

注意 エラー発生後にレーベル印刷を行うときは、必ずノズルチェックをしてプリントヘッドの状態を確認してください。
ノズルチェックの詳細は、本書 115 ページ「ノズルチェック」を参照してください。

参考 エラーの内容および対処方法は、EPSON Total Disc Monitor の [操作ガイダンス] でも確認できます。
詳細は、EPSON Total Disc Monitor ののヘルプを参照してください。



本書では、ランプの状態を以下の記号で表示しています。



正常な状態

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	電源がオンの状態です。 発行できます。
●	◐	●	●	●	●	●	●	JOB 実行中です。 登録されている JOB がすべて終了するまで、しばらくお待ちください。
◐	●	●	●	●	●	●	●	初期化中です。 動作が終了するまでしばらくお待ちください。
⚡	●	●	●	●	●	●	●	終了処理中です。 電源が切れるまでしばらくお待ちください。
●	⚡	●	●	●	●	●	●	スタッカー 4 に排出動作中です。 スタッカー 4 を引き出さないでください。

エラー状態

カバーに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いています。 ディスクカバーまたはインクカートリッジカバーを閉めてください。</p> <p>JOB 実行中にディスクカバーまたはインクカートリッジカバーが開いたため、JOB が復帰待ち処理中になっています。 JOB が復帰待ち状態になるまでしばらくお待ちください。</p>

ディスクの搬送に関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>アームがディスクのピック（つかむこと）に失敗しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ディスクカバーを開け、供給元スタッカーのディスクをよくばらします。 ② ディスクカバーを閉め、ディスクを再発行します。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <p>アームが複数枚のディスクを搬送しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ディスクカバーを開けます。 ② ドライブトレイとプリンタートレイ上のすべてのディスクを取り除きます。 ③ ディスク同士の貼り付きを防ぐため、供給元スタッカーのディスクをばらします。 ④ ディスクカバーを閉め、ディスクを再発行します。 <p>ディスクを取り出さずに電源をオン / オフしないでください。本製品が故障するおそれがあります。</p>

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>アームが搬送中にディスクを落としたか、エラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにします。 ② ディスクを取り除きます。 ③ 本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <p>アームがディスクの排出に失敗しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにします。 ② ディスクを取り出します。 <p>アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。</p> <p>アームが掴んでいるディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。</p> <p>それでもエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 <p>ディスクがドライブやプリンタートレイ内に取り残された場合は、本書 167 ページ「ディスクが出てこない」を参照し、ディスクを取り出してください。</p> <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <p>内部エラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにします。 ② ディスクカバーを開け、内部に異物があれば取り除き、ディスクカバーを閉めます。 <p>アームがディスクをピック（つかむこと）している場合は、ディスクを手で取り除かないでください。アームが破損する可能性があります。</p> <p>アームが掴んでいるディスクを取り外す場合は、必ず再度電源をオンにし、本製品の初期化動作によって取り外してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 本製品の電源をオンにし、ディスクを再発行します。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>

スタッカーに関するエラー

注意

供給元スタッカーのディスクがなくなるとスタッカーランプが点滅しますが、点滅開始のタイミングはディスクがなくなるタイミングより少し前後することがあります。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	標準モード、外部排出モード、読み込みモードで、スタッカー3を[使用しない]に設定しているときに、スタッカー3がセットされています。 スタッカー3を取り外してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー1が正しくセットされていません。 スタッカー1が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー1を正しくセットしてください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー2が正しくセットされていません。 スタッカー2が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー2を正しくセットしてください。
●	●	●	●	●	●	●	●	バッチ処理モード時、または次の場合にスタッカー3が正しくセットされていません。 <ul style="list-style-type: none"> 標準モードでスタッカー3を[使用する]に設定しているとき 外部排出モードでスタッカー3を[排出先]に設定しているとき 読み込みモードでスタッカー3を[エラーディスク排出先]に設定しているとき スタッカー3が正しくセットされているかを確認し、セットされていない場合はスタッカー3を正しくセットしてください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー1のディスクがなくなりました。 スタッカー1にディスクを補充してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー2（供給元として使用）のディスクがなくなりました。 スタッカー2（供給元）にディスクを補充してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー1のディスクが多すぎます。 セットしたディスクがスタッカーの赤い点線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー2（供給元として使用）のディスクが多すぎます。 セットしたディスクがスタッカーの赤い点線以下になるように、余分なディスクを取り除いてください。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー 2 (排出先として使用) のディスクがフル (一杯) になりました。 スタッカー 2 (排出先として使用) に排出された作成済みディスクを取り出してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー 3 のディスクが多すぎます。 スタッカー 3 のディスクをすべて取り出してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー 3 がフル (一杯) になりました。 JOB の終了後、スタッカー 3 の作成済みディスクを取り出してください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー 4 がフル (一杯) になりました。 スタッカー 4 から作成済みディスクを取り除いてください。
●	●	●	●	●	●	●	●	スタッカー 4 が引き出されています。 スタッカー 4 を閉めてください。

インクに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	点滅している色のインクの残量が少なくなりました。 新しいインクカートリッジを用意してください。インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。
●	●	●	●	●	●	●	●	点灯している色のインクが交換時期になりました。または点灯している色のインクカートリッジが正しくセットされていません。 インクカートリッジを交換、またはセットし直してください。インクカートリッジを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合があります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。 本製品は、プリントヘッドの品質を保つため、インクが完全になくなる前に動作を停止します。そのため、インクカートリッジ内には、多少のインクが残ります。 インクカートリッジは、純正品のご使用をお勧めします。 インクカートリッジの交換方法は、本書 112 ページ「 インクカートリッジの交換方法 」を参照してください。

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>インクカートリッジが認識できません（すべてのインクランプが点灯している場合）。</p> <p>以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インクカートリッジカバーを開けます。 ② インクカートリッジを全色、セットし直します。 ③ インクカートリッジカバーを閉めます。

プリンターに関するエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>メンテナンスボックスが交換時期になりました。またはメンテナンスボックスが正しくセットされていません。</p> <p>メンテナンスボックスを交換、またはセットし直してください。メンテナンスボックスを正しくセットしているにもかかわらず認識されない場合は、緑色の基板表面にゴミなどが付着している場合もあります。柔らかい布などで拭き取った後、再度セットしてください。メンテナンスボックスの交換方法は、本書 135 ページ「交換方法」を参照してください。</p>
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>プリンターメンテナンスエラーが発生しました。</p> <p>詳細は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <p>PP-50II のみ： インク吸収材の交換時期になりました。 インク吸収材を交換してください。交換の詳細は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>プリンターで内部エラーが発生しました。</p> <p>本製品の電源をオフにし、ディスクカバーを開け、内部に異常がないか確認してディスクカバーを閉めた後、電源をオンにしてください。</p> <p>発行処理が開始されない場合は、EPSON Total Disc Monitor の [発行待ち] タブに表示されている JOB をすべて削除してください。</p> <p>詳細は、本書 18 ページ「[発行待ち JOB] 画面」、または EPSON Total Disc Monitor のヘルプを参照してください。</p> <p>それでも発行処理が開始されない場合は、印刷キューをすべて削除してください。詳細は、本書 166 ページ「パソコン（印刷キュー）に印刷待ちデータはないですか？」を参照してください。</p> <p>エラー発生後、製品を放置するとプリントヘッドの目詰まりの原因となります。必ず、電源をオフにした後、直ちにオンにしてください。</p> <p>また、エラー発生後にレーベル印刷するときは、必ずノズルチェックしてプリントヘッドの状態を確認してください。詳細は、本書 115 ページ「ノズルチェック」を参照してください。</p>

ドライブに関するエラー(PP-100III/PP-50IIのみ)

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>ドライブトレイの開閉に失敗しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにし、電源コードを抜きます。 ② ディスクカバーを開け、内部に異物があれば取り除き、ディスクカバーを閉めます。 ③ 電源コードを差し込み、電源をオンにします。 ④ ディスクを再発行します。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>
								<p>ドライブで内部エラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本製品の電源をオフにし、電源コードを抜きます。 ② ディスクカバーを開け、内部に異常がないか確認してディスクカバーを閉めます。 ③ 電源コードを差し込み、電源をオンにします。 <p>何度も同じエラーが発生する場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
●	●	●	●	●	●	●	●	<p>書き込みエラー / 読み込みエラーが発生しました。 以下の手順で対処してください。</p> <p>❶ ディスクに問題がないか確認し、問題があればディスクを交換してから、JOB を再開します。</p> <p>❷ 背面の冷却用ファンフィルターにホコリが溜まっているか確認します。ホコリが付いている場合は清掃してから、JOB を再開します。</p> <p>詳細は、本書 123 ページ「通風孔のお手入れ (PP-100III/PP-50II のみ)」を参照してください。</p> <p>❸ メンテナンス情報を確認し、ドライブが交換時期になっていたら交換します。(PP-100III のみ) メンテナンス情報の確認方法は、本書 126 ページ「メンテナンス情報の確認」を参照してください。ドライブの交換については、本書 140 ページ「ドライブの交換 (PP-100III のみ)」を参照してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p> <hr/> <p>不正ディスクを検出しました。 以下の項目を確認してください。</p> <p>❶ EPSON Total Disc Setup で設定したディスク種類と、ドライブに搬送されたディスクの種類は同じですか？ ディスクの種類が異なる場合は、EPSON Total Disc Setup で設定したディスクと同じ種類のディスクを使用してください。設定手順は、本書 13 ページ「[プロパティ] 画面」、または EPSON Total Disc Setup のヘルプを参照してください。</p> <p>❷ ディスクの容量が不足していませんか？ 書き込むデータに対し、容量が十分なディスクを使用してください。</p> <p>❸ ブランクディスクを使用していますか？ すでにデータが書き込まれているディスクは使用できません。ブランクディスクを使用してください。</p> <p>以上を確認しても問題が解決されない場合は、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。</p>

その他のエラー

ランプ								状態 / 対処方法
電源	ビジー	エラー	インク	スタッカー				
				1	2	3	4	
								<p>状態不正エラーが発生しました。 本製品の電源を入れ直してください。</p>

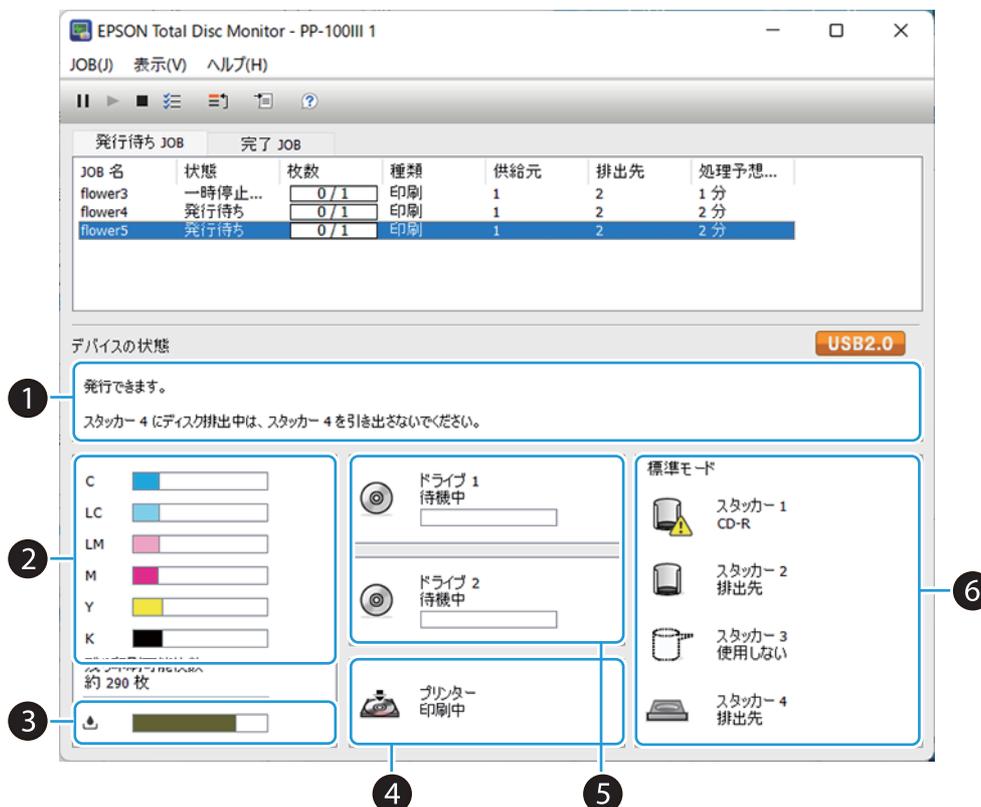
参考

処置した後もエラーが続くときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、本書の裏表紙に記載しています。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

EPSON Total Disc Monitor で確認する

EPSON Total Disc Monitor で本製品の状態とエラーの対処方法を確認できます。

EPSON Total Disc Monitor の 起動方法は、[本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor の起動」](#) を参照してください。また、EPSON Total Disc Monitor は、EPSON Total Disc Maker で [発行] をクリックすると自動的に起動します。



①	操作ガイダンス	本製品の状態やエラーの内容とメッセージが表示されます。表示される対処方法を参考にし、本製品を確認してください。
②	インクの状態	<p>インク残量が表示されます。</p> <p>が表示されたときは、インク残量が少なくなっています。新しいインクカートリッジを用意してください。が表示されたときは、インク交換時期です。新しいインクと交換してください。インクカートリッジ交換の詳細は、本書 111 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。</p> <p>残り印刷可能枚数は、前回印刷したレーベルと同じレーベルをあと何枚印刷できるかという目安の値です。印刷データや印刷環境などの影響を受けるため、実際の値とは多少異なります。1000 枚までは「1000 枚以上」と表示され、1000 枚未満になると 10 枚単位で表示されます。</p>

<p>③</p>	<p>メンテナンスボックスの状態、または、インク吸収材の状態</p>	<p>PP-100III/PP-100APのみ メンテナンスボックスの空き容量が表示されます。 ⚠️が表示されたときは、メンテナンスボックスの空き容量が少なくなっています。新しいメンテナンスボックスを用意してください。❌が表示されたときは、メンテナンスボックス交換時期です。新しいメンテナンスボックスと交換してください。メンテナンスボックスの交換方法は、本書本書 135 ページ「メンテナンスボックスの交換 (PP-100III/PP-100APのみ)」を参照してください。</p> <p>PP-50IIのみ インク吸収材の空き容量が表示されます。 ⚠️が表示されたときは、インク吸収材の空き容量が少なくなっています。❌が表示されたときは、インク吸収材の交換時期です。インク吸収材の交換については、本書 139 ページ「インク吸収材の交換 (PP-50IIのみ)」を参照してください。</p>
<p>④</p>	<p>プリンターの状態</p>	<p>プリンターの状態が表示されます。 プリンターのアイコンに ❌ が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、本製品のプリンターを確認してください。</p>
<p>⑤</p>	<p>ドライブの状態 (PP-100III/PP-50IIのみ)</p>	<p>ドライブの状態が表示されます。 ドライブのアイコンに ❌ が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、本製品のドライブを確認してください。</p>
<p>⑥</p>	<p>スタッカーの状態</p>	<p>スタッカーの状態が表示されます。 ⚠️が表示されたときは、供給元スタッカー内のディスクが少なくなっているか、排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいています。供給元スタッカーのディスクが少なくなっている場合は、新しいディスクを用意してください。排出先スタッカーのディスクがフル（一杯）に近づいている場合は、次のJOBを発行する前にディスクを取り出しておくことをお勧めします。❌が表示されたときは、表示されるメッセージを参考にして、スタッカーおよびディスクを確認してください。</p>

ディスクが発行できない

EPSON Total Disc Maker の発行ビューで [発行] をクリックしてもディスクが発行されない、または本製品が動作しない場合は、以下のチェックをしてください。

チェック 1: EPSON Total Disc Monitor をチェック

EPSON Total Disc Monitor にエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON Total Disc Monitor で、接続されている本製品の状態を確認し、エラーが発生している場合は対処してください。

EPSON Total Disc Monitor の詳細は、以下を参照してください。

- [本書 16 ページ「EPSON Total Disc Monitor」](#)
- EPSON Total Disc Monitor のヘルプ

チェック 2: 本製品をチェック

電源ランプは点灯していますか？

電源ランプが点灯していない場合は、本製品の電源がオフになっています。

「スタートアップガイド」の「電源のオン」を参照し、電源をオンにしてください。

操作パネルのランプが点滅 / 点灯していませんか？

操作パネルのエラーランプ、インクランプ、およびスタッカーランプが点滅 / 点灯している場合は、本製品に何らかのエラーが発生しています。

エラー内容の確認、対処方法は、[本書 151 ページ「ランプが点滅 / 点灯している」](#)を参照してください。

以上を確認してもトラブルが解決しない場合は、次のチェック項目を確認してください。

チェック 3: 本製品とパソコンの接続をチェック

USB ケーブルが外れていませんか？

USB ケーブルが接続されているかを確認してください。また、USB ケーブルが断線していないか、折れ曲がっていないか確認してください。

USB ケーブルがパソコンや本製品の仕様に対応していますか？

本製品に同梱されている USB ケーブル以外のものをご使用の場合は、USB ケーブルが仕様に対応しているかを確認してください。

インターフェイス仕様は、本書 193 ページ「インターフェイス」を参照してください。

注意

- ATI 製チップセットの USB インターフェイスには未対応です。
- Intel 5 Series 以前の Intel 製チップセット USB インターフェイスは未対応です。(PP-100III のみ)
- 本製品が動作しないチップセットについては、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp/products/discproducer/>) を確認してください。

USB ハブを使用していませんか？

USB ケーブルは、USB ハブを中継せずに直接パソコンに接続してください。

以上を確認してもトラブルが解決しない場合は、次のチェック項目を確認してください。

チェック 4: プリンタードライバーの設定をチェック

プリンタードライバーは、インストールされていますか？

- 1 [コントロールパネル]を開きます。
- 2 [デバイスとプリンターの表示](または[プリンター]/[プリンターとFAX])を開きます。
- 3 [プリンター](または[プリンターとFAX])に本製品のアイコン(EPSON PP-XXXPRN)があることを確認します。
「XXX」は、お使いの機種によって以下のように表示されます。
 - PP-100III : 100
 - PP-50II : 50
 - PP-100AP : 100AP



アイコンがない場合は、プリンタードライバーがインストールされていません。「スタートアップガイド」の「インストール」を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

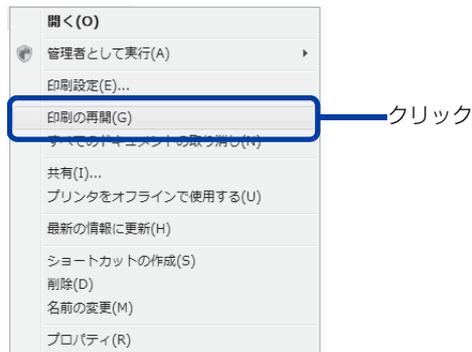
この後は、以下のチェック項目を確認してください。

プリントマネージャーのステータスが一時停止になっていませんか？

本製品のアイコン（EPSON PP-XXXPRN） [一時停止] と表示されている場合は、アイコンを右クリックし、[印刷の再開] をクリックしてください。

「XXX」は、お使いの機種によって以下のように表示されます。

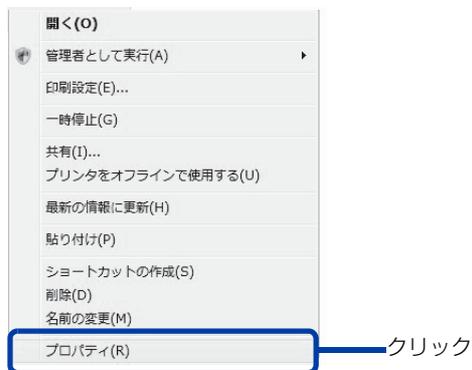
- PP-100III : 100
- PP-50II : 50
- PP-100AP : 100AP



接続先(ポート)の設定は正しいですか？

以下の手順に従って、接続先（ポート）の設定を確認してください。

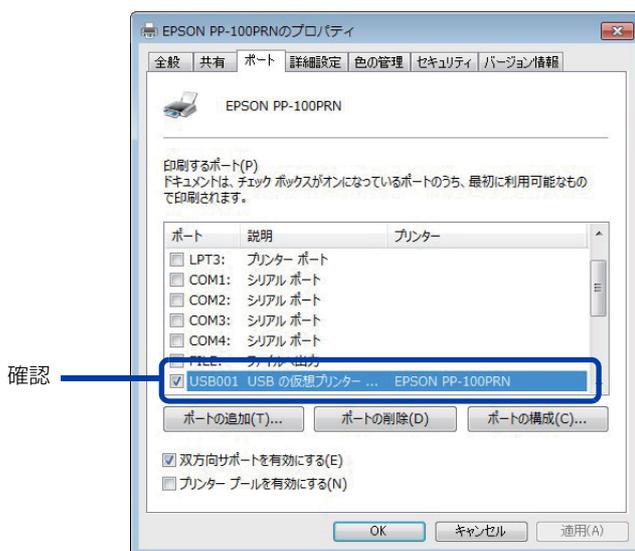
- 1 本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックします。



- 2 [ポート] タブをクリックし、ポートを確認します。
ご使用のプリンター名が表示されているポート（下表の「印刷先のポート」）を選択してください。

接続しているケーブル	印刷先のポート
USB ケーブル	USBxxx:

「x」には、数字が入ります。



参考

[ポートの追加] をクリック、手動で新しいポートを作成しても、印刷はできません。お使いのプリンター名が表示されているポートを選択してください。

パソコン(印刷キュー)に印刷待ちデータはないですか？

パソコン（印刷キュー）に印刷待ちの画像が残っていると、印刷が開始されない場合があります。印刷キューを表示し、印刷待ちデータを確認して印刷を再開するか、または取り消してください。

- 1 [プリンタとスキャナ](または[プリンタ])の本製品のアイコンをダブルクリックします。



- 2 印刷待ちデータを右クリックし、[再印刷]または[キャンセル]をクリックします。



上記をすべて確認しても解決しないときは、ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性があります。ソフトウェアをアンインストール（削除）し、再度インストールしてください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、「スタートアップガイド」の「ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

ソフトウェアのインストール方法は、「スタートアップガイド」の「インストール」を参照してください。

それでもトラブルが解決しないときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピューターの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

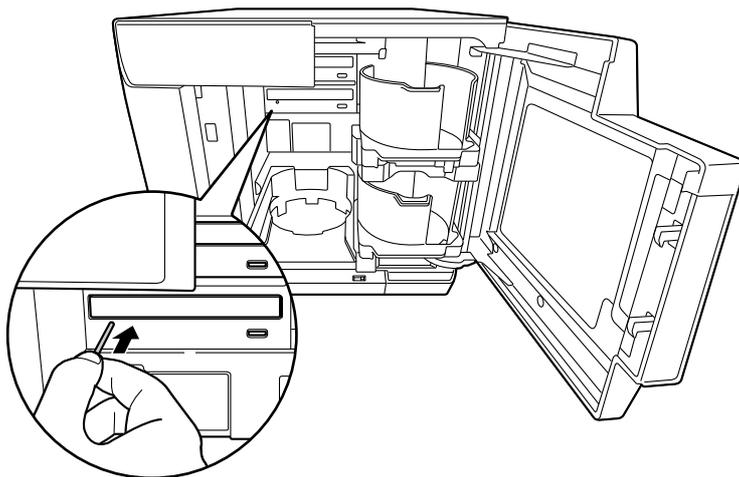
ディスクが出てこない

ドライブトレイまたはプリンタートレイが出てこないためにディスクが排出されない場合は、以下の操作を行ってください。

ドライブトレイが出てこない(PP-100III/PP-50IIのみ)

本製品の電源を入れ直してください。それでもドライブトレイが出てこない場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 ディスクの回転が止まるまで約1分間待ち、ディスクカバーを開けます。
- 4 ドライブのイジェクト穴に硬いピンを差し込んでトレイを開けます。

**注意**

イジェクト穴にピンを差し込むときは、必ず本製品の電源をオフにしてください。

- 5 ディスクを取り出し、ドライブトレイを軽く押し閉めます。

注意

ドライブトレイを開けたまま本製品の電源をオンにすると、本製品が破損するおそれがあります。ドライブトレイは必ず閉めてください。

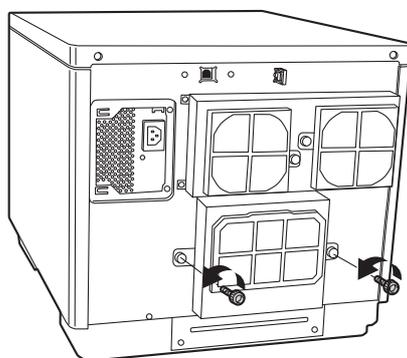
- 6 ディスクカバーを閉めます。
- 7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

プリンタートレイが出てこない

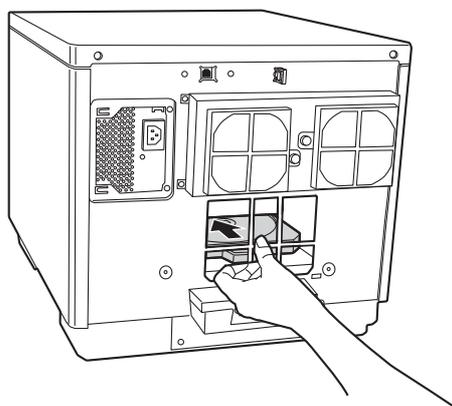
本製品の電源を入れ直してください。それでもプリンタートレイが出てこない場合は、以下の操作を行ってください。

PP-100III の場合

- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 2 個のネジを外し、メンテナンスボックスカバーを外します。

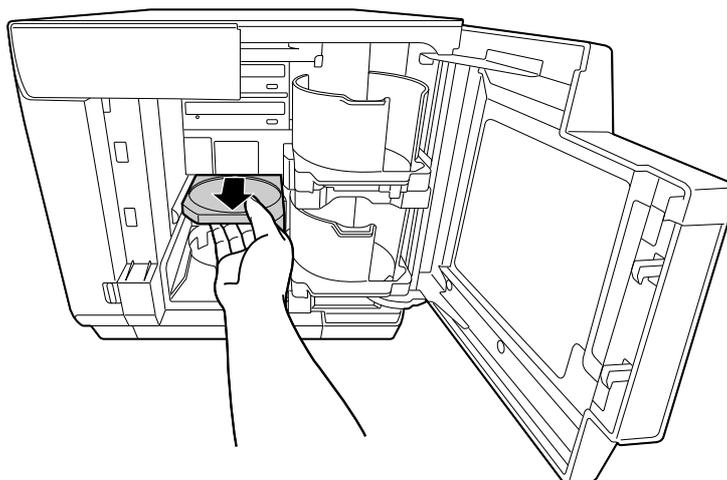


- 4 プリンタートレイを前方向に押し出します。



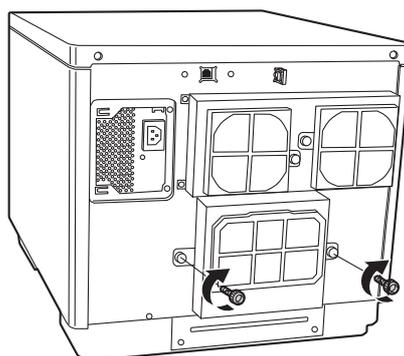
- 5 ディスクカバーを開けます。

- 6 プリンタートレイを引き出します。



- 7 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順9で電源をオンにすると自動で閉まります。

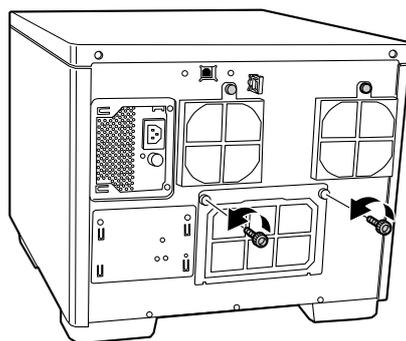
- 8 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。



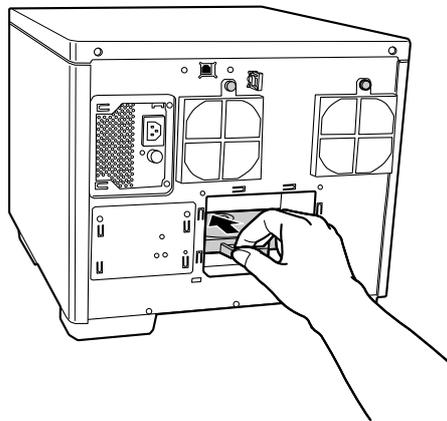
- 9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

PP-50II の場合

- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 2 個のネジを外し、背面プリンターカバーを外します。
ディスクが取り出せる場合は、ディスクを取り出し、背面プリンターカバーを取り付けてください。取り出せない場合は、次の手順に進んでください。

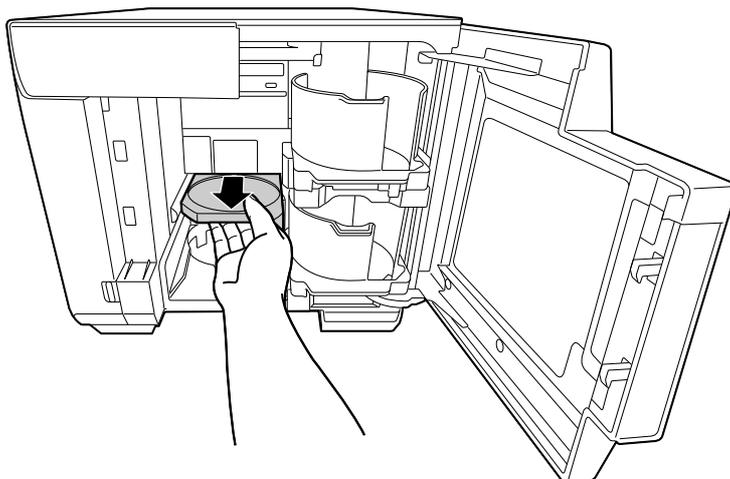


- 4 下図を参考につまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。



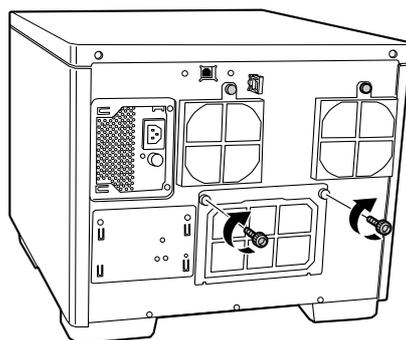
- 5 ディスクカバーを開けます。

- 6 プリンタートレイを引き出します。



- 7 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順9で電源をオンにすると自動で閉まります。

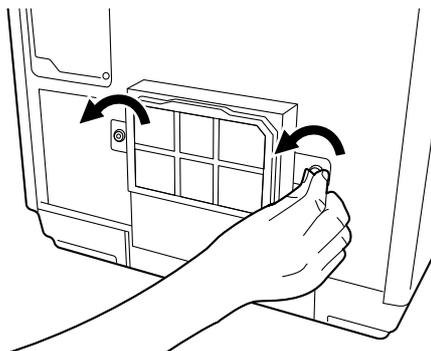
- 8 背面プリンターカバーを取り付けます。



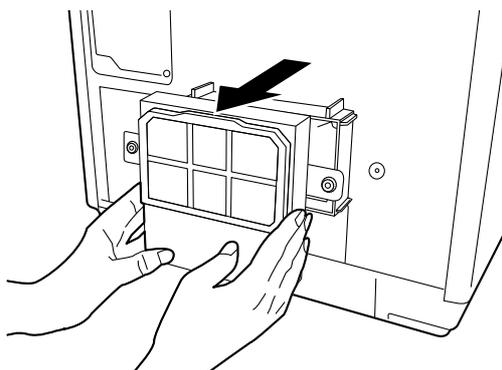
- 9 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

PP-100AP の場合

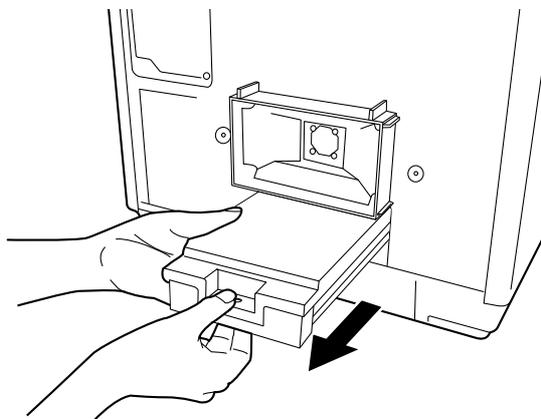
- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 背面の 2 個のネジを緩めます。



- 4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

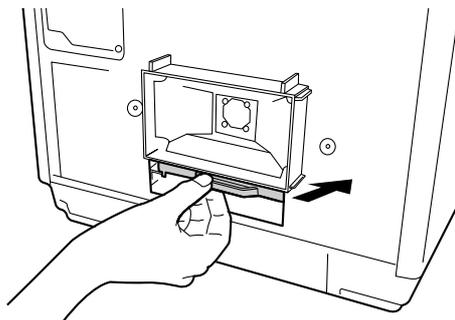


- 5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

**注意**

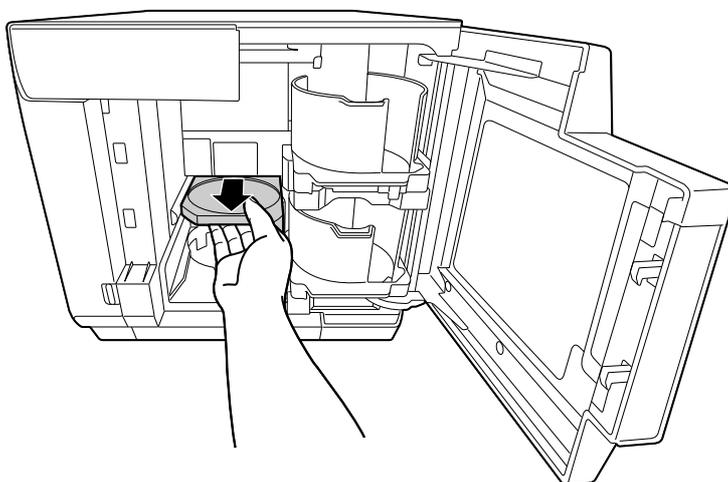
- メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。
- 本製品のメンテナンスボックス挿入口の内部に手を入れないでください。インクが付着するおそれがあります。

- 6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。



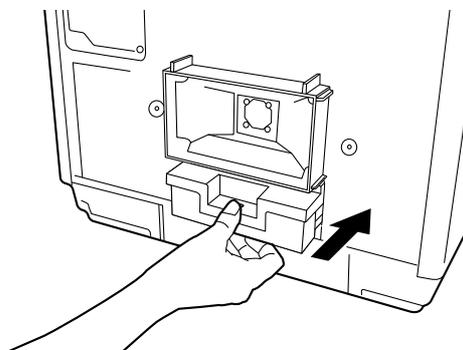
- 7 ディスクカバーを開けます。

- 8 プリンタートレイを引き出します。

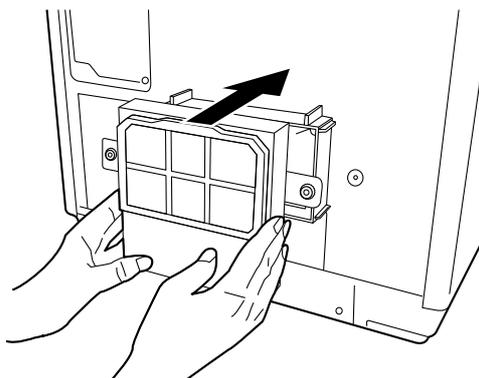


- 9 ディスクを取り出し、ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順 13 で電源をオンにすると自動で閉まります。

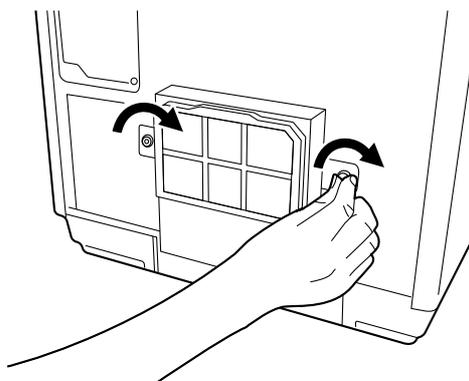
- 10 メンテナンスボックスを取り付けます。



11 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。



12 2 個のネジを締めます。



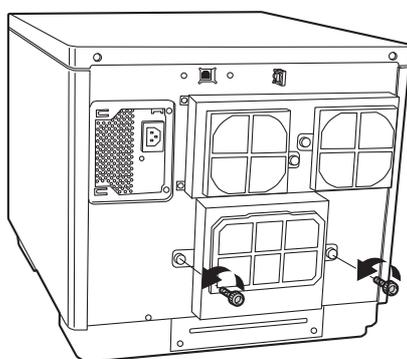
13 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

ディスクの記録面がインクで汚れる

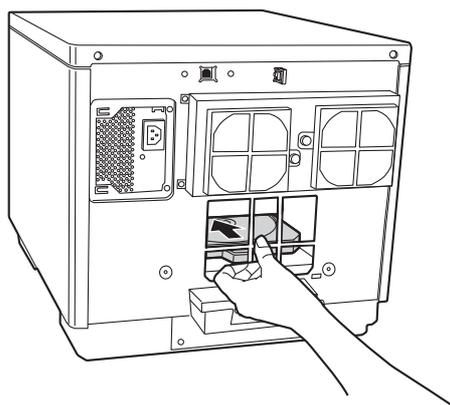
ディスクの記録面がインクで汚れる場合は、プリンタートレイが汚れている可能性があります。以下の手順で、プリンタートレイのお手入れをしてください。

PP-100III の場合

- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 下図を参考にネジを外し、メンテナンスボックスカバーを外します。

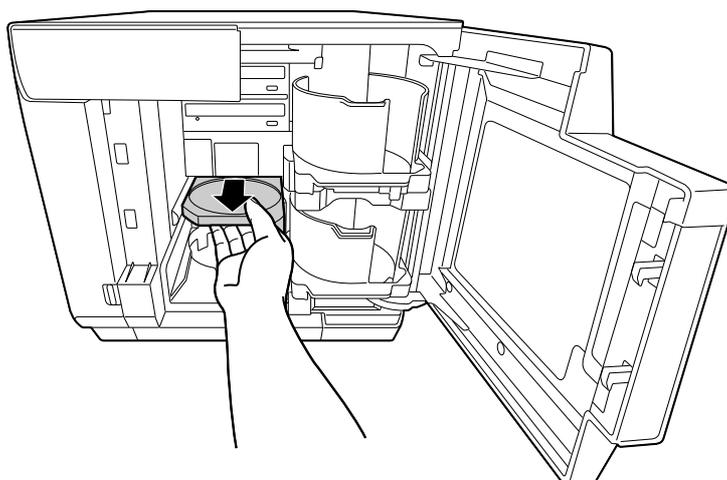


- 4 プリンタートレイを前方向に押し出します。



- 5 ディスクカバーを開けます。

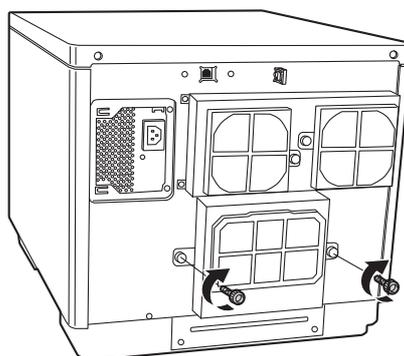
- 6 プリンタートレイを引き出します。



- 7 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

- 8 ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順 10 で電源をオンにすると自動で閉まります。

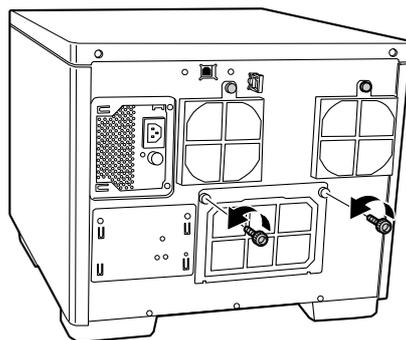
- 9 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。



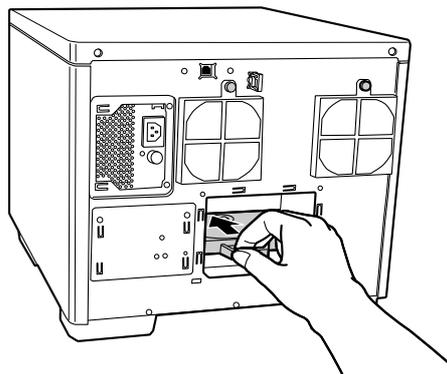
- 10 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

PP-50II の場合

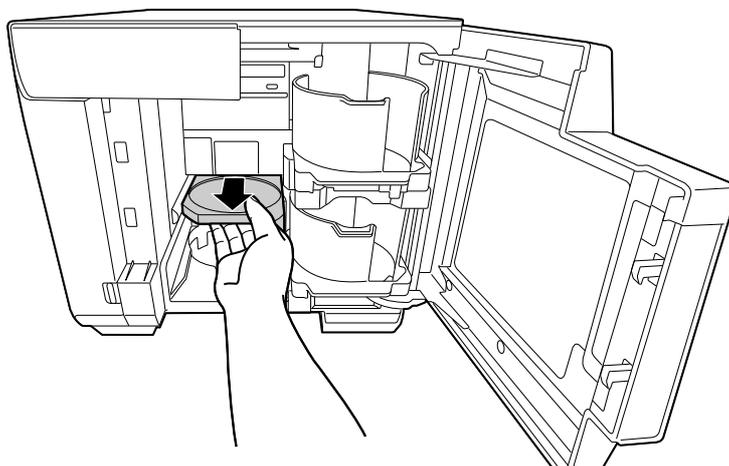
- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 2 個のネジを外し、背面プリンターカバーを外します。



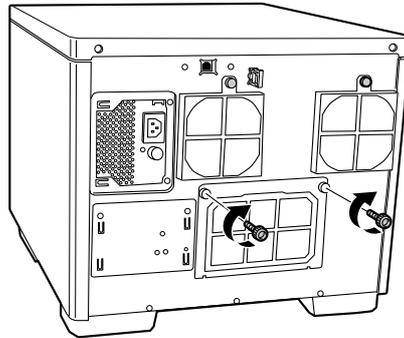
- 4 下図を参考につまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。



- 5 ディスクカバーを開けます。
- 6 プリンタートレイを引き出します。



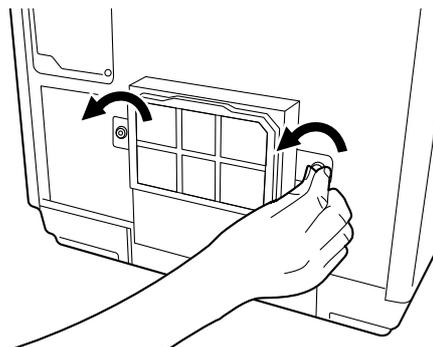
- 7 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。
- 8 ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順 10 で電源をオンにすると自動で閉まります。
- 9 背面プリンターカバーを取り付けます。



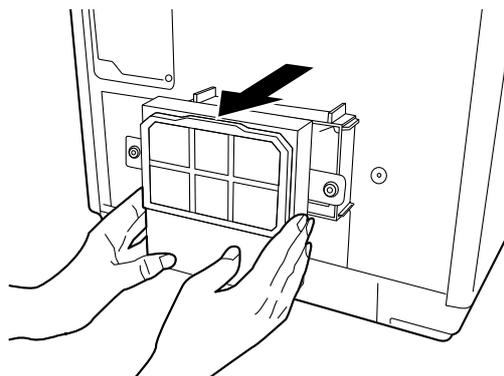
- 10 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

PP-100AP の場合

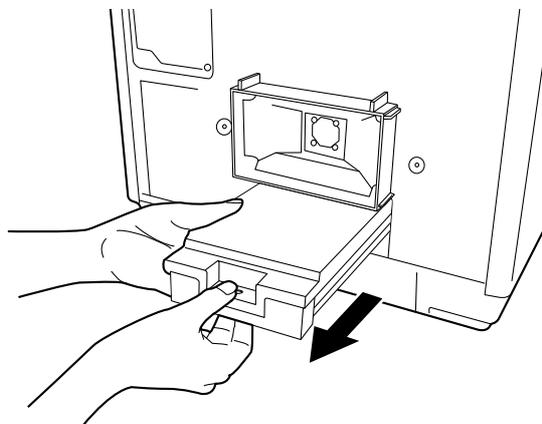
- 1 電源をオフにします。
本製品の電源をオフにする方法は、「スタートアップガイド」の「電源のオフ」を参照してください。
- 2 電源ランプが消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 背面の2個のネジを緩めます。



- 4 メンテナンスボックスカバーを取り外します。

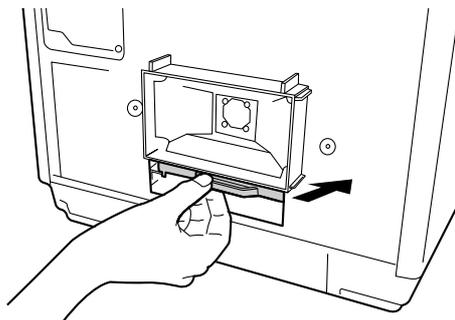


- 5 メンテナンスボックスを引き抜きます。

**注意**

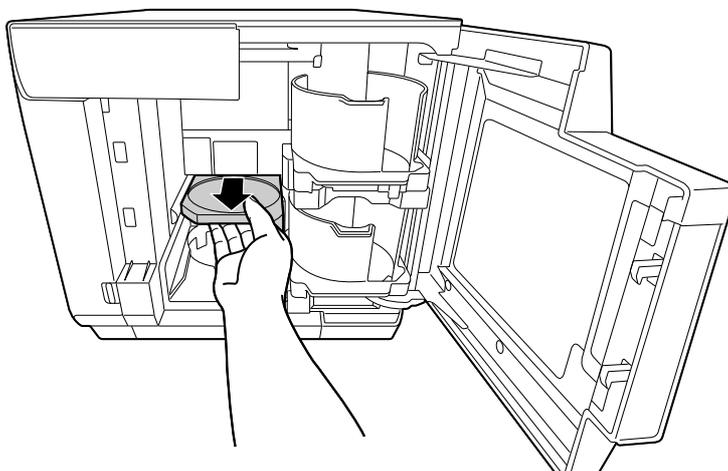
メンテナンスボックスは傾けないよう注意してください。インクが漏れるおそれがあります。

- 6 つまみを持ち、プリンタートレイを前方向に押し出します。



- 7 ディスクカバーを開けます。

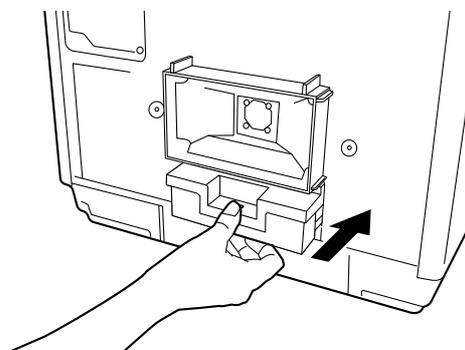
- 8 プリンタートレイを引き出します。



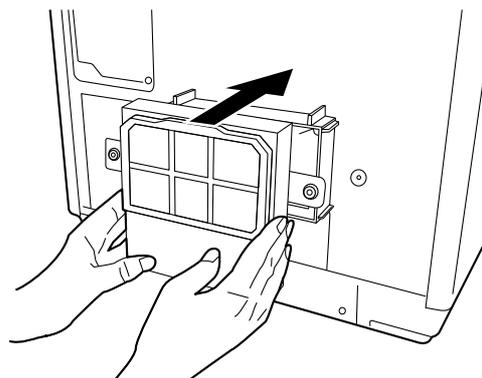
- 9 柔らかい布を使用して、プリンタートレイの汚れを拭き取ります。

- 10 ディスクカバーを閉めます。
プリンタートレイは、手順 14 で電源をオンにすると自動で閉まります。

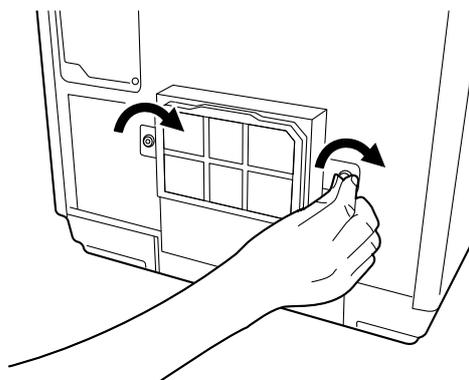
- 11 メンテナンスボックスを取り付けます。



12 メンテナンスボックスカバーを取り付けます。



13 2 個のネジを締めます。



14 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにします。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ウェブサイトを開設してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

- 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダー契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったウェブサイトとサービスの提供が可能となります。

インターネットサービス

EPSON製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタードライバーやマニュアルは、エプソンのウェブサイト上で提供されています。

アドレス	https://www.epson.jp/
------	---

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンターに関するさまざまなご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましては本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず本書 143 ページ「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

本製品は、弊社にてお客様情報を登録させていただいた後、設置日より 6ヶ月間有効な保証書を発行いたします。つきましては、設置などの作業が終了し、本製品の正常動作を確認されましたら、お手数でも「保証書発行請求書」の各項目に必要な事項をご記入いただき、1 枚目のみを添付の返信用封筒に入れ、弊社までご郵送くださいますようお願いいたします。

なお、「保証書発行請求書」を返送されない場合や必要事項の記入漏れなどがございましたら、保証書が発行できず、万が一の故障の場合でも有償修理となり、各種サービス・サポートが受けられませんので、必ずご返送くださいますようお願いいたします。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なしに外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間	午前 9 : 00 ~ 午後 5 : 30 月曜日～金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンター、またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理料金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 修理の都度発生する修理代・部品代[*]が無償になるため予算化ができて便利です。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 [*] 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理をいたします。 修理の都度発生する修理代・部品代[*]が無償になるため予算化ができて便利です。 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 [*] 消耗品（インク、ディスク等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張		<ul style="list-style-type: none"> お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出張し、現地で修理を行います。 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 	有償 (出張料のみ)	出張料+技術料+部品代を修理完了後、その都度お支払いください。
持込/送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料+技術料+部品代を修理完了品をお届けしたときにお支払いください。
引取修理サービス (ドア to ドアサービス)		<ul style="list-style-type: none"> 指定の運送会社様が指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理料金が必要となります。 	有償 (引取料金のみ)	有償 (引取料金+修理代)

製品仕様

各製品の機能の違い

本書で説明している製品の主な機能の違いは、以下の通りです。

		PP-100III	PP-50II	PP-100AP
最大一括作成枚数		100 枚	50 枚	100 枚
Blu-ray Disc ドライブ		○	○	-
対応ディスク *1 (PP-100AP はレーベル印刷のみ対応)	CD/DVD	CD-R、DVD-R、DVD+R、DVD-R DL、DVD+R DL		
	Blu-ray Disc	Blu-ray Disc-R、Blu-ray Disc-R DL、Blu-ray Disc-R XL 100、Blu-ray Disc-R XL 128		
CD 作成速度 (1 時間)		30 枚	15 枚	-
DVD 作成速度 (1 時間)		15 枚	8 枚	-
Blu-ray Disc™作成速度 (1 時間)		8.5 枚	3 枚	-
印刷のみの速度 (1 時間)		はやい：65 枚 きれい：45 枚	はやい：60 枚 きれい：40 枚	最大 95 枚 *2
製品寿命		150,000 枚 *3	15,000 枚	300,000 枚 *3
ドライブ交換		○	-	-
スタッカー 4		○	-	○
PC 1 台に対する最大接続台数		6 台 *4	1 台	6 台
Mac 対応		○	○	○
TD Bridge サポート		○	×	○
ディスクデータの読み込み機能		○	○	-
ディスクデータの書き込み機能		○	○	-

*1：使用できるディスクの詳細は、本書 29 ページ「[使用できるディスクの種類](#)」を参照してください。

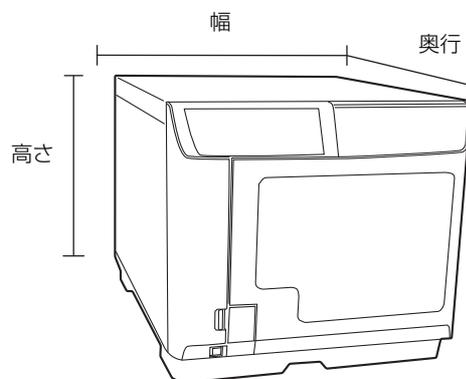
*2：測定条件はエプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp/products/discproducer/>) をご確認ください。

*3：別途メンテナンス部品の交換が必要です。詳しくは本書 192 ページ「[信頼性](#)」を参照してください。

*4：レーベル印刷時のみ 6 台。CD へのデータ書き込みがある場合は 3 台。DVD/BD へのデータ書き込みがある場合は 2 台。

基本仕様

外形・質量



PP-100III

項目	内容
外形寸法	377mm (幅) x 493mm (奥行き) x 348mm (高さ)
質量	約 24kg (スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。)

PP-50II

項目	内容
外形寸法	377mm (幅) x 465mm (奥行き) x 324mm (高さ)
質量	約 21kg (スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。)

PP-100AP

項目	内容
外形寸法	377mm (幅) x 489mm (奥行き) x 348mm (高さ)
質量	約 22kg (スタッカー、カートリッジ含む。AC ケーブル、ディスクは含まない。)

参考

本製品は、メッキ鋼板を使用しているため端面にサビが発生することがありますが、本体の機能を損なうものではありません。

JOB 処理能力

JOB 処理能力は、使用環境によって異なります。

参考

使用するディスクやコンピューターにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。
(記録品質確保のため)

PP-100III

項目		内容
書き込みと印刷	CD	30 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 CD-R 使用、ドライブ速度 40 倍速、書き込みデータの容量 600MB、速い / 双方向印刷のとき
	DVD	15 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 DVD-R 使用、ドライブ速度 12 倍速、書き込みデータの容量 3.8GB、速い / 双方向印刷のとき
	BD	8.5 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 BD-R 使用、ドライブ速度 8 倍速、書き込みデータの容量 23.8GB、速い / 双方向印刷のとき
印刷のみ	印刷モード設定 (きれい / 速い) : {2}	65 枚 / 時間 条件：双方向印刷のとき
	印刷モード設定 (きれい / 速い) : {1}	45 枚 / 時間 条件：双方向印刷のとき

PP-50II

項目		内容
書き込みと印刷	CD	15 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 CD-R 使用、ドライブ速度 40 倍速、書き込みデータの容量 600MB、速い / 双方向印刷のとき
	DVD	8 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 DVD-R 使用、ドライブ速度 12 倍速、書き込みデータの容量 3.8GB、速い / 双方向印刷のとき
	BD	3 枚 / 時間 条件：エプソン推奨 BD-R 使用、ドライブ速度 6 倍速、書き込みデータの容量 23.8GB、速い / 双方向印刷のとき

PP-100AP

項目	内容	
印刷（双方向印刷時）	印刷モード設定 (きれい [1] ~ 速い [3])	[1] : 50 枚 / 時間 [2] : 75 枚 / 時間 [3] : 95 枚 / 時間

接続台数

PP-50II は複数台接続することはできません。

PP-100III

項目		内容	
PC1 台に対する接続台数*	書き込みと印刷	CD	3 台まで
		DVD/BD	2 台まで
	印刷のみ		6 台まで

*：接続 PC1 台からの発行 JOB を同時に処理できる台数（動作保証台数）です。

PP-100AP

項目	内容
PC1 台に対する接続台数*	6 台まで

*：接続 PC1 台からの発行 JOB を同時に処理できる台数（動作保証台数）です。

印刷仕様

項目		内容	
印刷方式		オンデマンドインクジェット方式	
ヘッドノズル数	ブラック	180 ノズル	
	シアン	180 ノズル	
	マゼンタ	180 ノズル	
	イエロー	180 ノズル	
	ライトシアン	180 ノズル	
	ライトマゼンタ	180 ノズル	
印刷解像度	PP-100III/PP-50II	印刷モード設定（速い/きれい）：1	1,440 × 1,440dpi
		印刷モード設定（速い/きれい）：2	1,440 × 720dpi
	PP-100AP	印刷モード設定（速い/きれい）：1	1,440 × 1,440dpi
		印刷モード設定（速い/きれい）：2	1,440 × 720dpi
		印刷モード設定（速い/きれい）：3	720 × 720dpi
印刷方向		双方向印刷、単方向印刷	

dpi：25.4mm あたりのドット数（dots per inch）

ドライブ仕様(PP-100III/PP-50II のみ)

項目		内容
搭載数		PP-100III : 2台 PP-50II : 1台
ローディング方式		トレイ式
書き込み速度	CD-R	40倍 / 32倍 / 24倍 / 16倍 / 10倍 / 4倍
	DVD-R	12倍 / 8倍 / 6倍 / 4倍 / 2.4倍 / 2倍
	DVD+R	12倍 / 8倍 / 6倍 / 4倍 / 2.4倍 / 2倍
	DVD-R DL	8倍 / 6倍 / 4倍 / 2.4倍 / 2倍
	DVD+R DL	8倍 / 6倍 / 4倍 / 2.4倍 / 2倍
	BD-R	8倍 / 6倍 / 4倍 / 2倍
	BD-R DL	8倍 / 6倍 / 4倍 / 2倍
	BD-R XL 100	6倍 / 4倍 / 2倍
BD-R XL 128	6倍 / 4倍 / 2倍	

注意

- 本製品のドライブで作成したCD/DVD/BDは、ドライブやプレーヤーとの相性により認識、再生、読み込みされないことがあります。
- ディスクの読み込み中や書き込み中に、振動や衝撃を与えないでください。ドライブが故障したり、ディスクが使用できなくなったりするおそれがあります。
- ドライブにマイナスドライバーやクリップなどの異物は挿入しないでください。故障の原因になります。

参考

- 使用するディスクやコンピューターにより、設定した書き込み速度より遅くなる場合があります。(記録品質確保のため)
- DVD-RまたはDVD-R DLを使用する場合、書き込み速度を2.4倍に設定しても、実際には2倍速で書き込みが行われます。
- DVD+RまたはDVD+R DLを使用する場合、書き込み速度を2.0倍に設定しても、実際には2.4倍速で書き込みが行われます。
- BD-RまたはBD-R DLの8倍速での書き込みは、8倍速対応のエプソン推奨ディスクを使用する場合のみ可能です。
- BD-R XLを使用する場合、すべてのドライブがBDE-PR1EP2で、Total Disc Maker Version9.0以降が必要です。

電気関係

項目		内容		
		PP-100III	PP-50II	PP-100AP
定格電圧		AC100V		
定格周波数		50 ~ 60Hz		
定格電流		1.0A		
消費電力	動作時平均	約 52W	約 40W	約 30W
	待機時平均	約 27W	約 28W	約 20W
適合規格、規制		VCCI Class A JIS C 61000-3-2		VCCI Class B JIS C 61000-3-2
電源コード		AC ケーブル (同梱)		

環境条件

項目		内容	
温度	動作時	10 ~ 35 °C	
	保存時	-20 ~ 40 °C	40 °Cの場合：1ヶ月以内 60 °Cの場合：120 時間以内
	輸送時	-20 ~ 60 °C	
湿度	動作時	20 ~ 80%RH	結露のないこと
	保存時	5 ~ 85%RH	結露のないこと
	輸送時	5 ~ 85%RH	結露のないこと
温度湿度範囲	動作時		
	保存時*		
	輸送時*		
標高	2000m 以下		

* : PP-1000III、PP-50II に適用。

信頼性

PP-100III

項目		内容
製品寿命		製品購入後 5 年またはディスク 75,000 枚 ^{*1} を発行するまでのいずれか短い方 メンテナンス部品の交換により、150,000 枚まで使用可能
メンテナンス部品	ドライブ (1 台あたり)	以下のいずれか短い方 <ul style="list-style-type: none"> • トレイ開閉回数：往復 30,000 回 • 書き込み時間：1000 時間 (CD のみ：500 時間、DVD のみ：500 時間、BD のみ：1000 時間) • 書き込み / 読み込み時間：2000 時間 (コンペア含む)
	メンテナンスボックス	印刷枚数 30,000 枚 ^{*2} ごとに交換 ただし、必要以上にヘッドクリーニングを行った場合は、上記値を満たしません。
	オートローダーユニット	印刷枚数 75,000 枚ごとに交換

*1：双方向印刷の場合

*2：一ヶ月あたりの印刷枚数が 3,000 枚の場合

PP-50II

項目	内容
製品寿命	製品購入後 5 年またはディスク 15,000 枚 [*] を発行するまでのいずれか短い方

*：双方向印刷の場合

PP-100AP

項目		内容
製品寿命		製品購入後 5 年またはディスク 100,000 枚 ^{*1} を発行するまでのいずれか短い方 メンテナンス部品の交換により、300,000 枚まで使用可能
メンテナンス部品	メンテナンスボックス	印刷枚数 30,000 枚 ^{*2} ごとに交換 ただし、必要以上にヘッドクリーニングを行った場合は、上記値を満たしません。
	オートローダーユニット	印刷枚数 100,000 枚ごとに交換
	メカユニット	印刷枚数 150,000 枚 ^{*1} ごとに交換

*1：双方向印刷の場合

*2：一ヶ月あたりの印刷枚数が 3,000 枚の場合

インターフェイス

項目	内容
規格	PP-100III: USB3.0/USB 2.0 PP-50II/PP-100AP: USB 2.0
通信速度	SuperSpeed (5 Gbps) Hi-Speed (480 Mbps) Full-Speed (12 Mbps)

インクカートリッジ

項目	内容		
形態	各色別体型インクカートリッジ		
色	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ		
推奨使用期限	個装箱またはインクカートリッジに貼られているラベルに記載されている期限。開封から6ヶ月以内		
保存温度	個装保存時	-20 ~ 40 °C	40 °Cの場合は1ヶ月以内
	本体装着時	-20 ~ 50 °C	50 °Cの場合は1ヶ月以内
	個装輸送時	-20 ~ 60 °C	60 °Cの場合は5日間以内
寸法	42.0mm (幅) × 83.0mm (奥行き) × 26.4mm (高さ)		
インク	染料インク		

消耗品とオプション品

本製品で使用可能な消耗品およびオプション品の紹介をします。以下の記載内容は 2020 年 10 月現在のものです。

エプソン推奨ディスク

データの書き込み・データの読み込み・ディスク搬送・レーベル印刷において、本製品の使用に適したエプソンが推奨しているディスクです。

詳細は、下記 URL にてご確認ください。

<<https://www.epson.jp/products/discproducer/supply/>>

注意

- ディスクの形状不良・傷・汚れ・経年劣化などに関して保証するものではありません。
- ディスクメーカーの製造工程・仕様変更により、本製品に適しなくなる可能性があります。

参考

ディスクの取り扱い方法や注意事項については、本書 32 ページ「ディスクの取り扱い」およびディスクの取扱説明書をご覧ください。

インクカートリッジ

本製品で使用可能なインクカートリッジは以下の通りです。

Discproducer シリーズ専用インクは、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。< <https://www.epson.jp/products/discproducer/supply/> >

色	製品名	
シアン	PJIC1 (C)	PJIC7(C)
ライトシアン	PJIC2 (LC)	PJIC7(LC)
ライトマゼンタ	PJIC3 (LM)	PJIC7(LM)
マゼンタ	PJIC4 (M)	PJIC7(M)
イエロー	PJIC5 (Y)	PJIC7(Y)
ブラック	PJIC6 (K)	PJIC7(K)

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクカートリッジのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

インクカートリッジの回収について

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。

回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのウェブサイトでご案内しています。

< <https://www.epson.jp/> >

メンテナンスボックス(PP-100III/PP-100APのみ)

PP-100III/PP-100AP 専用メンテナンスボックス (PJMB100) は、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。

< <https://www.epson.jp/products/discproducer/supply/> >

メンテナンスボックスは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収について

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。

回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのウェブサイトでご案内しています。

< <https://www.epson.jp/> >

ドライブ(PP-100IIIのみ)

PP-100III 専用ドライブは、製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。

< <https://www.epson.jp/products/discproducer/supply/> >

注意

PP-100III に弊社指定外のドライブを絶対に取り付けしないでください。PP-100III およびドライブが破損するおそれがあります。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品は、当社が権利を有するソフトウェアのほかに、オープンソースソフトウェアを利用しています。本製品に利用されているオープンソースソフトウェアの一覧およびそれらのライセンス条件は、プログラムのインストール先に保存される NOTICE.txt を参照してください。

表記

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 7」「Windows Server 2025」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」と表記しています。またこれらの総称として「Windows」を使用しています。

Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版

Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2025 operating system 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2022 operating system 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版

Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制 - 注意 -

PP-100III/PP-50II :

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

PP-100AP :

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

お問い合わせの前に

サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ (よくあるご質問)

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。



メールで相談する

epson.jp/mail/



電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8099

修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。 epson.jp/shuri/



出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Web で申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです(有償)。

Web で申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。



エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/



ご購入相談・ご注文窓口
0120-956-285

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー
セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(その他) 2022.03